

偵察及ビ測量法ニ由テ得タル結果ニ依リ守者ノ防禦配備ヲ詳ニセザルベカラズ

攻城砲(工)兵廠

攻城砲(工)兵廠 攻撃地區及ビ攻撃點確定スレバ直ニ攻城砲兵廠、攻城工兵廠ノ位置ヲ決定ス而シテ長路ノ運搬ヲ避クルニハ此位置攻撃地區ニ對シ且ツ鐵道ノ傍ラニ撰定スルノ肝要ナルヲ勿論ナリ若シ鐵道ノ近傍ニ設置シ能ハザル時ハ臨時ニ枝線ヲ布設シテ本線ト連絡セザルベカラズ

砲兵廠

砲兵廠ニ有スル材敵ハ攻撃正面ノ廣サニ由ツテ決定セラル、者ニシテ通常、三、堡、壘、ト、二、間、隔、ヲ、以、テ、攻、擊、正、面、ト、ス、故ニ此正面ニ備フル守者ノ防禦火砲ニ對シ攻者ハ其一倍半ヲ用ユルヲ通則トス即ハチ此正面上ニ備フル防禦火砲ハ二百乃至二百五十門ヲ普通トセルガ故ニ攻者ハ三百乃至三百七十門ノ火砲ヲ要スベシ

砲兵廠ノ編成ハ各國差異アリ佛國ノモノハ左ノ如ク區分シアリ

- 一、 大砲廠
- 二、 彈藥廠
- 三、 火藥本庫
- 四、 小砲廠
- 五、 中間砲廠
- 六、 編束物工場

砲兵廠ハ攻圍第二線ノ近傍或ハ其後方ニ於テ全ク分派堡ノ射撃ヲ受ケサル所ニ設ケ火藥庫ハ更ニ尙ホ後方ニ備ヘサルベカラズ而シテ此倉庫等ニ至ルノ距離大ナルキハ中間ニ豫積所ヲ設ケ器具材料及ビ二十四時間ニ用フベキ彈藥ヲ之ニ蓄テルヲ必要トス此豫積所ハ堡ヨリ約ネ三千米ニアリ

工兵廠

工兵廠ハ塹溝堀開用ノ土工器具、掩蔽部構築ノ材料、抗道用ノ器具材料等ヲ有スルモノニシテ攻圍第二線ノ近傍或ハ稍々其後方ニ設置シ(砲兵廠ノ前方)而シテ分派堡ヨリ約ネ二千米ニ設クル塹溝豫積所ハ工手ニ要スル編束物、各種器具及ヒ材料ヲ蓄積ス

攻撃諸勤務ノ編成

要スレバ輕氣球廠及ビ鐵道材料廠ヲ工兵廠ニ附ス  
 諸廠及ビ諸倉庫ハ要塞ノ展望ニ對シ遮蔽セル「ドコービル」鐵路ヲ以  
 テ塹溝豫積所、中間豫積所及ビ到着停車場ニ連絡スルヲ利アリトス之  
 レニ反シ豫積所、塹溝及ヒ砲臺間ノ運搬ハ車輛ニ依ツテ施行スルヲ良  
 トス是レ此運搬ハ已ニ敵火ノ危害アル距離ニ於テ爲スヲ以テ絶ヘズ  
 取ル所ノ道路ヲ變更シ以テ敵火ノ勢威ヲ避クルヲ要スレバナリ  
**攻撃諸勤務ノ編成** 攻城ノ諸勤務ハ砲兵勤務、工兵勤務、給養勤務、  
 衛生勤務、電信勤務、金櫃部、郵便部、法官部、參謀部等ノ勤務トス  
 砲兵勤務中重要ナルモノハ攻城砲廠ノ組織トシ工兵勤務ニアツテハ  
 攻城工兵廠ノ組織ヲ主要ナルモノトス  
 衛生勤務ハ野戰ニ於ケルト同様、即ハチ第一線ノ勤務及ビ后方ノ勤務  
 ヨリナルモノニシテ第一線ノ勤務ハ 第一、假綑帶所 第二、綑帶所

攻城軍隊勤務ノ編成

第三、野戰病院 トシ野戰病院ハ攻圍第二線ノ後方ニ設クルヲ至當ト  
 ス、又后方ノ勤務ハ戰地定立病院以下ノ勤務ナリ  
 電信勤務ハ野戰及ビ兵站ノ兩勤務ヲ合併シタルモノニシテ各部各隊  
 ノ主要部ヲ連絡交通スルヲ要ス  
 金櫃部、郵便部、法官部、參謀部等ノ勤務ハ野戰ニ於ケルモノニ異ナラズ  
**攻城軍隊勤務ノ編制** 攻城軍隊勤務ノ内、攻圍ニ關スル諸動作  
 ハ總テ野戰軍隊ノ勤務規則ニ從テ實施シ攻城ニ關スル動作ニ至リ初  
 メテ塹壕勤務ト稱スル特別ノ勤務ヲ要ス  
 塹溝勤務ニ服スル職員、大略左ノ如シ  
 塹壕司令官ハ攻撃地區ニ於ケル塹壕守衛隊及ビ作業枝隊ノ指揮ヲ  
 掌リ緊要ノ事件ニシテ攻城司令官ノ意圖ヲ待ツ能ハザルモノアル  
 時ハ獨斷專決ノ責ニ任ツテ事ヲ處ス

要塞攻圍命令ノ範例

要塞副官ハ要塞司令官ノ監督ヲ受ケテ其細務及ビ風紀ノ取締ニ任ズ  
 要塞砲兵指揮官ハ一般勤務ニ關シテハ要塞司令官ノ指揮ヲ受ケ又  
 本科専門ノ勤務ニ就テハ砲兵司令官ノ命令ニ從ヒ攻撃地區内ニ於  
 ケル各砲臺團ノ勤務ヲ指掌ス  
 要塞工兵指揮官ハ一般ノ勤務ニ關シテハ要塞司令官ノ指揮ヲ受ケ  
 本科専門ノ勤務ニ就テハ工兵司令官ノ命令ニ從ヒ攻撃地區内ニ於  
 ケル工事ノ經始、作業手ノ員數ノ決定並ニ其配布ヲ掌リ且ツ工事ノ  
 施行ヲ監督ス

●要塞攻圍命令ノ範例

項目

敵狀	目的	先進支隊	警戒	管區ノ區分並ニ之レニ屬スル部隊	交通
一、敵軍及ヒ攻圍スベキ要塞ニ關スル情報	二、我軍ノ目的	三、鐵道及ヒ電線ヲ切斷シテ第一着ニ要塞ヲ孤立セシムルノ任務ヲ有スル騎兵及ビ工兵支隊	四、上流及ビ下流(南方及ヒ北方)ヨリ要塞ヲ繞回スベキ部隊ノ指定及ビ戍兵ノ妨害ヲ受ケシステ渡河スル爲メ取ルベキ警戒 此諸部隊ノ側面行進間要塞ニ對シ搜索ニ任スヘキ騎兵	五、地障、水流、凹地等ニ依テ攻圍線上各管區ノ區分及ビ此各區ニ屬スル部隊 嚴密ヲ要セザル攻圍正面ヲ監視シ諸交通ヲ遮斷スルニ任シタル騎兵之ニ配屬シアリシ歩兵ノ撤收	六、各管區ニ常屬スベキ砲工兵 各管區本營ノ位置 隣接管區ヲ連絡スル爲メ水流及ヒ凹谷ニ應スベキ架橋

出撃ニ對スル處置

七、

全上ノ目的ヲ以テ陣營ヲ貫通シテ設クベキ大進出路  
 増水及ビ氷結ニ對シ橋梁ヲ掩護スル爲メ取ルベキ處置、築設スベ  
 キ橋頭堡  
 諸方向ヲ標示スル爲メ十字路及ビ出路ニ設クベキ路標  
 戍兵ノ出撃ニ際シ取ルベキ配備  
 各管區ニ於ケル遊動豫備隊ノ兵力  
 隣接部隊相互ノ援助、諸車輛ヲ通スベキ道路  
 攻圍軍補給用鐵道ノ端末停車場ヲ掩護スベキ特別部隊  
 大砲兵廠及ヒ工兵豫積廠ヲ掩護スベキ部隊  
 攻圍線ノ全周ニ設クベキ電信線  
 騎兵ヲ以テスル驛傳  
 停車場及驛傳ノ指示  
 設置スベキ監視哨  
 戍兵ノ逃亡ヲ防ク爲メ凹谷内ヲ照明スベキ篝火

通信

八、

情報

九、

情報ヲ與フベキ定時刻  
 派遣スベキ斥候及ヒ偵察、前哨警戒嚴密ノ度  
 首長司令官ニ日々報告ヲ呈スベキ時間  
 大衛兵、援隊、豫備隊タル三線ニ施コスベキ築城工事  
 要塞ヲ繞ル所ノ水流ノ後方及ビ戍兵ノ突貫シ來ルヘキ大道ニ跨  
 テ準備スベキ戰鬪陣地  
 戍兵ノ出撃方向ノ數ヲ制減スル爲メ森林内ニ設クベキ鹿砦  
 全上ノ目的ヲ有スル氾濫  
 材料彈藥糧食ノ到達スベキ端末停車場ヲ掩護スル爲メ設クベキ  
 特別防禦工事  
 十一、鐵道線上ニ行フベキ破壊ノ種類  
 斷絶スベキ導水工事  
 搜索スベキ地中電線  
 敵ノ艦艇ヲ防クベキ處置

工事

十、

破壊

十一、

給養補充

要塞ヨリ一日行程以内ニアル諸村落ノ糧食ヲ奪收シ戍兵ヲシテ  
一出撃ヲ以テ之ヲ獲ル能ハサラシムルヲ

十二、軍隊ノ生存ニ要スル處置

補給品運搬用車輛ヲ收藏スベキ停車場

徵發區域

諸管區ノ中心ニ造ルベキ本庫

兵站線ノ頭部停車場ノ指示

内務上ノ工

十三、軍隊ノ整頓ノ爲メニ施コスヘキ諸工事

廠舎ノ造營、井ノ掘開、唧筒ノ配當

道路ノ開設、舎管用器具ノ分配

將來設ケヘキ鐵道帶

衛生

十四、衛生法、衛生上ノ定期巡視

病者及ヒ傷者ノ徵收

傳染病及ヒ獸疫ノ豫防法

軍使捕虜住  
民

各舎營地ニ病院ノ創設

十五、敵トノ交通、軍使ヲ受領スヘキ一道路ノ規定

捕虜ニ與フヘキ規定

住民ニ對スル處置

後方警戒

十六、數日行程ノ搜索ニ任シ及ヒ隣軍ト連絡スル所ノ騎兵ニ依ツテ攻

圍線ノ後方ヲ保護スルヲ

住民ノ武器ヲ徵收スルヲ

雜件

其他槍掠ヲ禁止スル手段○鎮撫隊ノ設置○憲兵ヲ以テスルル後方ノ

監視○物品供給者及ビ商賈ノ名簿

郵便勤務ノ規定○脚夫ノ發着時間○書翰係ノ指定

砲工兵司令官ト軍隊指揮官トノ關係○此兩官ニ供給スヘキ雜役兵及

ビ助手○普通工事及ヒ受負工事ノ日額

●例 巴里要塞ヲ攻圍スル爲メ獨乙大本營ノ下シタル命令

一千八百七十年九月十五日 シヤト、チエリーニ於テ  
 パリーニ向ツテ行フ進軍ノ目的ハ先ツ此首府ト其外部トノ交通ヲ遮  
 斷シ而シテ之ニ補給シ之ヲ解圍セントスル敵ノ企圖ヲ妨害スルニア  
 リ故ニ諸團隊ハ攻圍線ノ延長ヲ減スル爲メ堡壘ノ砲火ニ暴露セサル  
 限リ成ルベク之ニ近接スルヲ謀ルベシ  
 ▲一ズ軍ハ其方向ヲパリーノ北方ニ取り第四、近衛及ビ第十二軍團(ザ  
 クソン)ハ九月十九日ニ、但シ近衛及ビ第十二軍團ノ騎兵ハ全十八日ニ  
 パリーノ下流ニ於ケルセーヌ河ノ右岸ト、上流ニ於ケルマルヌ河ノ右岸  
 トノ間ニ含メル地域内ニ攻圍ヲ終ル如ク運動スヘシ而シテアルクヤ  
 ソツワイユハ堅固ニ之ヲ占領スルヲ要ス  
 騎兵第五第六師團ハ九月十八日ヨリパリーノ下流ニ於ケルセーヌ河ヲ渡  
 河スルヲ力メ其後チ第三軍ノ騎兵ト連絡スル爲メボロツシーヨリシユ  
 グレーズ迄其搜索線ヲ擴張スヘシ

第三軍ハマルヌ河及ビセーヌ河ノ左岸ニ依テ進ミ後方部隊ノ集合ス  
 ルニ隨ヒ陸續左方ニ攻圍線ヲ延張スベシ而シテ少クモ一軍團ヲパ  
 リーノ上流ニ於ケルマルヌ河トセーヌ河トノ間ニ殘留スルヲ要ス  
 パリーノ敵軍ハ攻勢ヲ取ル丁萬之ナカルヘシ故ニ第三軍ハ▲一ズ軍  
 ナ待ツトナク今ヨリ其前進ヲ繼續スルヲ得、第三軍ノ騎兵ハ騎兵第五  
 第六師團ト連絡スル爲メ及ビ敵ハロワールニ於テ豫備軍ヲ集合スル  
 ノ疑アルヲ以テ此方向ヲ搜索スル爲メ成ルベク速カニ發進セシムル  
 ヲ要ス  
 パリーニ通スル總テノ鐵道ハ使用シ能ハサラシムベシ但シ已ニ占領  
 セル地點ニ於テ單ニ軌跡及ビ轉路機ヲ奪取スルニ止ムルヲ要ス電信  
 線モ亦タ一定ノ場處ニ於テ切斷スベシ  
 ▲一ズ軍ト第三軍トノ連絡ヲ保ツ爲メ巴里ノ上流ニ於テマルヌ河及  
 ビセーヌ河ニ數多ノ橋梁ヲ架設シ且ツ之ヲ以テ縱隊ノ進出ニ供スル  
 爲メ其數ヲ十分ナラシムベシ

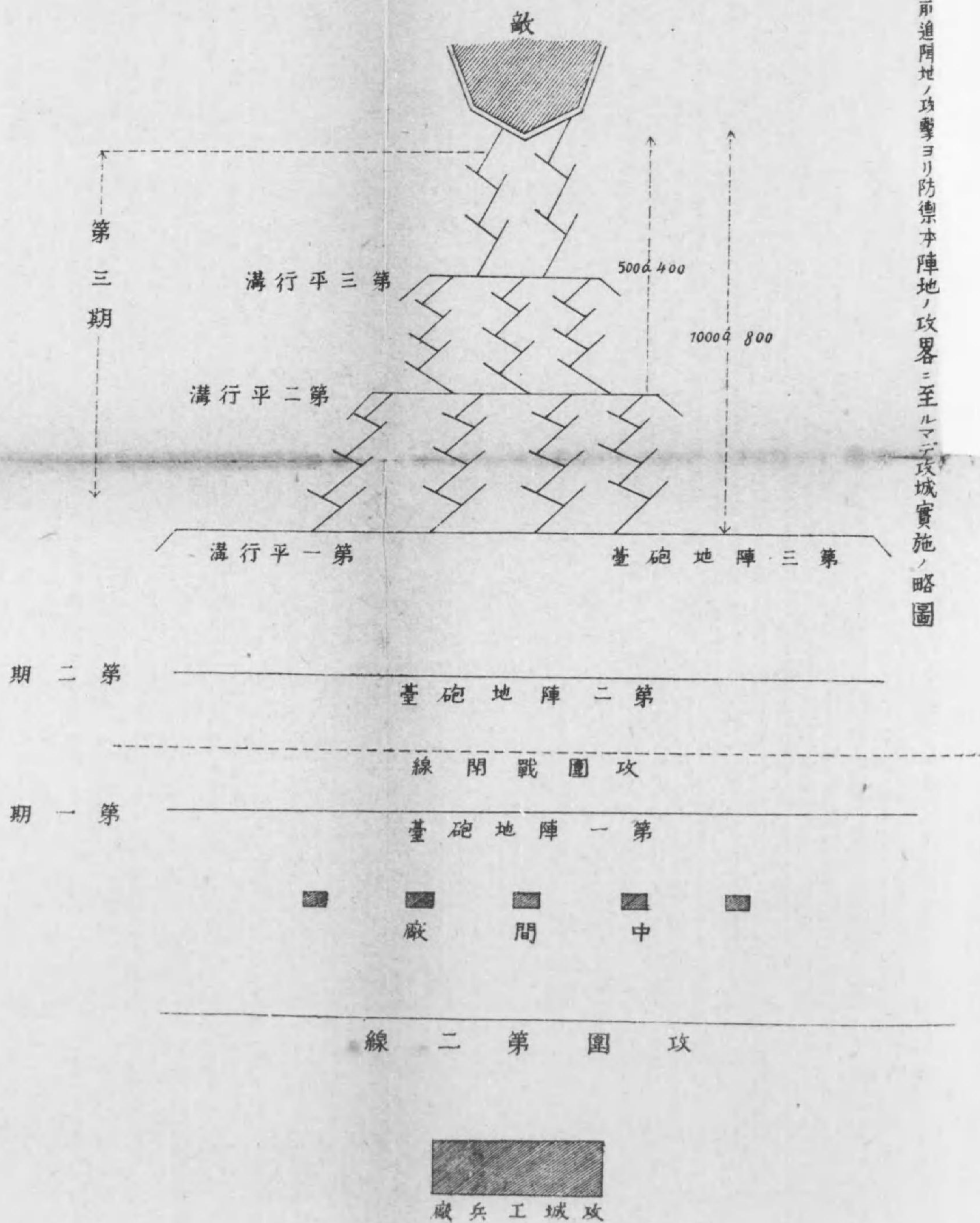
攻圍部隊ハ其第一線ニ築城スルヲ要ス且ツ注意シテ敵ノ施コセル防禦工事ヲ偵察スベシ  
 敵若シロワールノ方向ヨリ來テバリチ救援セントスルニ於テハ第三軍ハ一時首府ノ攻圍チ其一部隊ニ委シ首力ヲ以テ敵ニ向ヒ前進スヘシ然レモ之ヲ擊退スルノ後チ再ビ封鎖ニ從事センガ爲メ遠クモ一日或ハ二日行程ヲ超ヘサルヲ要ス  
 大本營ハ一時モ一ニ駐在ス第三軍ハ之ヲ掩護スルニ任ス

大本營參謀總長フオン、モルトケ

其五 攻城ノ實施附攻城實施畧圖

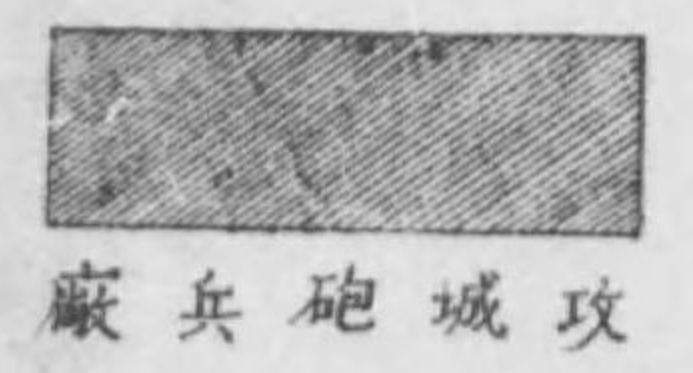
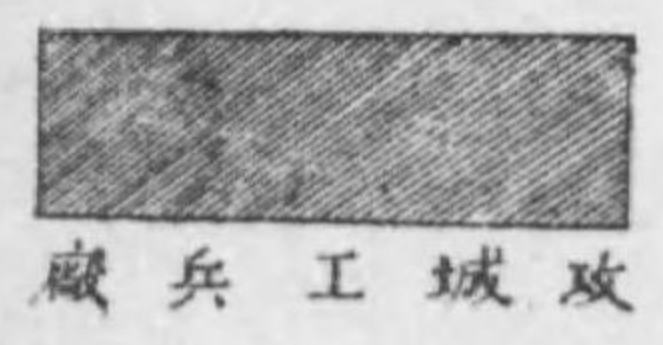
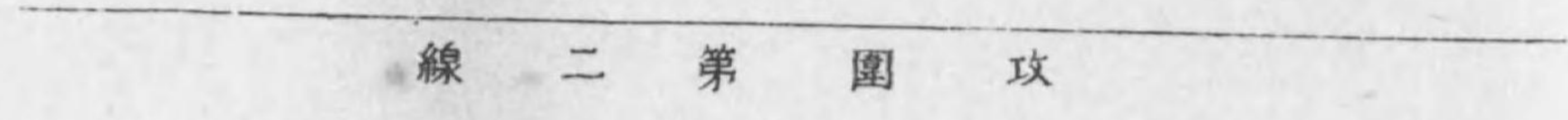
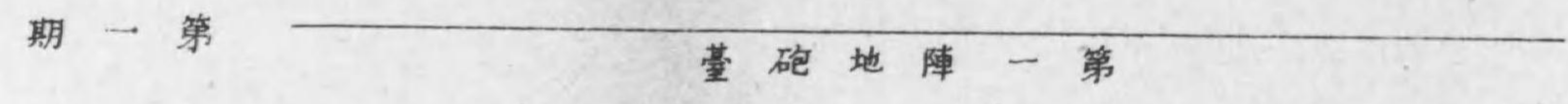
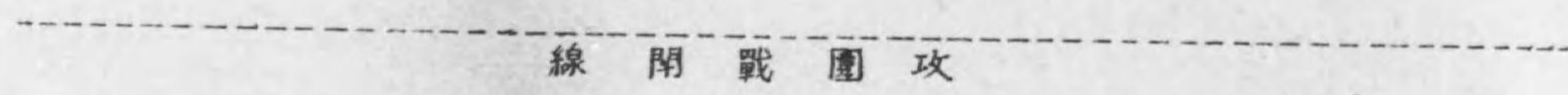
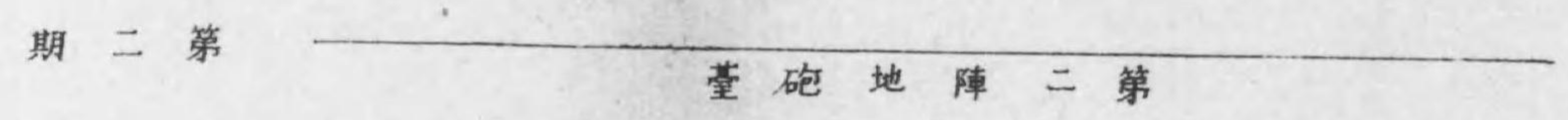
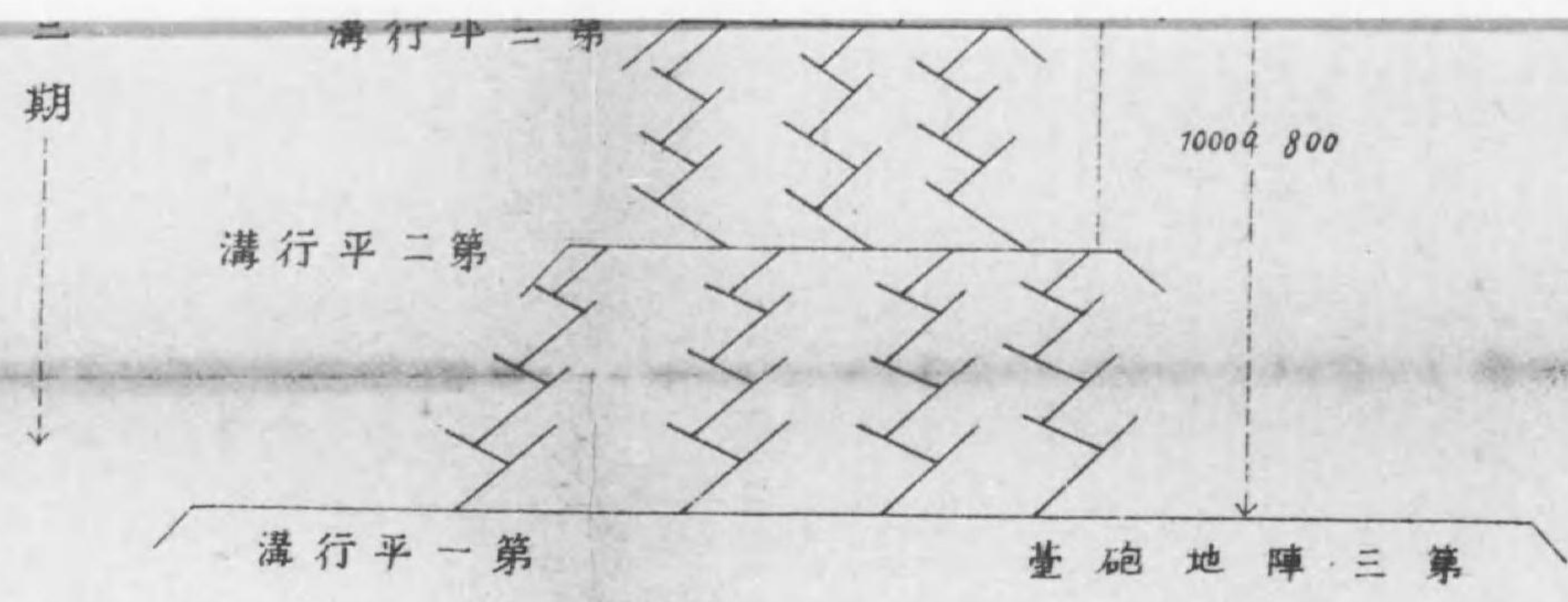
攻城ノ實施ハ攻撃準備ヲ終レバ其端ヲ開クモノトス而シテ其攻撃ノ進捗ニ從ヒ之レヲ左ノ如ク三期ニ分ツ

前進陣地ノ攻撃ヨリ防禦中陣地ノ攻畧ニ至ルマデ攻城實施ノ略圖





地ノ攻畧ニ至ルマデ攻城實施ノ略圖



四ノ卷一八六ノ次

第一期 前進陣地ノ攻撃

第二期 防禦本陣地ノ攻撃準備又ハ遠戦

第三期 防禦本陣地ノ逼迫攻撃

攻城第一期

攻城第一期(前進陣地ノ攻撃) 守者ハ我攻城廠設置ニ由ツテ攻城

第一陣地砲臺

地區ヲ察知スルヤ此地區ニ對シテ防禦編成ヲ施シ我攻城作業ヲ妨グ  
ルモノトス故ニ攻者ハ勉メテ多數ノ長加農ヲ攻圍戰闘線ノ後方ニ備  
ヘ敵ノ前進陣地(防禦本陣地ノ前方約二吉米ニアルヲ通常トス)ヲ奪取スルヲ要ス之レヲ第  
一、陣地砲臺ト稱ス

此砲臺ハ成ルベク速ニ築設シテ射撃ヲ開始シ守者ノ防禦本陣地ノ砲  
兵ヲ惱マシ且ツ前進陣地トノ交通及ビ中間砲臺ノ構築ヲ妨害シ此  
掩護ニ由ツテ野山砲ヲ適當ノ距離ニ前進セシメ以テ前進陣地奪取  
準備砲戦ヲ開始セシメ砲戦効ヲ奏シタル頃前進陣地ニ向ヒ強襲(強方襲)

新戰陣地

法ハ後ヲ行フ此前進陣地ヲ奪取シタル後ハ直チニ之レニ防禦工事ヲ施シ堅固ニ之ヲ守備ス之レヲ新戰陣地トナス  
 特別ノ場合ニ於テ砲兵已ニ前進陣地ニ侵入セシトキ戍兵ハ新砲兵ヲ顯出スルヲアリ是レ所謂陰射砲臺ニシテ之レヨリ攻畧シタル陣地ヲ射撃セラル、キハ遂ニ之ヲ維持シ能ハザルニ至ルヲアリ  
 攻者ハ此際第一陣地砲兵アルモ如何トモ爲シ能ハザルナリ故ニ預ジメ此砲擊ニ對スルノ準備ナカルベカラズ之レガ爲メニハ突撃ヲ日暮前ニ施行シ夜陰ニ乘ジ迅速ニ之レニ對スベキ陰射砲臺ヲ建築スルヲ肝要ナリ

攻城第二期

第二陣地砲臺

攻城第二期(防禦本陣地ノ攻撃準備) 守者ノ前進陣地奪取後ハ守者ノ防禦本陣地攻撃ノ爲メ更ニ攻城砲臺ヲ増加スルヲ要ス之レヲ第二陣地砲臺ト稱シ此砲臺ニ備フヘキ火砲ハ圓廓破壊ノ爲メニ大口徑

攻城第三期

加農掩護部及ビ堡壘内外岸破撃ノ爲メニ大口徑榴彈砲及ビ臼砲ヲ要ス而シテ第一陣地砲ノ火砲モ其若干ヲ殘シテ他ハ此第二陣地ニ移スモノトス此クノ如クシテ敵ノ防禦陣地ニ對シ砲戰ヲ開始スルナリ而シテ若シ此砲戰ノ結果能ク敵ノ堡壘ヲ破壊シ破墻口ヲ穿開シ得レバ直チニ強襲ヲ行フト雖此時機ニ於テハ概ネ未ダ敵ノ防禦ハ堅固ナルモノニシテ敵ノ支援陣地ハ已ニ完成シテ能ク防禦本陣地ヲ支援シ勇猛ナル歩兵ハ掩護部内ニ在テ砲擊ノ危害ヲ受ケズ尙ホ多數ノ機關砲及ビ速射砲ハ依然待避場ニアリ然ルキハ之レヲ強襲センヲ頗ル困難ナルノミナラズ必ラズ失敗スベシ爰ニ於テカ謹慎確實ナル漸次ノ攻撃法ヲ採用セザルベカラズ

攻城第三期(防禦本陣地ノ逼迫攻撃) 第二期攻撃ニ於テ未ダ破壊シ得ザル部分ヲ破壊スル爲メ、並ニ敵ノ防禦本陣地ノ後方ニアル第二

第三陣地砲臺

第一平行溝

線防禦陣地(或ハ支援陣地或ハ應援陣地トモ云フ)ヨリスル砲撃ニ對スル爲メ更ニ砲臺ヲ前進セシムルヲ要ス之レヲ第三陣地砲臺ト云フ此時期ニ至レバ通常地形ヲ利用シテ戰鬪地ヲ編成スルヲ能ハズ且ツ又之レヨリ尙ホ前方ニ進マンニハ近接作業ヲ以テスルニ非ラザレバ能ハズ故ニ砲臺ノ掩護並ニ近接作業ノ基礎ヲ定ムル爲メニ廣大ナル塹溝ヲ掘開ス之ヲ第一平行溝ト稱ス

第一平行溝ハ昔時ニ於テハ堡壘ヲ距ル六百米ノ地ニ之ヲ掘開シタレト今時ハ防禦火ノ猛烈ナルガ爲メ屢八百乃至千米ノ地ヨリ之ヲ開設セザルベカラザルニ至ル平行溝ノ兩翼ハ之ヲ天然ノ障礙物ニ依托スルニ非ラサレハ必ラズ人爲ノ抗抵物ヲ以テ其安寧ヲ謀ラサルベカラズ

現今電氣燈ノ發達ハ夜間ト雖工事ヲ發覺セラレ機關砲、速射砲ノ發達

第一平行壕ヨリ前進法

ハ近接作業ニ頗ル妨害ヲ加ヘラル、モノトス故ニ此平行溝ノ掘開ハ甚ダ困難ニシテ方今ハ一齊ノ急設法(工兵操典)ヲ用ユルヨリモ寧ロ漸次構築法ヲ用ユルヲ可トス其法先ヅ其位置ニ步哨ヲ配布シ散兵坑ヲ掘開シ之ヲ基礎トシテ漸次敵目ヲ避ケツ、此中間ヲ連接掘開スルニアリ

第一平行溝ヨリ漸次防禦本陣地ニ迫マリ突撃前ニ至ルマデ電光形ノ攻路ヲ掘開シツ、前進スルモノナリ此攻路ハ地物及ビ土地ノ起伏ヲ利用シ塹溝ヲ以テ之ヲ聯接スルモノトス塹溝ノ方向ハ敵火ノ縱射ヲ受ケザル如ク能ク遮蔽スルヲニ注意スベキナリ塹溝ハ數多ノ保籃ヲ準備シ急造對壕ヲ以テスルヲ通常トス攻路前進スルニ從ヒ第二、第三、第四、平行溝ヲ設ケ其中間ニハ半平行溝ヲ設クルヲアリ而シテ第二平行溝以後ハ攻撃地區ノ全正面ヲ包括セシメズ唯ダ其攻撃セント欲ス

ル堡壘ノミニ對スルモノトス

此クノ如クシテ前進シ第二第三平行溝ニハ速射砲、小口径ノ加農及ビ  
臼砲ヲ備ヘ第三陣地砲臺ト協力シ斜堤上ニアル副防禦、側防機關、内外  
岸等ヲ破壊シ又壁壘ノ内部及ビ咽喉部ヲ射撃シ以テ突撃ヲ準備ス  
敵若シ坑道ヲ備フルハ地中戦ニ由テ之ヲ破壊シ遂ニ進ンデ斜堤頂  
ニ冠塞ヲ設ケ坑道術ニ由テ地雷ヲ裝シ破墻口ヲ開クナリ此破墻口ハ  
少クモ幅、二十米以上ナルヲ要スルモノトス

對壕作業ノ  
際守兵ノ出  
撃ニ對スル  
處置

攻圍線ノ編成已ニ完備スレバ守兵ノ大出撃ハ畏ルヽニ足ラズ然レモ  
其小出撃ニ對シテハ大ニ警戒セザルベカラズ蓋シ此小出撃ハ夜間小  
枝隊ヲ以テ施スモノ、ニシテ其目的ハ對壕作業手ヲ撃退シテ其掘開セ  
ル塹壕ヲ填埋スルニアリ攻者ノ之レニ對スル處置ハ出撃ノ警報ヲ聞  
クヤ直チニ塹壕守衛隊ヲ前進セシメ出撃隊ノ未ダ攻路ノ先頭ニ達セ  
ザルニ先ダチ之ヲ包撃スルノ策ニ出ヅベシ此際作業手ハ作業ヲ中止

攻撃第三期  
ノ終末即ハ  
千突撃

シ武器ヲ取り以テ命ヲ俟ツ敵若シ平行壕ヲ迂回スル運動ヲナスルハ  
後方ノ輕砲ヲ發射シテ之ヲ妨グベシ

攻撃漸次歩ヲ進メ遂ニ堡前ノ諸障碍ヲ除去シ破墻口ノ通過シ得ベキ  
者ヲ成形スレバ實撃ニ移ルナリ而シテ之ヲ行フニ最モ便宜ナル時期  
ハ夜間ニ於テ堡壘ノ畧取セル一部ヲ固守スベキ作業ヲ施行スル爲メ  
日没ヲ撰ムヲ利アリトスト雖モ夜間ノ行進及ビ戰鬥ハ屢々避クベカ  
ラザル混雜ヲ生ズルガ故ニ突撃ハ拂曉之ヲ行フヲ多シトス

預定ノ時限前ニハ堡壘ニ向ヒ猛烈ナル砲撃ヲ施行ス其射撃スベキ點  
ハ(守兵ヲ傍及ビ堡壘ノ内部諸物資ノ搬出ヲ止ムル爲メ)又交通ヲ妨ケル爲メ。破  
ナ合シテ突撃隊ノ側面ノ攻撃(堡壘ノ後方及ビ側方ナリトス而シテ砲  
ヲ試ミントスルヲ過ムル爲メ)堡壘ノ後方及ビ側方ナリトス而シテ砲

擊間突撃隊ハ外岸、破墻口ノ近傍、冠塞附近或ハ其後方ノ塹溝内若クハ  
最終平行壕内ニ集合シ突撃ノ信號ヲ待ツモノトス豫備隊ハ最近ノ平

行溝内ニ占位シテ突撃隊ヲ支援スルカ或ハ不利ノ場合ニ其退却ヲ防護スルノ準備ヲ爲ス者トス  
 守兵ヲ欺キ且ツ之ヲ疲勞セシムル爲メ數回假僞ノ信號ヲ行ヒ其後豫定ノ信號ヲ傳フレハ砲兵ハ射距離ヲ延伸シ突撃隊ハ各破墻孔ヲ通過シ得ル全幅正面ヲ以テ突進シ且ツ至大ナル衝突力ヲ有スル爲メ縦深ノ隊形ヲ取ルヘシ突撃ノ兵力ハ通常各破墻孔ニ一大隊ヲ以テシ其内二中隊ヲ突撃隊トシ二中隊ヲ豫隊トス而シテ各突撃隊ハ若干ノ工兵ヲシテ地雷ヲ搜索シタル後ニアラサレバ堡壘内ニ入ルベカラズ又之レニ反シ守兵頑強ノ抵抗ヲナスキハ堡壘ノ頂斜面上ニ伏臥シ堡壘内部ヲ圍繞スベシ此場合ニハ最モ慘酷ナル格闘ノ起ルモノトス  
 守兵ノ勇氣猛勢ナラザル時ハ通常第三行溝ヨリ直チニ突撃ヲ施行スルヲ得而シテ守兵ノ未ダ胸墻上ニ守備セザル前攻兵ハ己ニ壕ニ達ス

ルヲ得ヘシ此クノ如キ場合ニ於テハ突撃前ニ於ケル諸工事ハ頗ル之ヲ省略シ得ルノ利アルモノトス  
 堡壘内ニ複郭ノアルヲアリ然レモ此複郭ハ既ニ多少ノ砲撃ヲ受ケテ多少破壊セラレタルナラン故ニ敵兵ハ之ニ據ツテ充分ノ抵抗ヲナシ得ルヤ疑シ若シ複郭ノ防禦力未ダ衰ヘズシテ敵兵之レニ據ルキハ更ニ之レニ向ツテ攻撃セザルベカラズ  
 己ニ堡壘ヲ占領シタルバ敵ノ逆襲ニ對シテ防禦法ヲ施シ堡壘ニ存スル輕砲ノ如キハ之レヲ咽喉部ニ備フベシ然レモ僅ニ二若クハ三個ノ分派堡ヲ奪取シタルキハ第二線ノ堡壘ヲ攻撃スル以前ニ尙ホ比隣ノ一或ハ數個ノ堡ヲ奪取スルヲ要ス是レ第二線堡ニ對スル攻撃正面ヲ擴張シ且ツ行進ノ際側面ニ襲撃ヲ被ラサルガ爲メナリ而シテ奪取セント欲スル分派堡ハ既ニ占領セル堡ヨリ縦射シ且ツ時トシテ後射シ

得ルニ因リ一般ニ其陥落ハ迅速ナルモノトス

其六 第二線堡(支援陣地)及ビ中央核堡ノ侵畧

第二線堡ノ  
攻撃

第二線堡(支援陣地)ニ對スル近接作業ヲ施行スルノ要領ハ既ニ論述シタル者ト殆ンド同一ニシテ防禦本陣地ニ對セシ第二、第三陣地ノ砲臺ハ恰モ第二線陣地ニ對シテハ第一、第二陣地砲臺ノ如ク使用セラレ第二線陣地ニ對スル第三陣地砲臺ハ新ニ奪畧シタル分派堡内ニ構築スルモノトス而シテ敵ノ第二線防禦陣地ハ概ネ半永久或ハ臨時築城ナルヲ以テ外岸ニ迄近接作業ヲ前進セシムルハ極メテ稀ニシテ適宜ノ距離ニ至リテ強襲ヲ試ムレバ概ネ勝ヲ期シ得ルモノトス  
支援陣地ニ向ツテ施行スル對壕ハ防禦本陣地ニ向ツテシタルガ如クシテ成ヘベク簡單迅速ニ施行スベキモノトス支援陣地攻撃ノ時ニ際

核堡ノ攻撃

シテハ出撃ヲ受クルノ恐れ尠シ故ニ平行壕ヲ設クルノ必要ナシ唯ダ攻路ヲ開設スルノミ攻路ハ支援陣地ヨリ六百乃至八百米ノ距離ヨリ始メ其數ハ一堡壘毎ニ一個トス而シテ攻路ノ前進ハ成ルベク迅速ナラシム  
第二線堡(支援陣地)ノ攻撃、地區、正面、ハ、決定、ハ、第一、線、ニ、於、ケ、ル、ト、同、要、旨、ヲ、以、テ、決、ス、ル、ナ、リ、又、核、堡、ニ、向、ヒ、前、進、ヲ、續、行、ス、ル、ニ、向、ホ、守、兵、ノ、防、禦、ス、ル、外、部、堡、壘、ヨ、リ、後、射、セ、ラ、ル、患、ナ、キ、ヲ、顧、慮、ス、ル、ヲ、要、ス  
第二線及ヒ核堡ノ砲撃ヲ始ムルト全時ニ砲工廠ヲ近接セシメ又其前方ニ前哨ヲ派遣シ地物ヲ利用シテ漸次ニ第二線堡壘ニ近逼セシム然ルキハ敵ハ此砲撃ノ爲メ已ムヲ得ズ堡及ヒ塹溝等ヲ棄テ退却スルノ域ニ陥ルヲアリ  
攻兵已ニ第二線堡(支援陣地)ヲ占領スレバ核堡ニ向ツテ正攻法ヲ始ム

ル者トス通常此位地ニ更ニ一線ノ砲臺ヲ構築ス此時限ニ於テモ攻圍線陣營砲工廠ヲ近接セシメ尋テ撰定セル攻撃凸角ニ向ツテ近接作業ヲ施行スル者トス通常核堡ニ對シテ攻撃ヲ施行スルニハ甞ニ其圍廓ノ部ニ止マラズ尙ホ其比隣ノ堡壘ニシテ我ヲ展望ス可キ者ヲモ抱圍スルヲ要ス且ツ核堡ハ通常永久築城ナルヲ以テ第一線分派堡前ニ於ケルガ如ク堅固ノ砲臺ト許多ノ近接作業トヲ施設セサル可ラス而シテ第三平行溝ヨリ前方ハ作業最モ困難ニシテ最モ錯雜ヲ極ムルモノトス是レ核堡前ニハ大抵外廓ノ設置アルガ故ナリ然レモ攻兵ハ奮戰ノ後半月堡或ハラプランヲ畧シ尋テ本郭ノ凸角ニ突撃ヲ行ハサル可ラズ此時守兵ハ抵抗ヲ永カラシムル爲メ市街戰ヲ企テ又複郭或ハ他ノ内堡壘ニ退テ最モ榮譽ノ開城ヲ行ハンコトヲ許ルヘシ然ルキハ攻兵ハ此堡壘ニ對シ最後ノ戰鬪ヲ爲シテ之ヲ侵畧スルヲ要ス

若シ核堡ノ構築堅固ナラズ永久築城ヲナサザル市街ニ外ナラザル時ハ此核堡攻撃ハ尤モ單純ニシテ通常ノ市街戰ト同要領タルベシ

### 其七 解圍

攻城ノ施行中不虞ノ事變發生シ之ガ爲メニ攻城ヲ廢棄スヘキコトアリ蓋シ此事變ノ種類頗ル多シ例ヘハ守兵援軍ノ到着友軍ノ退却糧食彈藥ノ欠乏氣候ノ不良惡病ノ流行等是レナリ

抑モ正攻ノ解圍ハ困難ナル動作ナリトス何トナレバ戍兵ハ必ラズ此機ニ乘シテ遽カニ追撃ヲ行ヒ我軍ノ退却ヲ擾亂センコトヲ努ムベケレバナリ故ニ解圍ノ準備及ヒ物料運送ノ爲メ決定ノ時間ハ強メテ永ク戍兵ニ察知セシメサルヲ要ス

解圍ヲ行ハンニハ先ツ最モ貴重ノ材料即ハチ最大口徑ノ砲ヲ砲廠ニ



搬送ス之カ爲メニ漸次野砲ヲ砲臺ニ致シテ之ト代換シ以テ此野砲ヲシテ射撃ノ勢力ヲ減殺スルヲナク之ヲ連續セシム病者及ビ負傷者ハ策源ニ送附シ尋テ攻城本軍ノ庇護ニ依リ全材料ヲ漸次ニ後方ニ運搬ス而シテ尙ホ此動作ヲ保護スル爲メ強後衛ヲ塹溝内ニ殘置セシム此後衛ハ自ラ攻圍線内ニ退去シ茲ニ於テ運輸シ能ハサル材料ヲ毀壞シ爾後城兵ノ追撃ヲ支フル爲メニ且ツ戰ヒ且ツ退キ以テ解圍ノ施行ヲ全フスルモノトス

## 第二章 防禦法

### 其一 平時防禦ノ準備

計畫 要塞ハ急速ニ平時ヨリ臨戰又ハ合圍ニ移ルヲナキニ非ス故

### 一般防禦計畫ノ要件

ニ平時ヨリ防禦ニ切要ナル事項ヲ充分ニ研究シ且ツ緊要ノ作業ハ努メテ之ヲ施設スルヲ忽ニス可カラズ何トナレハ急迫ノ場合ニ臨テハ常ニ施行スベキ豫想外ノ事項頗ル夥多ナルヲ以テナリ  
平時ニ於テ行フベキ計畫ニ一般防禦上ノ計畫ト防禦細部ノ計畫トハ別アリ、一般防禦計畫ノ要件左ノ如シ、

- 一、 要塞ノ價值ノ決定及ヒ其地方防禦ニ關スル任務ノ決定
- 二、 敵ノ施行スベシト豫察スル各種攻法ノ調査
- 三、 城塞各部並ニ其周隣地ノ調査點檢、敵ノ交通路、攻撃地境及ヒ各攻撃點等ノ調査研究
- 四、 敵ノ攻撃ニ對スル防禦方法

防禦細部計畫要件左ノ如シ

- 一、 砲工兵勤務ニ關スル砲備、編成、補充、工事、通信等ノ細件

### 防禦細部計畫ノ要件

- 二、 戍兵ニ關スル給養ノ細件
- 三、 衛生ニ關スル細件
- 四、 無益ノ人民ヲ追放シタル后チ要塞内人口ノ決定、人民ニ要スル補給品ノ蓄積、水車、窟窿、職工、及ビ地方ニ發見スル諸種物資ノ統計、消防勤務ノ編成

**砲備** 砲備ヲ分ツテ安全砲備、防禦砲備、出撃砲備トス。安全、砲備、ハ奇襲ヲ防遏シ強襲ヲ擊退スルヲ目的トスル者ニシテ必ラズ諸堡壘ニ之ヲ設クルヲ要ス。防禦、砲備、ハ安全砲備ヲ完備シテ戰鬪ヲ支ヘ且ツ臨時砲臺及ビ急造肩墻ニ要スル火炮ヲ其豫備ヨリ供給シ又特ニ攻城間攻撃ヲ受クル方位ニ多ク砲ヲ備フルヲ目的トス。出撃、砲備、ハ專ラ遊動隊ヲ援ルヲ目的トス。是等ノ砲備ノ外ニ交換用ノ火炮ヲ蓄フルモノトス。

**戍兵** 要塞ノ戍兵ハ決シテ一定ノ者ニアラズ實驗ニ徴スレバ防禦

本陣地上ノ毎米突ニ〇、七三乃至〇、七五即百米ニ付キ七十三人乃至七十五人ヲ適當トスルノ、如シ今半至十吉米ヲ有スル大要塞ニ在ツテ緩徐ナル正攻ニ堪ヘ得ベキ戍兵ヲ算サバ概ネ左ノ如シ

步兵	三三〇〇〇、人	騎兵	七〇〇、人
砲兵	一〇〇〇〇、人	工兵	三〇〇〇、人

戍兵ハ分ツテ二部トス乃ハチ甲ハ城塞ノ防禦ニ任スル常備戍兵ニシテ乙ハ外部ノ陣地ヲ占領シ且ツ出撃ノ施行ヲ任務トスル遊動隊トス。遊動隊ノ主重ナル素質ハ步兵ニシテ常備戍兵ハ之レヲ極小ニ減シ力メテ遊動防禦ニ任スル軍隊ヲ許多ナラシムルヲ利アリトス

其二 戰時及ビ攻城間防禦準備

臨戰ニ於テハ要塞司令官ハ要塞ノ安全ヲ計ル爲メニ如何ナル經畫ヲ

モ爲シ得ベキ權力ヲ帶ヒ敵、我が要塞ニ對シ某企望ヲ試ミントスルモ  
 ニ至リテ合圍ニ移シハ行政權モ亦要塞司令官ノ手中ニ歸ス故ニ戍兵  
 ハ勿論人民ニ至ル迄要塞司令官ノ命令ヲ遵奉スベキモノトス而シテ  
 近今戰爭ハ其動作快捷ナルヲ以テ臨戰合圍ノ兩期間ニ數多ノ日子ヲ  
 經過セズ其一旦臨戰ニ至レバ要塞ノ各種防禦編成ノ爲メ著大ノ作業  
 ヲ要スルニ由リ合圍ノ公示ハ努メテ早ク之ヲ發表セサル可カラズ故  
 ニ茲ニ此兩者ヲ分別スルコトナリ要塞内外ニ施行スベキ一般ノ事項ヲ  
 論示セントス

要塞司令官ハ砲工兵ニ關スル總テノ防禦作業ヲ施行セシメ又補給品  
 ヲ整頓シ要塞ニ完全ナル防禦力ヲ具備セシム

防禦ニ無益ノ人民ヲ放逐シ、消防勤務ヲ編成シ奇襲強襲ヲ監視スル哨  
 所ヲ配置シ絶ヘス要塞ノ周隣地ヲ搜索セシメ又地方トノ交通ハ務メ

テ永ク之ヲ保存スヘシ

要塞ハ戰術上ノ關係及ビ地形ニヨリ若干ノ堡壘團ニ區分シ其堡壘團  
 ノ若干ヲ集メタルモノヲ以テ扇區トス此各扇區ハ將官若クハ上長官  
 一名ヲ以テ指揮セシム之レヲ扇區司令官ト云フ

大要塞ニ於ケル各扇區ハ通常二個ノ堡壘團ヲ以テス

前進陣地ハ防禦本陣地ヨリ二千五百米乃至三千米ニ設クルモノニシ  
 テ其目的ハ敵ヲシテ遠距離ヨリ攻撃ヲ開始セザルヲ得ザラシメ其砲  
 兵ノ第二陣地ニ就クヲ妨グ以テ攻城ノ進歩ヲ遲緩セシムルニアリ而  
 シテ此陣地ハ攻勢防禦ノ性質ヲ具スルモノナリ故ニ此目的ニ適ス  
 ル如ク總テノ工事ヲ施サ、ルベカラズ

防禦本陣地ハ其前方ニ歩兵陣地ヲ編成シ小銃長射程内ニ於ケル射場  
 ヲ清掃シ支點堡壘ノ前方ニ副防禦ヲ設ケ適當ナル地點ニ新砲臺ヲ建

築スルヲ要ス

其三 攻城初期ノ防禦

外地ノ防禦 防禦ノ第一動作ハ監視勤務ニシテ即ハチ敵軍要塞ヨリ數日行程ノ遠距離ニアルヤ絶ヘズ歩兵或ハ騎兵ノ斥候ヲ派遣シテ敵ノ行進ニ關スル情報ヲ探知シ敵軍ノ爲メ漸次壓迫セラレ要塞ノ作用區域内ニ達スレバ城外枝隊ニ依ツテ收容セラル

此城外枝隊ハ即ハチ要塞遊動隊ノ任ズル所ニシテ其兵力ハ要塞司令官時機ニ應ワテ之ヲ定ム面シテ其動作ハ野戰ニ於ケルト異ルコトナシ

城外枝隊ノ任務トスル所左ノ如シ

一、攻圍軍ノ騎兵ヲ防止ス

城外枝隊ノ任務

二、要塞外ノ物資ヲ徵集シテ要塞内ニ運搬スルヲ容易ナラシム  
三、敵ノ攻圍運動ヲ容易ナラシムベキ諸交道路並ニ攻城輻重ノ運搬ヲ便ニスベキ道路等ヲ破壊ス

攻圍軍前進スルヤ城外枝隊ハ其運動ヲ妨害スルヲ勉ムベキモノナレモ其動作區域ハ兵力ノ多少ニ由テ變化ス要スルニ城外枝隊ハ通常兵力微弱ナルモノナルヲ以テ通常一日乃至三日行程ノ地區ニ動作シ早晚退却セザルヲ得ザルモノナルガ故ニ要塞ト聯絡ヲ保チ優勢ノ敵ト決戦スルヲ避ケ要塞砲火ノ掩護下ニアラザレバ眞面目ノ戰鬪ヲナサ、ルヲ通則トス  
城外枝隊ガ敵ヲ攻撃スルニ適切ナル時機ハ敵ガ假攻圍線ヲ作ラント欲スルキニアリ蓋シ此時期ニ在ツテハ攻城軍ハ地形ニ明ナラズ通信ノ方法未ダ完カラズ防禦工事モ亦タ未ダ完備セズ各個ニ擊破スルノ

機會ヲ得レバナリ

攻圍時期ニ於ケル防禦 城外枝隊ガ前進陣地ニ退却スルヤ要塞扇區守備隊ハ之レヲ收容スル爲メ其戰鬥陣地ニ就クヘキナリ堡壘及ビ新ニ築設セル中間砲臺ノ加農ハ敵ノ行軍縱隊ガ其射程内ニ達スルヲ待ツテ榴霰彈ヲ發射ス又夜間ト雖攻圍陣地ノ作業及ビ攻圍扇區兵ノ宿營スベキ村落ヲ射撃ス此際中間砲臺ノ垂直射砲ハ曳火爆裂彈ヲ用ヒテ全ク遮蔽シアル敵兵ヲ射撃ス此クノ如ク間斷ナキ射撃ハ攻圍軍隊ノ志氣ヲ攪亂セシムルモノナリ

其四 攻城第一期 前進陣地ノ防禦

攻者ノ態度

攻者ハ前進陣地ノ全體ニ向ツテ攻撃スルヲナカルヘシ蓋シ攻者ハ已ニ守者ヲ前進陣地ノ全体ヘ退却セシムル爲メ大ニ其勢力ヲ消費シ且

守者ノ態度

ツ守者ハ尤モ有利ナル防禦姿勢ニアルヲ以テ之レヲ悉ク攻畧センコトハ困難ナレバナリ 故ニ攻者ハ一ツノ攻撃點ヲ撰ヒ此點ニ兵力ヲ聚メ他ノ諸點ハ單ニ伴撃ノミヲ行ヒ守者ノ兵力ヲ分離セシムルヲ圖ルヘシ 要塞司令官ハ諸種ノ徵候ニ依リ敵ノ攻撃地區ヲ確知スルコトヲ力ムベシ

攻撃地區ヲ知ルノ徵候

即ハチ左ノ如キ徵候ハ攻撃地區ヲ確知スルニ適當ナルモノナリ

- 一、敵ノ前哨要塞ニ最モ接近シアルコト
- 二、軍隊ノ運動最モ繁忙ナルコト
- 三、作業最モ急速ニ實施セラ、ルコト
- 四、材料ノ運搬瀕繁ナルコト

敵兵前進陣地ニ向ツテ攻撃ヲ始ムルヤ要塞司令官ハ長射程砲ヲ之レ

ニ對スル地區ノ砲臺ニ備ヘテ移動砲兵ノ勢力ヲ増加シ又總テノ防禦ヲ完全ナラシムベシ而シテ敵兵愈々接近スレバ堡壘並ニ中間砲臺ノ輕砲ハ其良射界ニ於テ敵ヲ猛射シ以テ重砲ノ射擊ヲ援助スルノミナラズ堡壘内ノ速射砲モ亦タ之レヲ兼用ス

此、際、ニ、於、テ、良、好、ナ、ル、觀、測、所、ヲ、備、フ、ル、ハ、緊、要、ノ、事、項、ニ、シ、テ、輕、氣、球、ハ、此、場、合、ニ、於、テ、最、大、要、務、ヲ、ナ、ス、モ、ハ、ナ、リ、

夜、間、ハ、電、燈、若、ク、ハ、光、彈、ヲ、以、テ、照、明、シ、步、兵、ハ、晝、間、ニ、準、備、セ、ル、托、架、ニ、由、テ、射、擊、ヲ、行、フ、

防禦本陣地ノ砲兵ハ前進陣地ノ側面及ビ其中間ヲ射擊シテ敵ヲ妨止シ且ツ其迂回運動ヲ困難ナラシム

攻者若シ敗北スルキハ直チニ總豫備隊ヲ以テ逆擊スベシ要スレバ扇區ノ守備隊ヲ以テ其兵力ヲ増加ス而シテ此攻撃ニ於テ情況有利ナレ

攻者ノ攻撃不利ナルキ

守者不利ナルトキ

バ敵ノ攻圍陣地ニ於ケル防禦工事ヲ破壊シ得ベシト雖攻圍陣地完成後ハ概シテ最初工事着手ノ際ノ如ク出擊ニ由テ大ナル損害ヲ與フル能ハザルモノトス多クノ場合ニ於テ出擊ニ有利ナルハ敵ガ戰圍陣地ヲ移サント欲スル時ニアリ

守者ノ防禦不利ニシテ攻者勝利ナルキハ漸次後方ノ陣地ニ據ツテ防禦シツ、防禦本陣地ニ退却シ最モ猛烈ニ前進陣地ヲ射擊シテ敵兵ガ之レヲ占領スルヲ難キニ至ラシムベシ

此時陰射砲臺ハ前進陣地ヲ占領セントスル敵ニ向ツテ得意ノ猛烈集中射擊ヲ行フベキナリ蓋シ攻者ハ未ダ之レニ對スル應射ノ方法ナキヲ以テ此時機ハ守者ニ逆襲ノ好機ヲ與フルモノナリ

其五 攻城第二期 防禦本陣地ノ防禦

防禦本陣地ニ退却スルヤ守者ハ前進陣地ノ未ダ攻撃ヲ受ケザル部分ノ一部即チ攻撃地區ニ隣接セル一部ヲ放棄セザルベカラズ蓋シ此部分ハ攻者ノ爲メ後面射ヲ受クルヲ以テ到底維持シ能ハザレバナリ之レニ反シ敵ノ後面射ヲ受クルヲナク且ツ防禦本陣地ヨリ良ク支援セラル、部分ハ依然抵抗ヲ持續シ得ヘシ

守者ハ第一期ノ防禦ニ於テ敵ガ施行スル所ノ攻城砲臺ノ築設及ヒ攻城準備ヲ妨害セリト雖既ニ前進陣地ヲ失フキハ敵ハ更ニ新戦闘陣地ヲ構築スルヲ以テ第二期ノ防禦ニ於テ之レガ構築ヲ妨ゲザルベカラズ之レガ爲メ夜間ハ前哨ヲ敵ト近ク接觸セシメ以テ敵ノ新陣地ヲ搜索セシム此哨ハ散兵壕及ヒ塹溝ニ據ツテ埋伏ス

敵ノ新陣地ヲ發見スルキハ電燈ヲ以テ照明シ曳火彈ノ榴霰彈射撃ヲ

續行ス

諸種ノ妨害ニモ係ラズ敵兵砲火ヲ以テ攻撃ヲ始ムル時ハ守者モ猛烈ニ之レニ應射スヘシ守者ハ觀測所ハ攻者ノ陣地ヲ展望スルニ適當ナル如ク設置シ攻者ニ先ンジテ其射撃ヲ規正スルハ尤モ必要ナリ又輕氣球ハ此觀測ニ大ナル補助ヲ與フルモノトス

短砲ハ曲射ヲ以テ敵ノ之レト同種ナル火砲ニ對ス此短砲ハ守者ノ爲メ首要ナル任務ヲ有スルガ故ニ良ク掩蔽シアルヲ必要トス之レガ爲メ攻者ハ其位置ヲ發見スルヲ最モ困難ナルベク之レニ反シ守者ハ前ニ述ブル如ク觀測所ヲ設置シアルヲ以テ敵ノ同種砲臺ヲ發見スルヲ容易ナルベシ

砲戰ニ於テ守者ノ勝利ニ歸スル時ハ之レニ乘ジ大出撃ヲナシ敵ノ砲臺及ビ作業物ヲ顛覆シ再ビ外方ノ土地ヲ占領スルヲ勉ムヘシ但シ

守者ノ出撃

守者ノ不利ナル也

此出撃間守者ハ本陣地ノ警備ヲ空虚ナラシメザルコトニ注意スベシ蓋シ攻者ハ守者ノ出撃ヲ利用シテ本陣地ニ侵入シ其火炮ヲ破壊スルコトヲ企圖スレバナリ  
守者不利ナルルキハ最モ敵彈ニ曝露スル砲臺ヨリ漸次其兵備ヲ撤去シ支援陣地ニアル火炮ハ射撃ヲ開始シテ敵兵ガ堡壘ノ中間ニ迂回スルヲ妨ケザルベカラズ又堡壘前ニアル歩兵陣地ハ極力敵ノ突撃ニ對向スルコトヲ勉ム

其六 攻城第三期、防禦本陣地ノ逼迫攻撃ニ對スル防禦  
砲戰ノ後、攻者急襲ヲ企圖セザルカ或ハ此攻撃ニシテ功ヲ奉セサルルキハ猶ホ防禦本陣地ニ對シテ正攻ヲ繼續スルナラン守者ハ力メテ第一期平行壕ノ開設及第三期砲臺ノ建築ヲ妨害スルコトヲ求ムベシ之ガタ

メ夜間電氣燈ヲ以テ外地ヲ照明シ且ツ屢々斥候ヲ派遣ス

注意 攻者堡壘前ニ第一平行壕ヲ開設スル時期ニハ防禦本陣地ノ歩兵線ハ已ニ敵手ニ落ツルヲ常トス故ニ守者ハ此時扇區守備隊ヲ以テ永久堡壘ノ中間ヲ占領シテ之ヲ固守ス

攻者ハ守者ノ妨害ニ係ラズ第一平行壕ヲ開設シ第三期砲臺ヲ建築シ終レバ支點堡壘ヲ破壊センコトヲ求ムヘシ  
若シ堡壘既ニ破壊シテ之ヲ維持シ能ハザルニ至レバ要塞司令官ハ突撃ノ慘害ヲ避クル爲メ堡壘開放ノ命令ヲ與フルヲ利アリトス而シテ開放ニ先ダテ要塞ニ對シテ有害ナル諸物品ヲ破壊スルノ注意ヲ要ス之ニ反シ若シ堡壘ニシテ第三期砲臺ノ砲撃ニ抵抗シ得ルトキハ敵ハ其攻路ヲ連續前進セシムルナラン故ニ守者ハ其實行ヲ百方妨害スルコトヲカムベシ即チ晝間其位地ヲ撰定シ置キ夜間輕砲ヲ以テ之ヲ縱射



シ榴霰彈ヲ雨注ス  
 堡壘司令官ハ砲撃ノ間斷ヲ利用シ破墻孔及ビ胸墻ノ破壊セル部分ヲ  
 修理セシム  
 戍兵ハ砲撃間總テ其掩蔽部内ニアルモ信號ニ應ジテ直ニ胸墻ニ就ク  
 ノ準備ヲ爲シアルベシ  
 監視兵ニハ突撃縱隊第三平行壕ヨリ突出スル時期ニ信號ヲ發スル如  
 ク命令ス  
 支援陣地ハ其砲兵ヲ以テ戰鬪ニ參與セシメ攻撃ヲ受ケタル支點堡壘  
 ノ側面及其中間ノ陣地ヲ射撃ス  
 敵兵突撃ノ準備ヲ爲スヲ見レバ戍兵ハ敵砲ニ應ズルコトナク突撃縱隊  
 及ビ其豫備隊ノ集團スル場所ニ激烈ノ乘直射撃ヲ爲シ決死ノ軍隊ヲ  
 破墻孔近傍ノ掩蔽部内ニ置キ而シテ敵砲ノ射撃ヲ止ムルヤ直ニ側防火

ヲ發シテ壕ノ通過ニ抗シ守兵ハ掩蔽部ヨリ出テ、破墻孔ノ頂上ヲ領  
 シ敵兵之ニ攀登セントスルニ至レバ猛火ヲ發シ榴彈、炸彈、點火堡壘ヲ轉  
 墜シ敵兵坂路上ニ至レバ藥室ヲ飛シ戍兵ノ豫備隊ハ突進シ銃劍ヲ以  
 テ敵ヲ刺シ又他ノ軍隊ハ壕内ニ出テ、敵ノ退路ヲ斷ツコトヲ求ムベシ  
 分派堡ニ於テハ概ネ敵其死力ヲ竭シテ破墻孔上ニ達スルノ時期ニ至  
 レバ守兵ハ堡内ニ於テ抵抗ヲ試ミルコトナク後來ノ動作ノ爲メ人員及  
 ビ材料ヲ貯存スルヲ利アリトス故ニ適宜ノ時ヲ計リテ火炮及ビ諸種  
 ノ補給品ヲ撤去シ尋テ退却ニ臨ミ咽喉部ヲ飛散シ敵ヲシテ之ヲ利用  
 セサラシムルヲ要ス  
 守者ハ攻者ノ突撃功ヲ奏セザルトキハ其總豫備隊ヲ以テ逆襲ヲ實行  
 ス之ニ反スル場合ニハ支援陣地ニ退却シ防禦本陣地ニ彈丸ヲ雨注シ  
 テ之ヲ占領シ難カラシム

著大ノ兵員ヲ以テスル出撃ハ通常攻撃地區ニ隣スル地區ヨリ發出シテ敵ノ側面ニ向ハシム陣地ノ正面ヨリスルハ實ニ稀ナルコトナルベシ  
 小數ノ兵員ヲ以テスル出撃ハ小哨隊又ハ散兵線上適當ニ撰定セル地點ヨリ發出ス出撃ノ目的ハ敵ノ前進ヲ阻滯シ及其材料並ニ作業物ヲ破壊シテ之ヲ退却セシムルニアリ時トシテハ已ニ失ヒタル土地ヲ恢復シ得ルコトアリ

#### 其七 第二線半永久分派堡(支援陣地)ノ防禦

第一線ノ分派堡侵畧セラルレバ守兵第二線ノ堡壘ニ退キ茲ニ使用シ得ル諸砲ヲ運搬シ來リテ防禦ノ手段ハ尽サ、ルコトナキヲ要ス此新時限間守兵ノ採用スベキ方便ハ第一線堡ノ防禦ニ就テ論述セシト殆ン

ド異ナルコトナシ然レモ此線ノ諸工事ハ第一線ニ比スレバ頗ル危弱ナルヲ以テ通常久シク此位置ヲ維持スルコト難ク數時間ノ砲撃ヲ受クル後ハ堡壘ハ其維持ニ堪ヘス戍兵ハ敵ノ突撃ヲ待タスシテ退却セサルヲ得サルコトアリ然ルモ堡及ビ砲臺内ニ寡少ノ戍兵ヲ殘置シ敵ヲシテ最終ノ時期ニ至ル迄努メテ堡内ノ動靜ヲ覺知セシメサルヲ要ス

#### 其八 中央核堡ノ防禦

第一線陥落ノ後攻兵ハ直チニ核堡並ニ市街ニ向ツテ砲撃ヲ始ムルヲ以テ此時期ニ達スレバ市街ノ人民ヲ城外ニ出シ或ハ之ヲ城内ニ存スル窟容内ニ庇隠セシメ以テ砲撃ヲ避ケシムヘシ此間戍兵ハ砲火ヲ猛烈ニシ更ニ第一線及ヒ第二線ヨリ收容セシ諸砲ヲ増加シ以テ充分ノ抗抵ヲ試ム可シ然レモ通常此砲戰ハ不利ナルコト多シ

核堡ニ在テハ第一線及ビ第二線堡ニ於ケルヨリモ破墻孔ノ防禦ヲ活潑勇敢ナラシメ其攻勢移轉ヲ無益ト確信スルノ後ニ非ラザレバ壘壁部ヲ飛散ノ内部ノ堡壘後ニ退カザルヲ要ス又此堡壘ヲ拒守スルヲ得サルニ至レバ退テ重城(復部)或ハ其他ノ堡壘ニ據リ尙ホ抵抗ヲ勉ムベシ通常此時期ニ至レバ攻兵ト商議シ開城講和ヲ決スベキモノナリト雖モ若シ其條約ニシテ整ヒ難キ時ハ戍兵悉ク銃器ヲ携ヘ攻圍ヲ衝キ一條ノ血路ヲ開テ友軍屯在ノ地方ニ突進スベシ

#### 其九 防禦ノ結局

要塞司令官ハ要塞抵抗ノ終期ニ迫ルルハ防禦會議ヲ開キ守城ヲ維持セシムベキ方法ヲ議セシメ各人ノ意見ヲ決議録上ニ筆記シ茲ニ署名セシム要塞司令官ハ各人ノ意見中最モ勇猛ナルモノニ基キ其良心ノ

命ズル處ト義務責任ノアル所ト參酌シテ已レノ決心ヲナスベキナリ  
開城ニ當リテモ要塞司令官ハ其將校及兵卒ト相離ル、コトナク之ト運命ヲ共ニスベシ

何レノ場合ヲ問ハズ開城前ニ於テ軍旗ヲ毀チ兵器、材料、彈藥、糧食等總テ敵ノ軍用資源及戰利品トナルベキモノヲ毀壞スベシ然レドモ開城ノ規約ナリタル後ハ亦タ何事ヲモナスベカラズ

城壁ニ白旗ヲ掲ゲ開城ノ商議ニ任ズベキモノハ通常守城軍ノ參謀長ニシテ之ニ二、三ノ將校ヲ附屬セシム此將校中ニハ攻者ノ語ニ通ズルモノヲ撰ムベシ

此商議ハ攻者若シクハ守者ノ本營ニ於テ爲スベキナリ、之レガ爲メニハ通常十二乃至十五時間ノ休戰ヲ約ス時トシテハ此時間ヲ延期スルコトアリ

商議ハ成ルベク神速單簡ニ之ヲ結了セザルベカラズト雖モ亦決シテ軍民ノ利益ヲ忘ルベカラズ條約文ハ之ヲ二重ニ製シ兩者有權者ノ手署ヲ經ザルベカラズ此條約ニ依テ定ムベキ事項ハ概ネ左ノ如シ

第一 軍隊ノ待遇

第二 兵器彈藥書類ノ處分

第三 病者、負傷者ノ所置

第四 補虜交換

第五 非戰員ノ處分

第六 致城手順

以上ハ外人ノ習慣ナレドモ我邦ニ在ツテハ古來ノ貫習ニヨリ全軍城ヲ枕ニシテ戰死スルノ一方アルノミナルヲ感銘スルヲ要ス

### 第三章 不規攻法

不規攻法ハ強襲、砲擊、封鎖及ビ奇襲ノ四種トス但シ不規攻法ヲ以テ要塞ヲ攻畧セントスルニ當リテモ必ラズシモ此四種中一種ノ不規攻法ニノミ是レ頼ルモノニ非ラズ大抵彼是二三同法ヲ併用スルモノトス然レモ此不規攻法ハ或ル特別ノ場合ニ非ラザレバ實行スルヲナシ故ニ今參考ノ爲メ其大畧ヲ述ブルニ留ム

#### 其一 奇襲

奇襲トハ陰ニ内岸ヲ攀テ或ハ守衛薄キ所又ハ内應者ヲシテ開カシムル所ノ一暗路ヨリ要塞内ニ侵入シ之ヲ畧奪センヲ計ル所ノ動作ヲ云フ此攻法ハ防守不良ナル要塞ニ非ラザレバ決シテ奉功ヲ見ルヲ能ハサルモノトス

奇襲ハ他ノ攻撃動作ト同シク左ノ三時限ニ施行ス

第一 攻撃ノ準備

第二 攻撃ノ實行

第三 占領又ハ退却

奇襲ノ攻撃準備

攻撃ノ準備 奇襲ヲ行フニハ豫シメ兵備防禦編成及ビ戍兵ノ員數組成等ニ關スル精確ノ情報ヲ有セザルガカラズ

奇襲ニ任ズル縱隊ハ其前進ヲシテ戍兵ニ覺知セラレザル爲メ勉メテ其運動ヲ隱匿スベキヲ要ス故ニ其兵員ノ多キハ害アリ然レドモ又敵ノ小枝隊ニ遭遇シテ擊退セラレ、コトナキヲ要ス故ニ地形普通ノ場合ニアツテハ突撃ニ任ズル部隊ハ戍兵ノ二倍トス、

突撃隊ノ兵力並ニ梯隊區分

各突撃縱隊ハ四梯隊ニ區分シ凡ソ左ノ如ク編成スベシ  
第一、散兵、敵ノ歩哨ニ出會スレバ白兵ヲ以テ之ヲ驅逐ス但シ彼レ

ヨリ放火スレバ此限ニアラズ

第二、作業兵超越及ビ破壊器具ヲ携行ス

第三、突撃本隊作業兵ノ直後ニアリテ進ム

第四、豫備隊ノ兵力ハ突撃本隊ニ同シ、本隊ヨリ四〇〇乃至五〇〇

米ヲ隔テ、行進ス

此ノ如キ編成ヲ以テ攻撃點ノ數ニ應ジ數縱隊ヲ編成ス而シテ此數縱隊ノ爲メニ尙ホ總豫備隊ヲ設ケテ攻撃縱隊ヲ支援セシメ以テ或ハ陣地占領ヲ補助シ或ハ退却ヲ掩護スルニ任ズ

攻撃ノ實行 攻撃ハ拂曉濃霧又ハ天候不良ノ時ヲ可トス而シテ

突撃縱隊ハ指定ノ時期ニ至レバ運動ヲ始メ順序ヲ紊サズ肅然トシテ迅速ニ前進シ勉メテ發火セズシテ覆道ニ達シ壕ヲ渡リ或ハ壕内ニ躍下シテ側防銃眼ヲ填塞シ遂ニ奮然攀登シテ胸牆ノ外頂ニ達ス但シ各

奇襲ノ攻撃實行

占領又ハ退却

突撃隊ハ同時ニ其攻撃點ニ達スルヲ要ス  
 占領又ハ退却 外頂ニ達セル時機ニ於テハ別ニ規定ノ動作アラ  
 ズ唯ダ突撃隊ハ堡壘内ニ竊入センコトヲカムヘシ但シ一旦竊入スルモ  
 直チニ深入セズ先ヅ其竊入點ヲ固守シ斷次ニ内部ヲ占領セザルベカ  
 ラズ  
 不幸ニノ突撃隊ノ撃退セラレ、ヤ豫備隊ハ斜堤頂ニ沿フテ展開シテ  
 胸牆ニ據ル戍兵ヲ猛烈ニ射撃シテ其頂斜面上ニ出ヅルヲ妨グ以テ我  
 兵ノ退却ヲ掩護ス突撃隊ハ其掩護ニ依リ斜堤上ニ集合シ豫備隊ト共  
 ニ總豫備隊ノ掩護ニ因リ退却ス我歩兵ガ堡壘ノ附近ヲ去レバ砲兵ハ  
 堡壘ニ向ツテ射撃シ戍兵ヲシテ追撃スルコト能ハサラシム

其二 強襲

緩慢ナル正攻法ニ要ラズ強大ナル攻撃縦隊ヲ以テ急襲シ要塞又ハ獨立堡壘ヲ奪取スル之ヲ強襲ト云フ

詳言スレバ強襲ハ奇襲ノ更ニ迅速猛烈ナルモノナルヲ以テ其動作モ亦奇襲ニ準ズ即チ豫メ砲撃ヲ行ヒ多少戍兵ヲ擾亂セシメタル後強大ナル兵力ヲ以テ城塞ニ突入スルナリ又タ正攻末期ニ於テ壘壁ニ破墻孔ヲ開設シ攻畧ヲ充分ニ進メタル後堡壘ニ突入スルコトアリ此動作モ亦タ一種ノ強襲ナリ第一法ハ設備完全ナル大要塞ニ向ツテハ實行ノ望ミ寡ナシト雖モ近世戰ニ於テ之ヲ以テ大功ヲ奏シタル戰例少シトセズ強襲ハ大ニ野堡ノ攻撃ニ類スト雖モ其之ヲ行フヤ城塞ノ永久築城ナルヲ以テ最モ困難ニシテ最モ損害ヲ受クルコト多シトス故ニ攻兵ニシテ過多ノ兵員ト材料ヲ有スルキ或ハ要塞ノ狀況不良ナルキ又ハ戍兵モ羸弱シテ志氣旺盛ナラザルトキ若クハ損害ノ如何ニ關セズ直ニ

強襲ヲ行フ場合

要塞ヲ侵畧セント欲スルキニ非ラザレバ強襲ヲ施行セサルヲ要ス而シテ此動作ニ任スル軍隊ハ専ラ歩兵及ビ砲兵ヨリ編成セラルモノトス

其三 砲撃

砲撃ノ目的

砲撃ハ長時間大口徑砲ヲ猛烈ニ使用シテ敵ノ主重ナル抵抗物ヲ毀壞スルヲ目的トス乃ハチ軍用或ハ民用建築物補給品材料ヲ射撃シ或ハ戍兵ノ志氣ヲ沮喪セシメ或ハ人民ヲ苦痛セシメ以テ要塞司令官ヲシテ開城ニ決セシムルニ在リ  
此砲撃ニ任スル軍隊ハ戍兵ノ出撃ヲ逆襲スルニ足ルベキ兵員ヲ有シ要塞ヲ包圍スルカ或ハ少クモ其出口ヲ監視シ要塞ヨリ三千乃至五千米ヲ隔テ大口徑砲ヲ備フル砲撃砲臺ヲ構築スルモノトス此砲臺ハ敵砲ト闘争スルヲ目的トセスシテ要塞ノ諸點ヲ同時ニ射撃シ或ハ毀

壞スベキ諸建築物ニ猛火ヲ輻輳シ又火災ノ起レル諸點ニハ間斷ナク放射シテ鎮火ノ手段ヲ妨遏シ時々射撃ヲ中止シ人民ヲシテ要塞司令官ニ開城ヲ迫ル間ヲ得セシメ夜間ハ遊動砲ヲ加ヘテ砲撃ノ威力ヲ倍シ守兵ノ志氣ヲ沮喪セシムルヲ求ムベシ此ノ如クスレハ屢々開城ヲ早カラシムルヲ得ヘシト雖モ要塞司令官剛邁ニシテ守兵ノ勇ナルキハ人民ノ痛歎哀訴ニ拘ハラズ決シテ此攻法ヲ以テ其目的ヲ達シ得サルモノトス

其四 封鎖

封鎖ノ目的

封鎖ノ目的ハ軍隊ヲ以テ要塞内外ノ交通ヲ遮斷シ人民及ビ戍兵ノ糧食欠乏ニ依リ終ニ開城ニ至ラシムルニアリ  
封鎖ハ要塞ヲ正攻又ハ強襲ニテ陥落セシムルコトヲ欲セザル時ニ行

封鎖ヲ行フ  
ニ有利ナル  
場合

フモノニシテ左ノ場合ニ於テ實行スレバ利アリトス

第一 守者勇敢ナルモ糧食不十分ナルコトヲ認メタルトキ

第二 守者ノ兵器、兵員著大ニシテ攻城ニ際シ攻者ヨリ優勢ナルト

キ

第三 守者ノ野戰軍要塞内ニ投シタルトキ

第四 要塞非常ニ堅固ナルトキ

以上ノ場合ニ於テハ封鎖ハ必然守者ヲ降伏セシムルニ足ルモノニシテ近世ノ戰役其實例少ナカラズ然レドモ此方法ヲ以テ大要塞ニ對スル唯一ノ攻法ハ考定スベカラズ正攻ハ封鎖ニ比シテ要塞ヲ陷落スルニ迅速ナルノ場合亦少ナカラザルベシ實ニ封鎖ハ長時日ヲ要シ野戰ニ必要ナル兵員ヲ駐留セシメ且ツ援軍來着ノ危險アリ又戰畧上迅速ニ要塞ヲ陷落スルノ要アルコト多シ

封鎖線編成ノ法ハ大約正攻ノ攻圍線ニ等シ唯ダ其異ナル所ハ要塞ヨリ遠距離ニ於テ單ニ戰術上ノ要點例ヘハ通路ノ如キモノヲ占領シ此陣地ノ中間ハ前哨脈ヲ以テ監視スルニ過ギス

封鎖線ノ要塞ヨリ遠キヲ要スルハ要塞砲ノ射程外ニアリテ其損害ヲ被ラシメザルト且ツ戍兵ノ出撃ヲ不便ナラシムルニアリ之レ蓋シ出撃兵ヲシテ要塞砲ノ援助ヲ受けシメズ且ツ遠ク孤立シテ危險ナラシムルタメナリ

封鎖線ヲ編成スルニハ多ク兵力ヲ要スルモ之ヲ維持スルニハ大ニ其兵力ヲ減シ得ルモノトス

出撃ヲ受クルニ方リテハ其點ニ衆兵ヲ輻輳セシムルニ便宜ナルヲ要ス砲兵ハ敵砲ト戰闘スルヲ求メシテ出撃ヲ驅逐スル爲メニノミ射撃ヲ行ヒ其砲臺ハ要塞ニ通スル道路ヲ縱射シ守兵ノ展開ニ適スベキ



場所ヲ射撃シ得ル如クニ設置スルヲ要ス約言スレバ長圍ニ任スル軍  
隊ハ忍耐シテ守兵ノ全ク補給品ヲ消盡スルヲ待テ決シテ彼ヲ脅嚇ス  
ルヲナシト雖亦彼ニ長圍線ヲ切斷シ得ルノ志望ヲ懷カシメサルヲ要  
ス而シテ戍兵ノ運命ヲ試ミシトスル日ヲ豫知スルハ其前日ニ於テ  
殊ニ監視ヲ密ニシ警戒ヲ嚴ナラシメサル可カラズ是レ守兵ハ失望ノ  
極終ニ決死ノ舉動ヲ行フベキガ故ナリ

其五 小要塞ノ攻撃

小要塞ハ概シテ遊導戍兵ヲ有セズ故ニ攻城工事ヲ妨クルモノハ唯ダ  
火力アルノミ此要塞ヲ攻撃スルノ方法ハ固ヨリ地形及ビ要塞ノ形況  
ニヨツテ變化スト雖モ一般ニ以上述べタル不規攻撃ヲ用ユルヲ通勢  
トス

若シ不規攻法ニ由テ攻畧シ得ザルハ正攻法ノ手段ヲ執ルモノトス  
而シテ其正攻法ハ攻畧セントスル要塞ノ強弱ニ從ツテ前ニ述べタル  
正攻法ノ要領ヲ適宜斟酌應用スルモノトス

第四章 要塞前ノ前哨

要塞前ノ前哨ハ正攻法、不規攻法ヲ論セズ又攻者、守兵ヲ問ハズ畧ボ同  
一ナルモノナルヲ以テ爰ニ一括シテ其要領ヲ述ベントス

攻者 要塞戰ニ於テハ各種ノ時期アルヲ以テ前哨ノ任務モ亦異ナ  
レリ然レモ必竟其目的トスル所ハ全線共同シテ全ク要塞ヲ閉鎖スル  
ニ在リ要塞ノ廣狹、要塞ヨリ攻圍線ニ至ルノ距離、土地ノ形狀、兩軍兵力  
ノ關係及ビ攻城廠等ニ要スル掩護ノ程度ハ前哨ニ影響スルコト最モ

野戰前哨ト  
異ナル點

大ナルモノナリ  
未タ要塞ニ近接セザル間ハ騎兵ノミヲ以テ警戒シ其攻撃漸ク歩ヲ進  
ムルニ從ヒ多クハ混成前哨ヲ用ユルニ至ルベク殊ニ我注目スル所ノ  
侵入地(攻撃地)ニ於テハ前哨全ク特異ノ形狀ヲ爲シ專バラ步兵ノ任ス  
ル所ト爲ルヘシ乃チ以下示スガ如シ  
前哨ハ敵ニ觸接シ且ツ其時間久シキニ亘ル而シテ攻撃漸ク歩ヲ進ム  
ルニ從ヒ益々敵ニ逼迫シ屢々砲火及銃火ヲ蒙リ且ツ常ニ不意ノ襲撃  
ノ衝ニ當ルモノトス故ニ前哨ハ時期ノ益々逼ルニ從ヒ益々其戰備ヲ嚴  
肅ナラシムルヲ緊要トス  
此哨ノ野戰前哨ト異ルハ連續セル步哨線ヲ布キ又攻撃正面ニ向テ  
ハ前哨ノ自余ノ部分モ左右前後ニ相密接ス而シテ之ニ掩蔽ヲ得セシ  
メ防戦力ヲ鞏強ナラシメ且ツ連絡ヲ自由ナラシムル爲メニ十分其地

前哨ノ區分  
並ニ兵力

ニ工事ヲ施コスニ在リ  
此哨ハ野戰前哨ニ比スレバ其兵員強大ニシテ且ツ獨立力ノ多キヲ  
要ス蓋シ此ノ如クセサレハ往々前哨中ニ小鬪ノ發スル毎ニ休憩兵ニ  
警急集合ヲ爲サシメ或ハ已ニ畧有セル位置ヲ失ハサル爲メニ増援隊  
ヲ請求スル等ノコトアルヲ以テナリ  
前哨線ハ通常攻圍線ニ於ケル戰鬪陣地(攻圍軍ニ於テ攻撃材料ヲ掩護  
シ且ツ敵ノ出撃ニ備ヘンガ爲メ工事ヲ施シタル陣地)ト其位置ヲ同フ  
ス然レモ時トシテ此陣地ノ前方ニ前哨ヲ配置スルコトアリ  
敵ノ出撃ニ對シ常ニ強硬迅速且ツ整正ニ應戰セシムル爲メ前哨部隊  
ニ豫メ戰鬪ヲナスヘキ位置ヲ指定スルコト殊ニ緊要トス  
全前哨ヲ數個ノ地區ニ區分シ各區ニ前哨司令官ヲ置ク其各區前哨ノ  
兵力ハ概ネ第一線ノ守備ニ任スル歩兵ノ三分一トス但シ時トシテハ

前哨本隊前  
哨中隊ノ位  
置

其以上ノ兵力ヲ用ユルコトアリ  
前哨ハ分テ前哨本隊及前哨中隊ト爲シ此中隊ヨリ所要ノ小哨等ヲ出  
スコト尙ホ野戰ニ於ケルガ如シ  
前哨、本隊、及前哨、中隊、ハ成ルベク屋下ニ在ラシメ其家屋ニハ所要ノ工  
事ヲ施シ以テ速ニ戰鬪準備ヲ整ヘ監視ヲ便ニシテ且ツ防戰ヲ容易ナ  
ラシムルノ用ニ供スヘシ然レモ前哨中前方ニ派遣シタル部隊ト交通  
ヲ便ニスル爲メニハ塙壁ヲ破壊シ或ハ塹壕ヲ穿テ或ハ胸墻ヲ築ク等  
特別ノ工事ヲ要スルコト多シ而シテ此工事ハ縦ヒ敵火ニ對シテ掩護  
スルヲ得サルモ敵ノ瞻望ヲ遮蔽スルヲ要ス  
前哨線、村落或ハ森林、園圃等ノ如キ隱蔽甚シキ地ヲ貫通スルトキハ前  
哨ノ各部ハ其地域内ノ地理ニ諳熟シ諳夜ト雖モ優亂ノ患ナカラシム  
ルヲ以テ最モ緊要トス

小哨ノ位置

步哨線ノ位  
置

小哨ハ其掩護ノ爲メ及ビ其勤務難苦ヲ慰センガ爲メ成ルベク屋下ニ  
在ラシムヘシ然ルトキハ其戸扉ヲ開放シ塙壁ヲ破壊スル等凡テノ戰  
備ヲ爲シ得ルコトヲ勉メサルベカラス  
步哨線ハ少クモ晝間ニ於テハ小哨ヨリ瞻望シ得ルヲ要ス是レ野戰ニ  
於ケルカ如ク營ニ道路ヲ占守スルノミヲ以テ足レリトセズ速ニ步哨  
ヲ赴援シ若クハ之ヲ收容シ且ツ速ニ戰鬪展開ヲナス爲メニ緊要ナレ  
ハナリ  
步哨線ハ野戰ニ於ケルカ如ク複哨及下士哨ヨリ成ル而シテ步哨ハ互  
ニ近ク相接セシメ以テ一人モ其自撃ヲ逃レ或ハ其射撃ヲ受ケスシテ  
其線ヲ通過スルヲ得サラシムベシ故ニ夜間又ハ濃霧等ノトキハ時  
宜ニ因リ更ニ近ク步哨ヲ相接セシムルヲ要スルコトアリ而シテ步哨  
ノ爲メニモ亦掩蔽物ヲ探求シ或ハ特ニ之ヲ設置スベシ

前哨ノ連絡

前哨線各地區ノ境界ニ於テ其連接ヲ確實ニシ且ツ其構地區ト斷エズ連絡ヲ保持スルトニ關シテハ前哨司令官特別ノ規定ヲナシ且ツ斷ヘス之ニ注意スヘシ

暗號記號

暗黒中相互識別ノ爲メ最高等司令官ヨリ暗號ヲ授クルヲ可トス(野外要務令ヲ參照スベシ)又各區前哨部隊内ニ於テ夜間互ニ相知ルコトヲ容易ナラシムル爲メ前哨中隊長ハ低音ナル一定ノ口笛ヲ用ヒ或ハ互ニ氏名ヲ呼フ等ノ識別記號ヲ定ムルヲ要ス

歩哨ノ特別守則ニハ主トシテ地理ヲ詳知セシムルコト及特別ニ注目スヘキ敵情ニ關スル諸件ヲ指示スルモノトス蓋シ此敵情ハ種々ノ情況ヲ現ハシ且ツ變化窮リナキモノナリ

此他要塞戰ニ於ケル前哨ノ動作ハ野戰前哨ノ爲メニ定ムル規則ノ要旨ニ準據スヘシ

前哨ノ動作

敵ト近ク觸接スルニ方リテ定時反復スル所ノ動作ハ終ニ敵ノ知ル所ト爲リ殊ニ定時ノ交代ハ要塞ヨリ砲撃ヲ受クルノ恐レアリ宜シク注意スヘシ又屢々交代ヲナスハ休憩ヲ妨ケ其目的ニ乖クモノトス

前哨ノ交代

前哨中隊ノ交代ハ情況ニ因ル而シテ前哨全部ノ交代ハ數日ノ後ニ於テスルモノトス又之ヲ交代セシムルハ成ルベク同一ノ部隊ヲ己ニ暗熟セル地區ニ再ヒ配置スルコトニ注意スヘシ

舊前哨ハ新前哨ノ配置全ク終リ且ツ必要ノ件若クハ特別守則等ノ傳告ヲ爲シタル後チ始メテ退クヘシ此交代ノトキニ於テハ些少ノ過失ヨリ重大ノ危殆ヲ惹起スルコトアリ深ク注意スヘシ

某部隊前哨トナル爲メニ其宿營ヲ撤スルトキハ勉メテ他ノ部隊ヲ其空營ニ入レサルヲ可トス而シテ形勢ニ於テ妨グナキトキハ前哨ハ背囊ヲ宿營ニ遺シ置クヘシ然レモ糧食ト充分ノ彈藥トハ常ニ之ヲ携帶

スヘシ

其攻撃益、歩ヲ進ムルニ方テハ前哨ハ攻撃動作ノ範圍内ニ入り特別ノ原則ニ從ツテ之ヲ規定ス

守者 守者ハ敵ノ未タ眞ノ攻圍ヲ行ハサル前其敵ノ進路ニ就テ搜索スルヲ緊要トス殊ニ敵ノ攻城廠設置ニ注意スルヲ要ス

攻圍ノ經過中騎兵任務ノ緊要ナルハ此搜索ニ優ルモノナカルベシ此目的ヲ以テ遠ク前方ニ派遣シタル騎兵ノ後援トシテ要塞外ニ枝隊(城外枝隊)ヲ分遣ス而シテ此枝隊ハ敵兵益、近接スルニ至レバ前哨陣地ニ退却ス

要塞防禦ニ當リ搜索ノ爲メ輕氣球ヲ使用スルキハ殊ニ利アリトス守者ノ攻者ニ優レルハ精密ニ地理ヲ知り充分ニ防禦工事ヲ施シ以テ戰備ヲ完全ニスルニ在リ此利益ハ前哨ニ於テモ亦同シ

攻圍線ノ要塞ニ近接シタル後ハ守者前哨ノ情況全ク攻者ノモノニ異ナルコトナシ

## 第八篇 後方勤務

後方勤務ハ國軍ノ編成ニ準ジテ定マルモノナレバ各國其國軍ノ編成ヲ異ニスル丈ケ後方勤務モ亦差異アリ殊ニ地部、職員、勤務機關等諸種ノ名稱モ各國種々ニ命名セリ故ニ本篇ニ説ク所ノモノハ後方勤務組織ニ關スル一定不變ノ原則並ニ戰畧戰術上ニ關スル後方連絡線ノ關係等ヲ述ブルニ留メ編制並ニ行務ノ規定等ノ如キ時ト國トニ從ツテ各異ナルモノハ之レヲ述ベズ

本篇ニ於テ示ス地部、職員、勤務機關等ノ名稱ハ説明上著者ガ隨意ニ付シタルモノ或ハ又各國中ノ多數國ニ於テ慣用スル所ノ名稱ニ過ギザレバ世界到ル所常ニ此名稱ヲ用ユルモノニアラザル

ヲ豫メ了知セラレタシ

## 總論

後方勤務トハ作戰軍所在地ヨリ本國策源地ニ至ル間ニ於ケル諸勤務ヲ總稱スルモノニシテ換言スレバ作戰軍ヲ會戰地ニ活動セシムル爲メニ後方ヨリ之レヲ供給保續スル諸般ノ作爲ナリ

故ニ後方勤務ニ屬スル諸作爲ヲ區別スレバ大畧左ノ如シ

- 一、作戰軍ト本國資源地間ヲ貫聯スル連絡線ノ設置
- 二、前項連絡線上ニ於ケル諸設備
- 三、運輸、交通、通信、給養、衛生、運需ノ調達補充等一般ノ計畫
- 四、連絡線ノ保安警戒並ニ敵ノ連絡線ニ對スル脅威遮斷等

後方勤務ノ區別

軍ハ如何ニ善良ノ教育ヲ受ケ、良好ノ衣服ヲ着シ、精良ノ武器ヲ有スル  
軍隊ノミヨリ成立スルモ之レヲ以テ直チニ完備シタル軍ト稱スルヲ  
得ズ戰時ニ際シ速ニ出師準備ヲ完結シ後方勤務ニ至ルマデ充分整備  
シテ活動シ得ルガ如ク平時ヨリ準備シアラザルベカラザルナリ  
千八百十二年ナポレオン第一世ガ連戰連勝ノ勢ニ乘リ魯國ニ侵入セ  
シモ其結果トシテ見ル可キモノハ殆ンド五十万ノ佛軍ヲ盡滅セシノ  
外ナシ連勝ノ勢力アリシニモ係ハラズ此クノ如キ不幸ニ陥リシハ敢  
テ魯國ノ寒氣ニ源因セシニアラズシテ全ク軍ノ後方連絡不充分ナリ  
シガ爲メナラン  
後方連絡充分ナラズシテ遠征スル軍ハ恰モ無根ノ樹木ニ異ナラズ焉  
ンゾ永遠ニ生存スルヲ得ンヤ軍ノ生存ヲ確定ナラシメント欲セバ先  
ヅ其根底タル後方勤務ヲ整理セザルベカラズ

方今國軍ノ兵數愈々大ナルニ從ヒ之レヲ生存セシムベキ後方勤務ハ  
愈々困難トナレリ殊ニ今日ノ運動戰ニ於テ然リ、夫レ往昔ノ如ク會戰  
スヘキ兵數ハ少ク而シテ其會戰ハ多ク陣地戰ニシテ廣地域ニ運動セ  
サル時代ニ於テハ假令ヒ後方勤務ノ整理ニ欠クル所アルモ軍ハ能ク  
其地ニ於テ自活ノ方法ヲ求メ得タレモ現今ノ如ク日々彼此ニ運動轉  
戰シ加フルニ大兵ナルニ於テハ到底自活ノ方法ヲ其地ニノミ依頼ス  
ル能ハス後方ヨリノ供給ヲ要スルハ明ナリ  
此ニ於テ大軍ヲ遠征セシムルハ人馬材料ノ多數ナル爲メ進軍ノ困難  
ナルノミナラス目的地ニ達シタル後ニ於ケル後方勤務ノ一層困難ナ  
ルガ故ニ容易ノ事業ニアラサルヲ知ルベキナリ、如何ニ大兵ヲ擁スル  
モ後方連絡ノ爲メニ制セラレ之レヲ放ツテ勇壯ナル會戰ヲ爲サシメ  
能ハサルハ實ニ事實ノ自然ナル所ナラズヤ

## 第一章 後方連絡

連絡線

其一 後方連絡線並ニ退却線  
 連絡線ハ作戰軍ニ後方策源地ヨリ軍需品ヲ補給シ又作戰軍ヨリ人馬  
 物品、材料、捕虜等ヲ本國ニ送還スル等ニ供スル交通聯絡線ナリ  
 抑々軍ハ輜重縦列ヲ後方ニ隨ヘ以テ軍ノ需用品ヲ補給スト雖元來  
 軍ノ携行スル輜重ニハ自カラ定限アリ永久ニ補給ヲ持續シ得ベキモ  
 ノニアラズ又假令ヒ戰地富饒ニシテ土地ノ物資ニ由テ需用ヲ充タシ  
 得ルキニ於テモ是レ亦到底大軍ノ需用ヲ永久ニ飽足セシメ能ハズ殊  
 ニ武器彈藥ノ如キハ敵地ノ物資中ヨリ補充シ得ズ必ラズヤ本國策源  
 地ヨリ補充ヲ仰ガザルベカラズ是等ハ皆軍ノ後方ニ通ズル連絡線ニ  
 由テ絶ヘズ補給セラレザルベカラズ

退却線

又軍ハ常ニ作戰ノ牽累ヲ省ク爲メ作戰地ヨリ無數ノ患者、負傷者、捕虜  
 戦利品及ビ不用ノ物品材料ヲ本國ニ送還セザルベカラズ是レ又何ニ  
 由テ實施セラル、カ曰ク後方連絡線ニ由ルニアリ  
 則ハチ連絡線ハ猶ホ人體ノ血管ニ等シク軍ノ生存ノ爲メ必要ナル明  
 ナリ此緊要ノ連絡線ハ純粹ナル軍事上ノ顧慮ヲ以テ安全ニ保護セラ  
 レサルベカラズ之レニ反シ敵ノ連絡線ハ勉メテ之レヲ脅威スベシ是  
 レ此線ノ脅威ハ作戰軍ニ非常ノ惡感ヲ與フヘキモノナレバナリ  
 連絡線ト退却線トハ一致スルコトアリ又一致セザルコトアリ抑々退却線  
 トハ軍ガ退却スルニ當リ執ルベキ交通線ニシテ連絡線ノ如ク軍ノ生  
 活力ヲ有スルモノニアラズ故ニ連絡線ト退却線トハ同物ナルコトノ  
 誤解ヲナスベカラズ  
 多クノ場合ニ於テ連絡線ト退却線ト一致シ而シテ此二者一致セザル



## 退却線ノ種類

片ハ軍ノ尤モ不利ナル場合ナリ蓋シ軍ハ連絡線ニ依テ生活シ又此線ニ由テ作戰スルモノナルガ故ニ軍ト連絡線トハ密着ノ關係ヲ有スレバナリ然ルニ若シ不幸ニシテ敵ニ制セラレ、爲メカ、若クハ其他ノ事故ニ由リ連絡線以外ニ退却線ヲ採ルキハ軍ハ其補充軍隊ヲ失ヒ其需用品ヲ敵手ニ委シ忽チ其活動力ヲ失フベシ但シ自國內ニ在ルカ又ハ豊饒ニシテ靜穩ナル地方ニ在ツテハ臨時ニ採用シタル退却線ノ方向ニ隨時新連絡線ヲ作爲シ軍ノ需用ヲ充タシ得ベキヲ以テ此二線必ラズシモ一致スルヲ要セザルベシト雖トモ新連絡線ヲ作爲スルハ非常ノ繁雜ナルノミナラズ間々危険ニ陥ルヲ以テ英雄果斷ノ將ニアラザレバ容易ニ實行シ難シ

退却線ノ種類ニ三種アリ

## 一、連絡線ト一致スルモノ

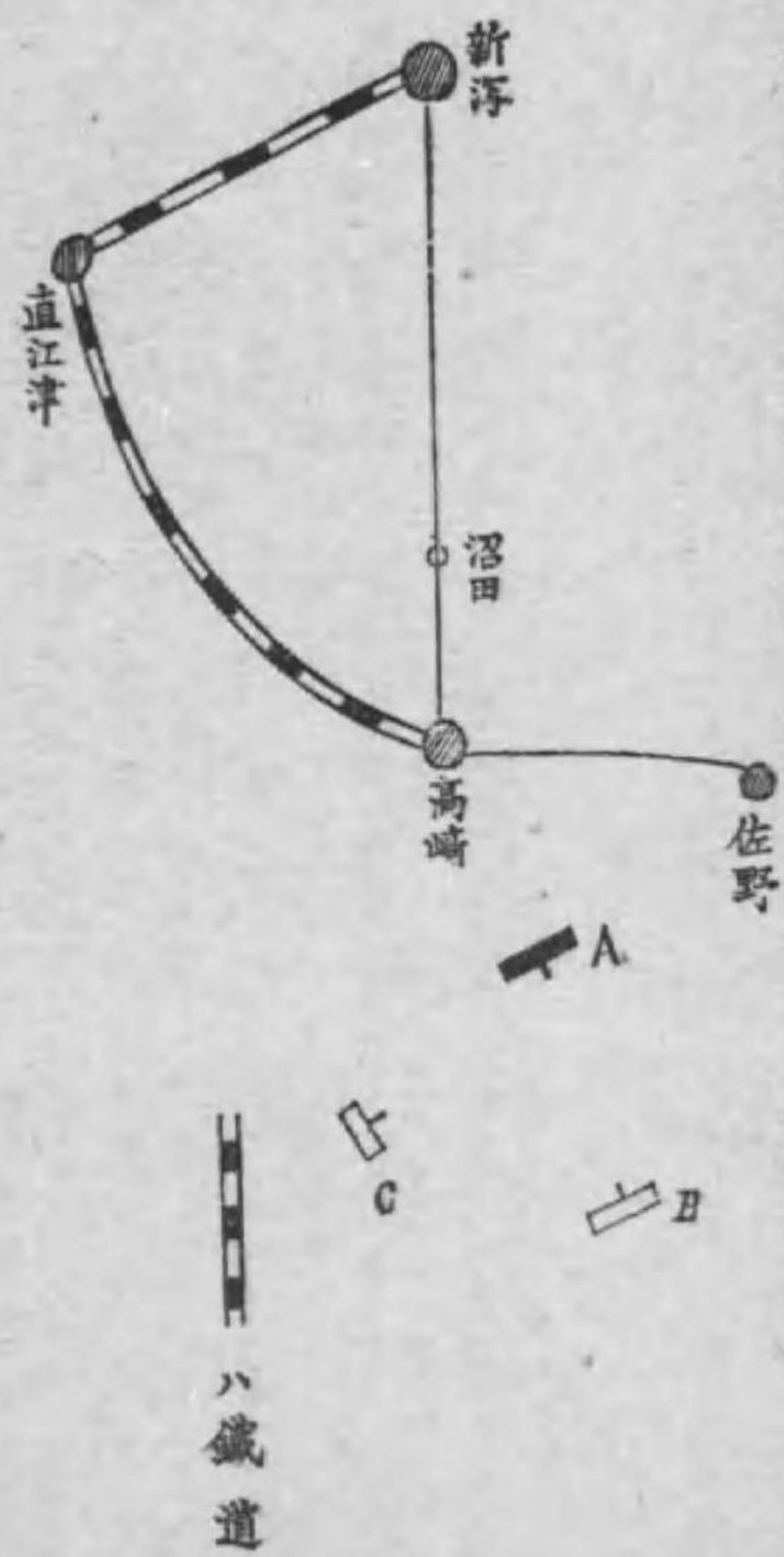
二、作戰上自然ノ退却方向ガ連絡線ト一致シ能ハザルモノ

三、戦ヒ不利ニシテ已ムヲ得ズ意圖外ノ方向ニ取ルベキ退却線

之レヲ説明スルニ左圖ニ於テAハ新潟ヲ根據トシテ高崎附近ニ於テBニ對シ作戰シツ、アル軍ト假定ス此場合ニ於テ連絡線ハ鑄道ノ便ヲ利用スル爲メ新潟ヨリ直江津ヲ經テ高崎ニ至ルモノトス

此ニ於テ直江津方向ニ取ル退却線ハ即チ第一ノ場合ニシテ連絡線ト一致スルモノナリ又作戰上ノ顧慮ヨリ直江津ニ退却線ヲ取ル時ハ其行路迂回スルノ不利アルヲ以テ自然ノ形勢直チニ沼田ヲ經テ新潟ニ退却スルヲ要スル時ハ即チ第二ノ場合ニシテ連絡線ト一致セザルモノナリ次ギニ又Aガ側面ヨリCナル敵ノ攻撃ヲ受ケ戦鬪不利ニシテ隨意ニ退却ノ方向ヲ撰ブ能ハズ佐野ノ方向ニ壓迫セラレツ、退却スル時ハ即チ第三ノ場合ニシテ已ムヲ得ズ敵ヨリ余儀ナクセラレ

タルモノナリ此場合ニ於テハ殆ンドAハ根據地ヨリ連路ヲ遮斷セラレタルモノナリ



其二 連絡線ノ種類

陸路連絡線ノ利害

陸路連絡線ニ要スル性能

軍ノ後方連絡線トシテ使用シ得ベキモノ三種アリ

- 一、陸路ニ依ルモノ
- 二、鐵道ニ依ルモノ
- 三、水路ニ依ルモノ

陸路ハ軍ノ必要ニ應ジ其連絡區域ヲ伸縮シ又タ數條ノ道路ヲ同目的ニ併用シ得ルノ利益アリト雖モ物品材料ノ運搬ハ駄背車輛若クハ人ノ肩背ニ依ラザルベカラズ之レガ爲メ其速力遅ク運搬力ハ微弱ニシテ途中ノ宿泊給養等ノ爲メ頗ブル混雜ヲ生ズルノミナラズ是等運搬人馬ニ供給スル糧秣非常ニ増加ス且ツ給養品並ニ宿泊家屋ニ欠乏スル地方ノ道路ハ使用スルヲ得ズ

之レガ爲メ陸路連絡線ニハ左ノ性能ヲ要ス

- 一、沿道ニハ住民地多ク宿舍力及ビ物資ニ富ムコト

水路連絡線ノ種類

- 二、道路ハ善良ニシテ天候又ハ車輛ノ連續通過ニ對スルモ路面ノ變質セザルコト
- 三、橋梁ハ最モ堅固且ツ傾斜、曲半徑等ハ緩徐ニシテ大重量物件、攻城材料ノ如シノ運搬ニ支障ナキコト

水路トシテ連絡線ニ使用シ得ベキ者ハ大別シテ四種トス

- 一、河川
    - ル船作航行ノ正面ト直角ノニ限ル又假令船舶航行ニ適ザルレバ使用ス
  - 二、運河
    - 此河ハ元來船舶ノ航行目的ヲ以テ開通セラレタル而シテ其流通方故ニ概ネ船運ノ航向ニ妨ゲナキモノトス
  - 三、外海
    - 我海軍ノアラザレバ制シ海上權ヲ得タル
  - 四、内海
    - 海上權ノ關係
- 此他琵琶湖ノ如キ大湖水ハ内海ト同様ノ價值ヲ有ス

水路連絡線ノ利害

水運ハ陸運ニ比シ同時ニ多量ノ物品材料ヲ運搬シ殊ニ患者ノ運搬ニ適當ナル者トス然レモ其速力ハ蒸氣力ニ由ルカ或ハ風力ニ由ルカ或ハ人力ニ依頼スルカニ從ツテ一様ナラズ航路短少ニシテ殊ニ蒸氣力ニ由ル時ハ其速力モ大ニシテ尤モ利アリ風力、人力等ニ由ルモノニ在ツテハ天候ノ爲メ著シク速力ニ異變ヲ生ジ爲メニ運搬時間ヲ規正シ得ザルノ害アリ時トシテハ全ク運行ヲ停止シ甚ダ危險ニ陥ルコトアリ鐵道發達以前ニ於ケル水路ノ價值ハ至大ナルモノニシテ航行ニ堪ヘ得ベキ河川ハ概ネ連絡線ニ採用セラレタリナボレオン第一世ノ作戰ハ即ハチ此水路ヲ利用シタルモノ多ク翁ハ實ニ連絡線妙用ノ術ニ長シ且ツ同時ニ其必要ヲ深く了解シタルモノニシテ歐洲大陸ノ道路改修ニ盡力シタルモ全ク之レガ爲メナリ今日大陸ノ交通發達ヲ致シ其道路ノ良好ナルモ全ク翁ガ歐洲ヲ蹂躪シタルノ日ニ於テ是等ノ改修

鐵道ニ依ル  
連絡線

ヲ勵行シタルノ賜物ト云ハザルヲ得ズ  
鐵道ハ連絡線トシテ最モ有益便利ナルモノニシテ方今實ニ作戰素質  
ノ大部分ヲ占メ各國共其施設ハ商工業上ノ目的（元來鐵道ノ經濟上創製ハ商  
業ノ經濟上創製ハ商  
業ノ經濟上創製ハ商  
リ（ハシニモ）ヨリハ寧ろ專バラ軍事上ノ目的ニ吸引從屬セシムルニ至レ  
リ  
夫レ軍ノ連絡線トシテ尤モ要求スベキ件ハ運搬迅速確實且ツ運搬ノ  
爲メニ要スル運搬材料人馬ノ少キニアリ此要求ハ實ニ鐵道ニ由テ始  
メテ充足セラルベク又軍需ヲ供給スベキ資源地ハ何レナルヤ曰ク富  
饒ナル大都府ナルヲ明ナリ此ニ於テ此大都府ヨリ軍需ヲ調達シ之レ  
ヲ鐵道ニ由テ軍ニ補給シ依テ以テ軍ノ生存ヲ全フシ得ベシ然ラバ軍  
ノ生存上大都府及ビ大都府ト軍ヲ連絡スル鐵道トハ軍ノ唯一タル心  
臟血脈ニシテ即ハチ軍ハ此心臟血脈ニ由テ生活セントスルニ汲々々

ルハ勿論ナリ故ニ鐵道ト富饒ナル大都府ハ作戰軍ヲ吸引スルハ潛勢  
カヲ有スルモノト謂フベシ

此ニ至リ大軍ノ運動スベキ線路ハ自ラ制限アルモノニシテ單獨個  
人ガ旅行スル如ク彼此縱横ニ隨意行動シ得ベキモノニアラザルヲ  
了解シ得ベク從ツテ軍ノ行動ニハ一定ノ戰略原則ヲ生シ此戰略原  
則以外ニ軍ハ行動シ能ハザルベシ

鐵道ノ効力ヲ至大ナラシメントセバ復線ニシテ廣軌道ナルヲ要ス獨  
乙ノ制ニ依レバ一列車ハ一軍團一日分人馬ノ糧秣ヲ積載シ一日平均  
六七百吉米（百五十里乃至百七十五里）ノ距離ヲ運行ス  
敵地ノ重要ナル鐵道ハ所々要塞ニ依頼シテ掩護セラレアルヲ以テ此  
要塞ガ我有ニ歸スル後ニアラサレハ使用スル能ハズ加之ナラズ線路  
ノ一部破壊ニ逢フキハ其修繕ニ多クノ時間ヲ費シ殊ニ橋梁停車場墜  
道等ノ破壊ニ於テ然リトス又タ充分鐵道ヲ利用センニハ極メテ善良

ナル材料、極メテ熟練ナル技手ニ富マザルベカラズ  
 作戰軍ト資源地トノ距離大ナルハ殊ニ海外ノ遠征ニ在ツテハ通常陸  
 路、水路、鐵道ノ三者ヲ併用スルモノトス即ハチ明治二十七八年戰役ニ  
 於テ廣島マデハ鐵道ヲ用ヒ之ノヨリ海路ニ由テ戰地ニ連絡シ戰地ニ  
 於テハ陸路ニ由テ作戰軍ニ連絡シタル如シ  
 後方連絡ノ爲メ鐵道ハ最良ナルコトハ前陳ノ如シト雖單ニ鐵道ノミ  
 ニ依頼スルハ不可ナリ若シ適當ナル陸路、水路等アレバ之レヲ併用ス  
 ル亦タ必要ナリ是レ唯ダニ連絡線ノ數多ナルヲ欲スルノミナラズ  
 特ニ陸路ヲ要スルノ場合アリ即ハチ出師後補充ノ爲メニ戰地ニ至ル  
 軍隊ハ連絡線ヲ行進中行軍軍紀ニ慣熟セシメンガ爲メ或ハ又鐵道ニ  
 沿フ所ノ陸路ニ陸路兵站ヲ設置シ以テ陸路運行ヲ同時ニ監督シ且ツ  
 其警戒ヲ同時ニ爲シ兵站軍隊ノ數ヲ減ズルノ利益ヲ收得センガ爲メ

ナリ

其三 連絡線ノ決定

作戰軍ト策源地トノ間ニ於ケル連絡線ハ如何ナル徑路ヲ取ルベキヤ  
 又幾條ヲ設クベキヤ等ハ戰略上ノ目的、敵狀及ビ地勢等ニ由テ決スベ  
 キモノナルヲ以テ之レガ一定論ヲナス能ハズ左ニ述ブル所ノモノ



連絡線ノ方向徑路

ハ諸種ノ情况ニ應ジ適當ノ斷案ヲ下ス基礎トナスモノノミニ留メン  
トス

連絡線ノ徑路ハ成ルベク策源地ト作戰軍ヲ聯絡スル直徑路ナルヲ可  
トス且ツ其方向ハ作戰正面ノ中央後ニシテ之レト直角ナルヲ希望ス



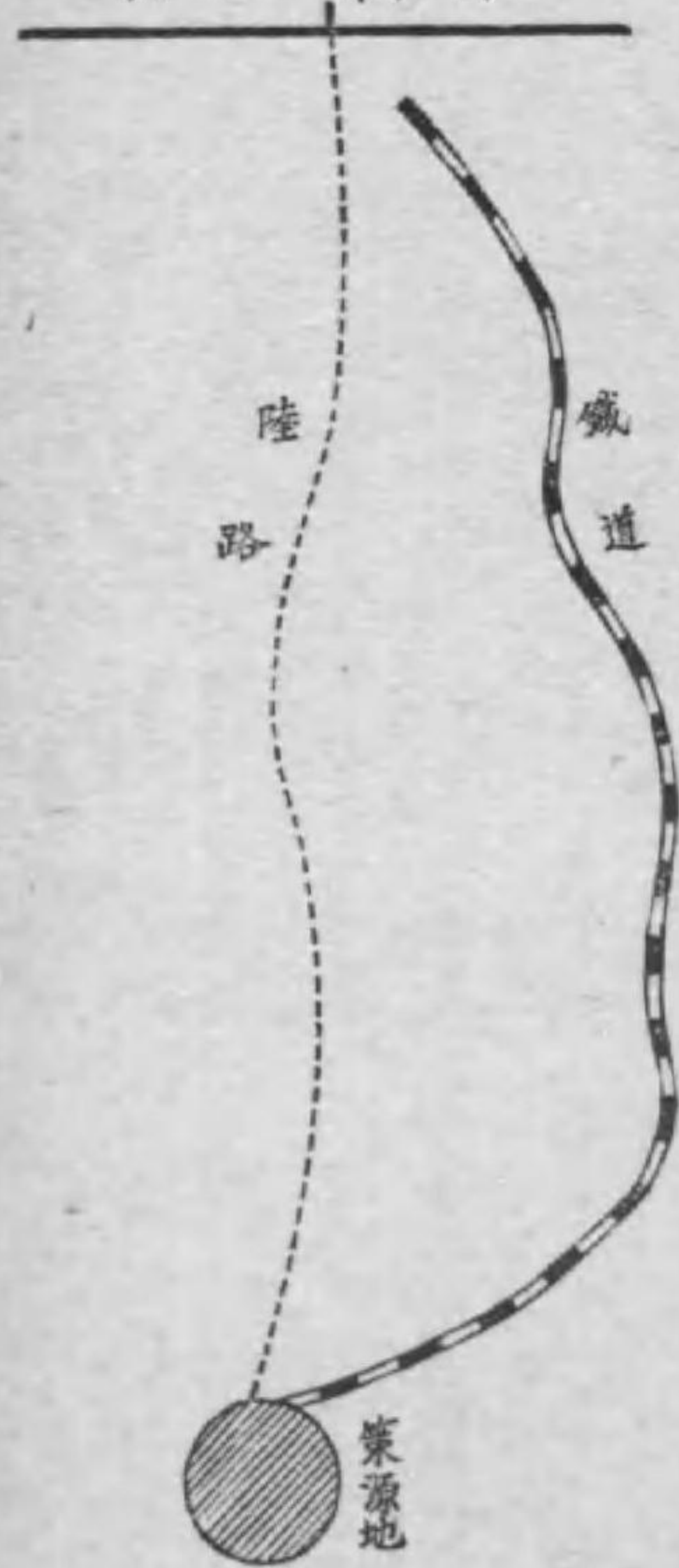
(甲圖)蓋シ此クノ如クナルキハ路程短ク又連絡線ハ作戰正面ニ由テ自  
然ニ掩護セラルレバナリ

之レニ反シ連絡線ノ徑路ハ屈曲シ其方向ハ作戰正面ニ斜交スルノミ  
ナラズ且ツ作戰正面ノ一翼ニアルトキハ(乙圖)路程長延且ツ連絡線ハ  
敵ニ脅威セラレ易キノ害アリ

然レドモ甲圖ノ如キ充分ナルモノハ到底ナカルベク又時トシテ乙圖  
ノ如キモノヨリ尙ホ一層危険ナル連絡線ヲ採用セザルベカラザルコ  
トアリ此等ノ場合ニ於テハ殊ニ連絡線掩護ノ方法ヲ構究セザルベカ  
ラズ(連絡線掩護ニ關スルベシ)

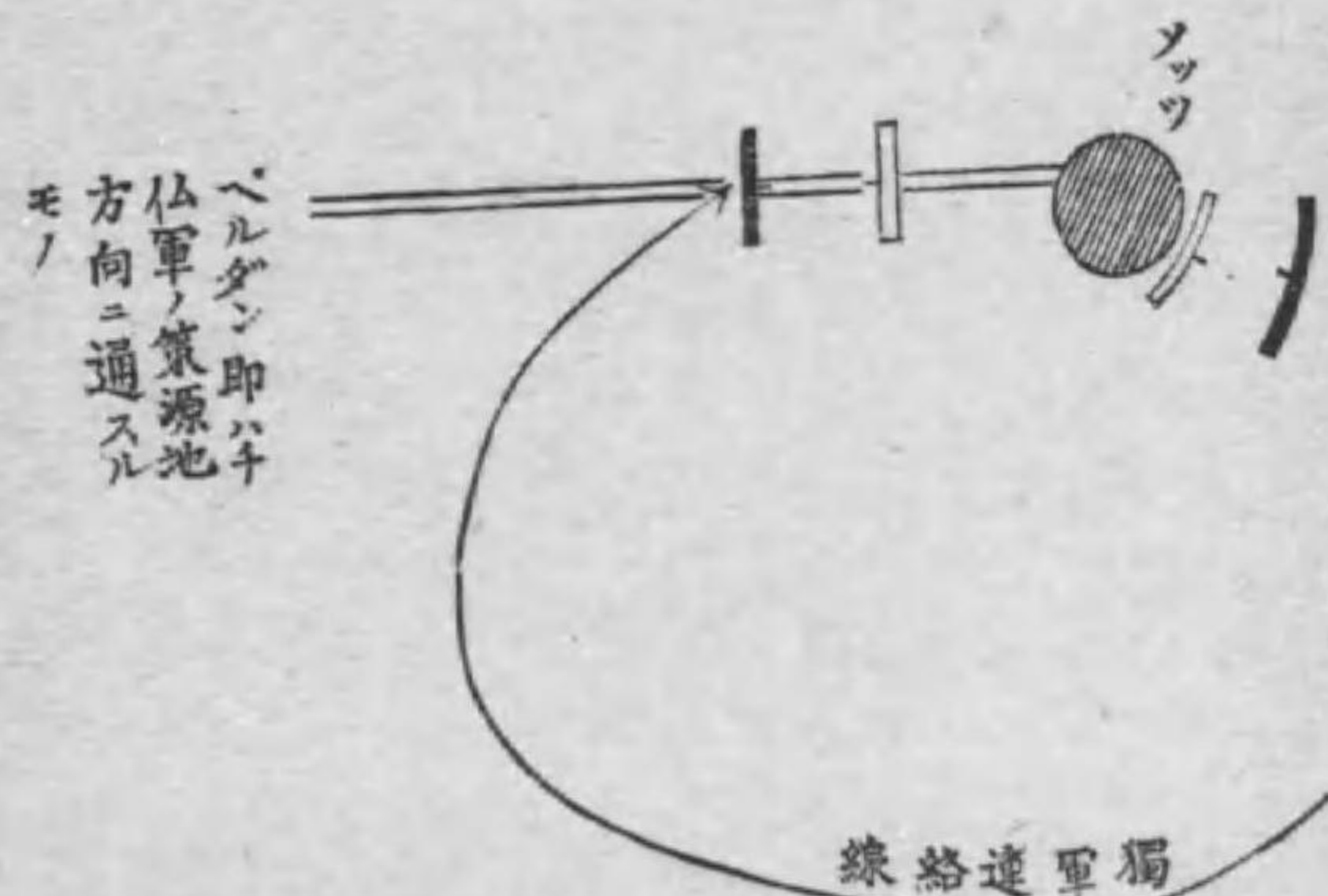
千八百七十年普佛ノ戰役中普軍ハマルスラヅール(Mars la tour)附近ノ  
攻撃ヲ爲スニ當リ遠クメッツ(Metz)要塞ノ南方ヲ迂回シ丙圖ノ如キ連絡  
線ヲ取レリ

丁 圖  
作 戰 正 面



今爰ニ丁圖ノ如ク陸路ナレバ行程短ク、鐵道ナレバ多少迂路ナルベキ  
 二條ノ交通線アリトセンカ多クノ場合ニ於テ陸路ヨリハ鐵道ノ方ヲ連  
 絡線ニ採用スルナリ例合ヒ此鐵道ガ側方ニ偏シ多少ノ脅威ヲ受クルノ  
 憂アル時ニ於テモ尙ホ之レヲ採用ス但シ此場合ニ於テハ陸路ノ方ニ

丙 圖



連絡線ノ數

モ若干ノ設備ヲナシテ併用ス其理由タルヤ敵ノ脅威ヲ受ケズ鐵道ノ安全ナル間ハ鐵道ヲ主ナル連絡線トシ陸路ハ補助ニ供ス而シテ鐵道ガ一旦敵ノ脅威ヲ受ケ最早此連絡線ヲ使用スル能ハザルニ至レバ始メテ之レヲ棄テ陸路ヲ主トシテ使用セントスルニアリ

連絡線ノ數ハ交通運輸ノ便宜上ヨリ云へバ多數ナル希望スト雖モ連絡線上ニ於ケル設備、材料、人員並ニ警戒兵等ハ從ツテ多數ヲ要ス故此等ヲ節約セント欲セハ連絡線ノ少キヲ可トス此ニ於テ通常其中庸ヲ取り作戰單位毎ニ一條即チ一軍ニ一條ノ連絡線ヲ最少限トス然レモ是レ連絡線ノ關係良好ナル場合ニ於ケル標準ナルヲ以テ若シ連絡線ガ非常ニ粗惡ナルカ或ハ又一軍中ノ各戰略單位(師團若クハ軍團ノ如ク)ガ遠ク分離シテ作戰スル時ノ如キハ二條若クハ數條ノ連絡線ヲ要スルヤ勿論ナリ

又假令モ良好ナル連絡線ト雖敵ノ爲メ遮斷セラル、ノ患アル時ハ必ラズ他ニ安全ナル連絡線ヲ豫備トシテ計畫シ置カザルベカラズ之レヲ例セバ東京ヲ根據トセル軍ガ名古屋地方ニ作戰シアルモノトセンカ東海道鐵道及ビ東海道ハ良好ナル連絡線ナリト雖此連絡線ハ海上ヨリ敵艦ノ爲メニ遮斷セラル、患アルノミナラズ且ツ敵ハ容易ニ一部隊ヲ沿岸ニ上陸セシメテ之レヲ遮斷シ得ルヲ以テ他ニ豫備ノ連絡線トシテ中山道ヲ準備シ置クヲ要スルガ如シ

戊圖ノ如ク陸路ト鐵道ト水路トノ三者ガ互ニ相接近シ同方向ニ通ズル

戊圖



陸路  
鐵道  
水路



時ハ最上便利ナルモノトス蓋シ此三者ハ互ニ其共通流用シ其設備警戒等モ大ニ節減シ得レバナリ此クノ如キモノハ間々之レヲ發見スルコアリ何トナレバ凡ソ地形學并ニ交通ノ原則トシテ河水ノ流通スル河孟ハ概ネ平坦ナルモノニシテ道路、鐵道何レモ其築設ハ自然ニ此平坦地ヲ撰ブヲ以テ自然ニ此三者ハ同一徑路ヲ取ルニ至レバナリ鐵道若クハ河川ノミヲ以テスル一條ノ連絡線ハ不可ナリ蓋シ是等ハ故障生ジ易ク其故障ニ當リテハ連絡ヲ杜絶セシムレバナリ故ニ是等ヲ採用スル時ハ必ラズ豫備トシテ陸路連絡線ヲ備へ之レヲ併用スルヲ要ス本邦ノ如ク鐵道ハ概ネ陸路ト一致シアルモノハ尤モ便利ナリ

其四 連絡線ノ變換

連絡線ノ變換ハ至難ノ業ニシテ成シ得ル限リ之レヲ變換セザランコ

連絡線變換ノ必要アル場合

ヲ勉ムベキハ勿論ナリト雖己ムヲ得ズ之レヲ變換スルノ必要起ルコアリ則チ此場合ハ左ノ如シ

- 一、 作戰ノ進歩上從來ノ作戰正面ヲ一變シタル爲メ在來ノ連絡線ハ新作戰ノ爲メ頗ル不便ヲ感ズルキ
- 二、 敵ノ脅迫ニ遭ヒ己ムヲ得ズ新連絡線ヲ設クルヲ要スルキ

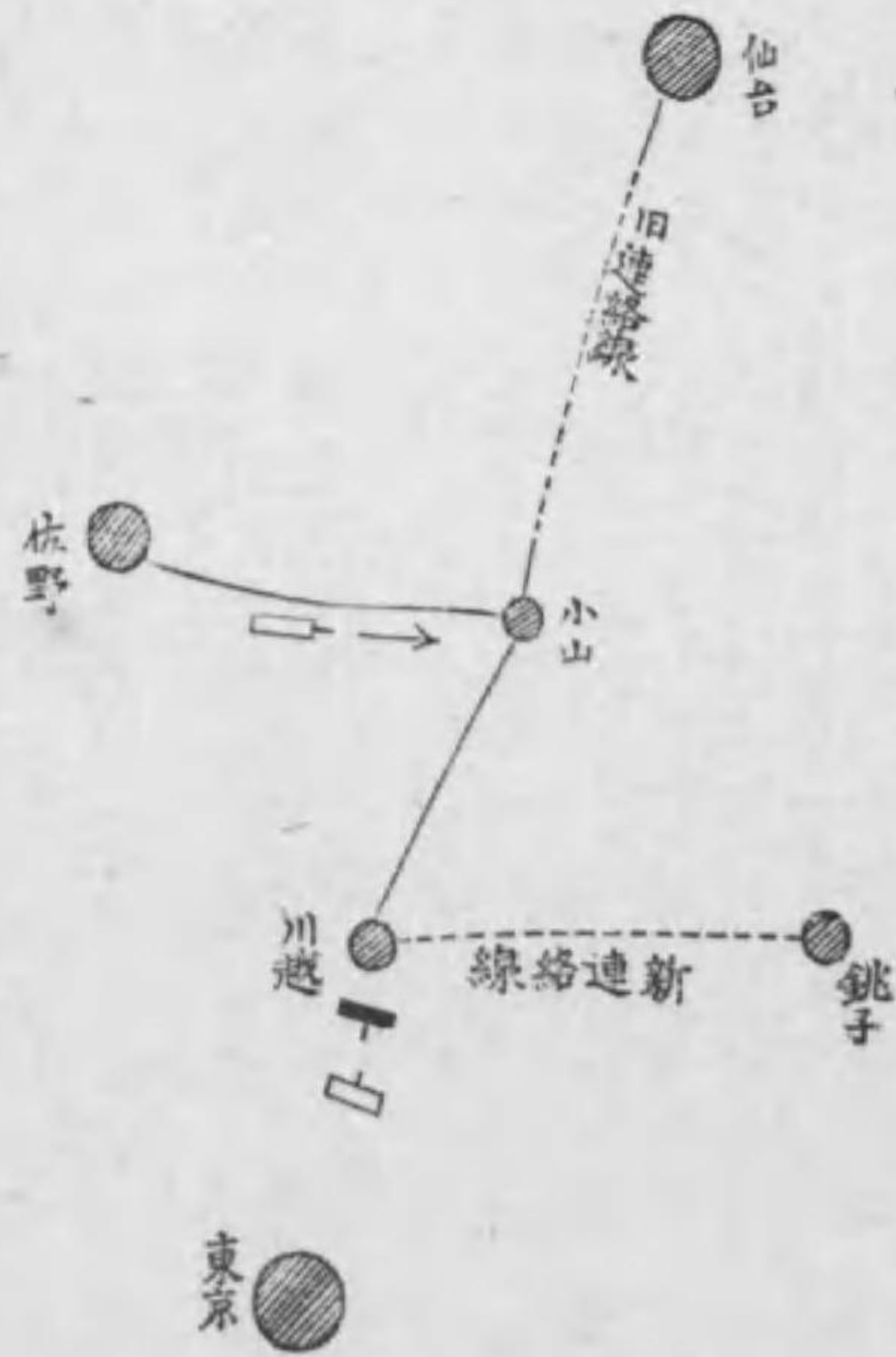
第一ノ場合ハ例スルニ名古屋平地占領ノ目的ヲ以テ最初敦賀ニ上陸シテ名古屋方向ニ連絡線ヲ取リタル軍ガ名古屋平地占領ノ後更ニ作戰正面ヲ變ジ三河平地ニ向ツテ作戰セントスル場合ニ於テ在來ノ連絡線ヲ變ジ新ニ知多半島ニ連絡線ヲ取ルガ如シ乃ハチ此連絡線變換ハ敵ニ脅迫セラレタル爲メニアラズシテ隨意ノ變換ナレバ充分ノ準備ヲナスノ猶豫ヲ得比較的容易ナル者ナリ之レニ反シ第二ノ場合ハ例スルニ東京ニ侵入スル目的ヲ以テ仙臺方向アリ陸羽街道ヲ南進セ

ル軍ガ川越附近ニ於テ戦闘中敵ハ佐野方向ヨリ小山方向ニ現出シ陸  
 羽街道上ノ連絡線ヲ脅威ス此ニ於テ軍ハ已ムヲ得ズ連絡線ヲ銚子方  
 向ニ取ラザルベカラザルニ至ルガ如シ此連絡線變換ハ尤モ困難ナル  
 モノニシテ前面ニハ當該ノ敵ヲ有シ側面ニハ新來ノ敵ヲ受ケ軍ハ進  
 退自由ナラズ加之ナラズ連絡線ハ迅速ニ變換セザレバ全ク敵ニ遮斷  
 セラレ軍ハ非常ノ損害ト難境ニ陥ルベシ而シテ又軍ハ一時攻勢的動  
 作ハ中止シ少クモ連絡線ノ變換終ルマデハ守勢ヲ以テ此連絡線變換  
 ヲ掩護スルノ余儀ナキナリ

第一ノ場合圖例



第二ノ場合圖例



抑々連絡線變換ノ事タルヤ其線ノ延長ナルト新舊兩連絡線ノ角度大ナルトニ從ツテ愈々其困難ヲ感ズル者ナリ蓋シ連絡線ノ設備ハ一朝一夕ニ爲シ得ルモノニアラズ（設備ニ關スルハハ次章ニ設クアルハハシ）且ツ此線上ニアル軍需材料ヲ新連絡線ニ移轉スルノ業タルヤ運搬材料ノ欠乏スル時ニ於テハ容易ニ仕遂ゲ得ラル、モノニアラズ之レガ計畫者ハ須ラク細密ノ注意ヲ以テ順序ヲ規正シ迅速ニ先ヅ必要物件アリ順次移轉シ已ムヲ得ザル場合ニ於テ軍需物件ヲ敵ニ委スルコトアルモ成ルベク不必要ノ物ヲ遺棄シ置クコトヲ謀ラザルベカラズ

歐洲大陸ノ如ク土地平坦山脈少ク鐵道網ノ縱横ニ貫通スル地ニ在ツテハ不幸中ノ幸ナレモ本邦ノ如ク（本邦ノ地勢ニ就テハ第三卷第五篇退路變換ノ條ニ就テ述ベタルヲ參照シ）到ル所大山脈若クハ此支脈ノ爲メニ交通ヲ妨ゲラルル土地ニ於テハ至便ナル水路若クハ鐵道ノ助けニ依ルニ非ラザレバ完全ナル連絡

線變換ハ行ヒ難ク人ノ肩背或ハ馱背等ノ微弱ナル運搬力ハ急速ヲ要スル際ニハ殆ンド依頼スベカラザルモノナリ故ニ交通不便僅ニ一條ノ連絡線ニ由テノミ軍ハ生存シ他ニ容易ニ連絡線變換ヲ行フ能ハザル如キ土地ニ於ケル作戰ハ此唯一ナル連絡線ヲ遮斷セントスルノ戰畧ニ出ヅルヲ以テ頗ル有効ナルモノトス

### 第一章 連絡線上ニ於ケル諸設備

連絡線ハ種々ノ種類區劃ニ由リテ其業務ヲナス而シテ此業務ヲナス爲メニハ種々ノ設備機關ヲ要ス即チ連絡線ハ如何ニ設計セラレ如何ナル業務ヲナスヤヲ本章ニ於テ説述セントス

其一 連絡線ノ區劃

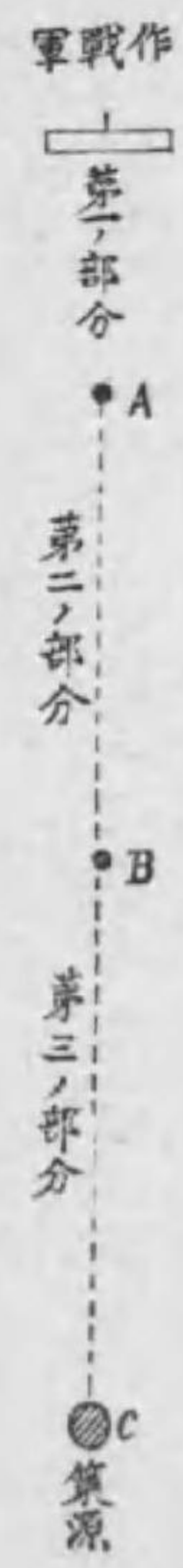
連絡線ハ管轄區域ニ從ツテ凡ソ三部ニ區別セララル

一、作戰軍ノ管轄ニ屬スル部分

二、戰時姿勢ヲ以テ管轄スル兵站ノ部分

三、平時姿勢ヲ以テ管轄スル部分

之レヲ圖解スレバ左圖ノ如ク作戰軍ヨリAニ至ル間ハ兵站ヲ設置スルコトナク作戰軍ノ管轄ニ屬シ此地區ハ專バラ輻重縱列ヲ以テ補給連絡ヲナス



AヨリBニ至ル間ハ兵站部ヲ設置シ戰時ノ姿勢ヲ以テ補給聯絡ノ業

務ヲナス

BヨリC即ハチ策源ニ至ル間ハ概ネ兵站部ヲ設クルコトナク(必要ナレバ之レヲ設クト雖全ク平時勤務ヲ以テス)平時ノ業務ニ屬ス

即ハチ左ニ示ス所ノAB兩圖ニ於ケル如ク作戰軍ト兵站未地トノ間ニ於ケル地境ハ作戰軍ノ管轄ニ屬スルモノニシテ其管區境界線ハ野

戰軍勤務ト兵站勤務トノ分別セララル、所ナリ

兵站未地ヨリ戰時運行ノ始點 (BA圖ニアツテハ上陸地(根據地)マテニ

至ル間ハ兵站諸機關ガ戰時業務ニ由テ警戒連絡ヲナシ鐵道ノ運行ノ如キモ一ツニ軍用ノ便利ノミヲ斗リ他ヲ顧慮スルノ暇ナク軍事上最

モ嚴密ノ監督ヲナシ殊ニ鐵道業務上或ル範圍外ハ萬般ノ事一ツニ軍人ノ專行ニ歸ス是レ戰時運行ノ名稱起ル所以ナリ

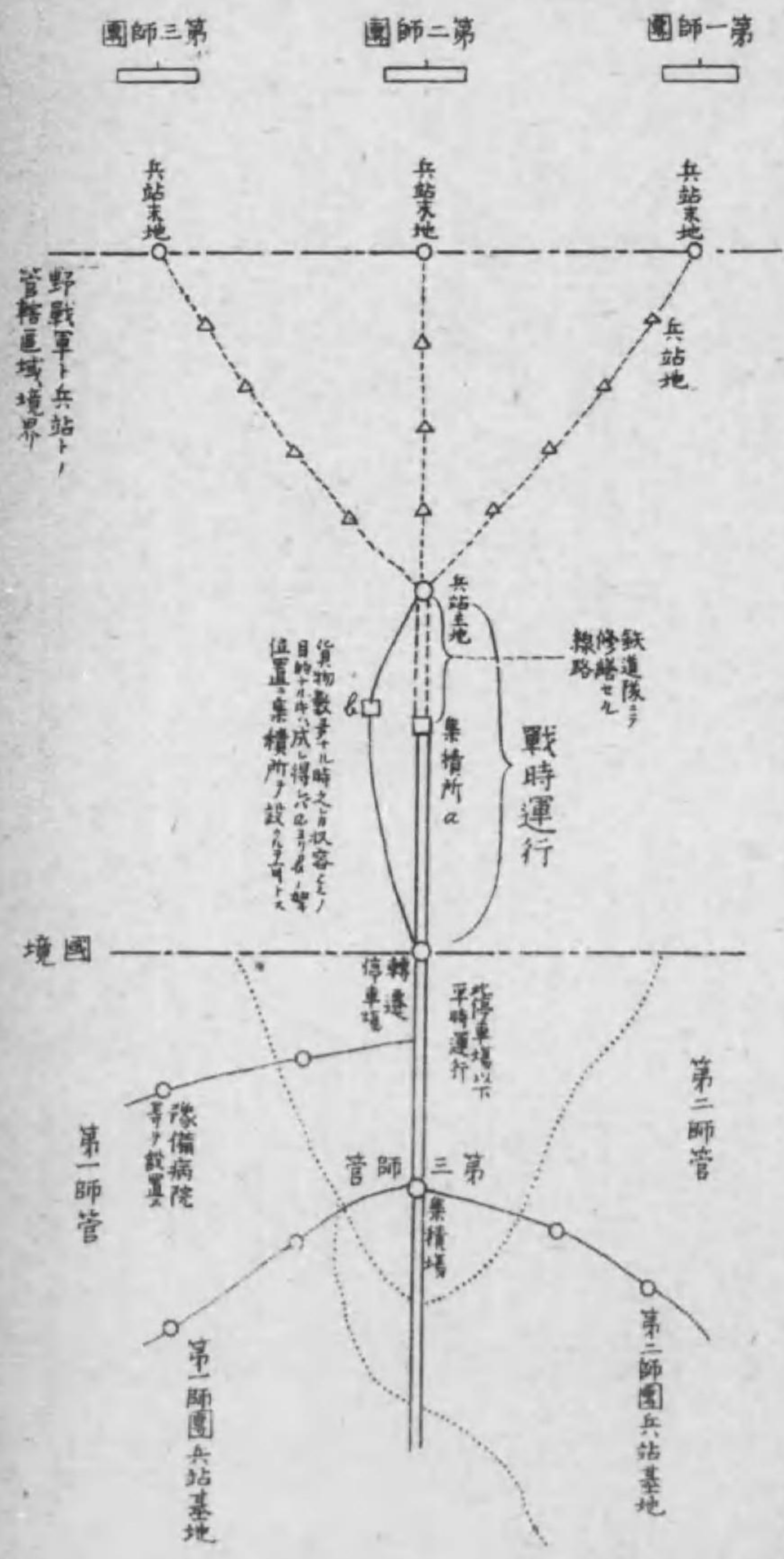
戰時運行ノ始點ハ平時勤務ノ終ル所ニシテ此點ニ來ルマデハ運輸交

行  
鐵  
通  
戰  
時  
運

通ノ如キモ商業貿易等ノ便益ヲモ願慮シ鐵道船舶等ノ業務上ニ於テ  
 モ其當該吏員ノ專行スル所ニシテ軍事上ヨリハ唯ダ必要ノ監督又ハ  
 線路計設等ニ就キ必要ノ容喙ヲ爲スニ過ギズ  
 外征ニ於テ自國輸出港アリ上陸根據地ニ至ルマデハ必要ニ應ジ軍事  
 官憲ノ專任ニ屬スルコトアリ是レ戰役ノ初期ニ於テ海上權全ク我ニ歸  
 セズ未ダ安全ナラザル時等ニ於テ然リ  
**兵站** ハ師管ト作戰軍背後トノ連絡ヲ保持スル機關ナリ而シテ此  
 機關ノ脈絡ヲ兵站線ト稱ス  
**兵站管區** トハ別命ナケレバ通常兵站未地ヨリ師管ノ境界(外征ニ  
 在ツテハ上陸根據地マデ)マテノ地區ヲ云フ而シテ特別ノ場合ニ於テ  
 之レヲ指定スルノ必要アルキハ大本營ハ軍若クハ獨立師團ノ區域ヲ  
 定メ軍ハ又其師團ノ兩側ニ亘ル地域ヲ定ムルモノトス

(A)

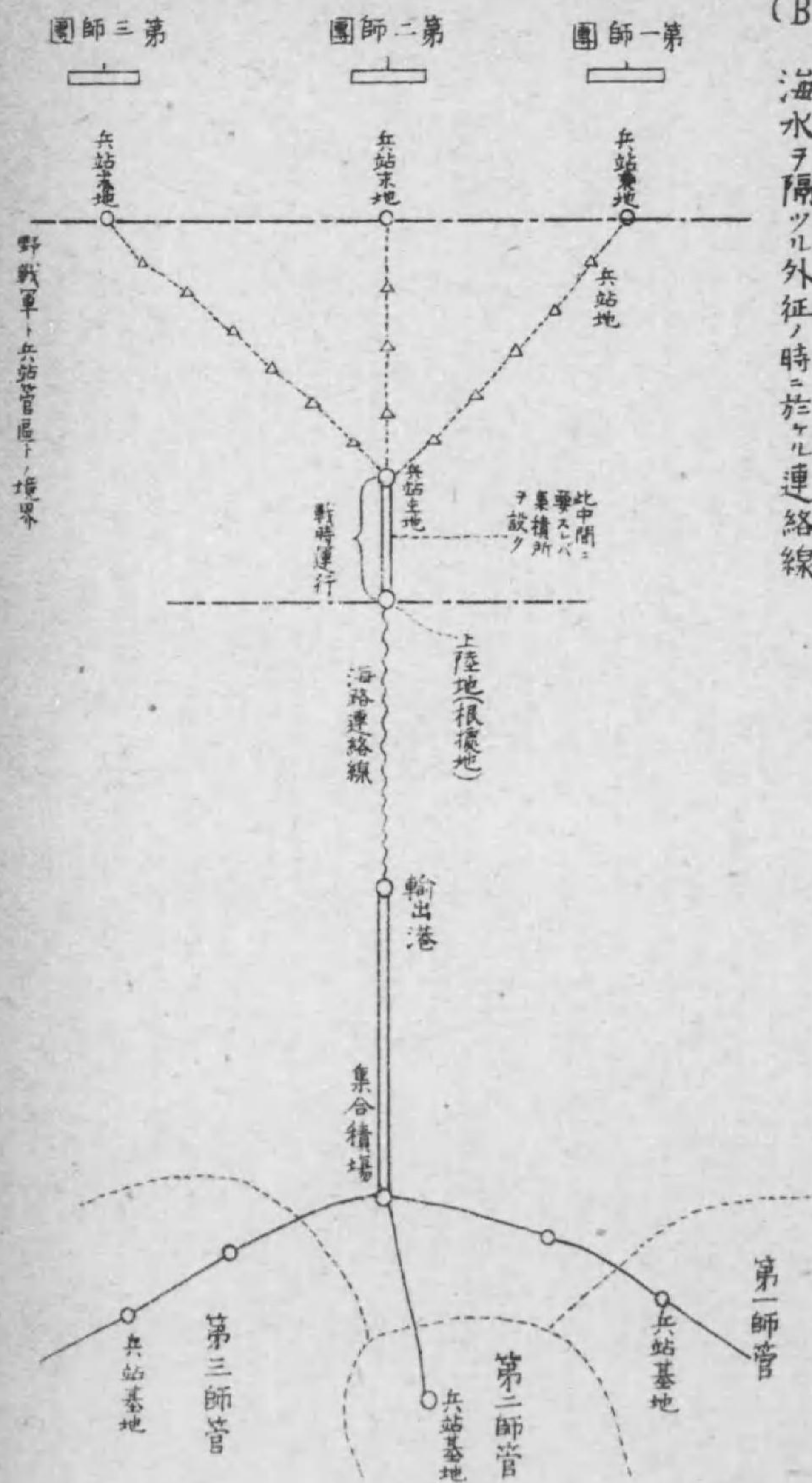
國境ヲ陸地ニ由テ相接スル時ノ連絡線



備考  
 鐵道線  
 連絡線  
 野戰軍ト兵站トノ管轄區域境界  
 集積所

(B)

海水ヲ隔ツル外征ノ時ニ於ケル連絡線



此兵站管區ハ直接兵站諸官ノ管轄ニ屬スルモノニシテ即ハチ前陳第二ノ部分ニ屬スルモノトス

兵站管區外ノ業務ニ在ツテハ陸海軍諸官衙及ビ地方官吏ノ共同ヲ要ス此他連絡線上ニ於ケル細部ハ次條ニ逐次説述ス

其二 連絡線上ニ於ケル各部ノ性質

### 補充所

ハ被服材料總テノ軍需品ヲ準備貯藏シ且ツ補充ニ要スル人馬ヲ訓練シ以テ作戰軍ニ供給ヲナシ又作戰軍ヨリ還送セル人馬物件ヲ受領スル所ニシテ平時軍隊ノ衛戍地ヘ即ハチ之レニ適スルモノナリ然レモ内國戰ニ於テ敵ノ爲メ此衛戍地ヲ攻撃セラレ、ノ患アル所ハ他ニ移轉セシメザルベカラス此移轉ハ甚ダ困難ナルモノニシテ(倉庫材料總テハ軍需國軍ノ尤モ痛痒ヲ感ズル所ナリ從ツテ敵ハ之レ機關存在スレハナリ)

ヲ占領センコトヲ勉ムルヲ以テ内國戰ニ在ツテハ之レガ掩護ヲ勉メザ  
ルベカラズ  
遠征ニ在ツテハ此補充所ヲ遠征軍ノ根據地ニ移スコアリト雖是レ甚  
ダ稀有ノコトナリ

**兵站基地** 各補充所ヨリ作戰軍ニ追送スベキ軍需物品并ニ戰地ヨ  
リ還送シ來ル人馬物件ハ之レヲ師管毎ニ纏メテ集積シ以テ更ニ作戰  
地ニ追送シ或ハ各地ニ還送シ得ルヲ要ス此クノ如クスルキハ此事務  
ヲ處理スル者ハ平時ヨリ此事ニ慣熟スル人員ヲ用ヒ得ルノミナラズ  
總テノ事盡ク便利ヲ得ル者トス而シテ此補充物品集積所ハ常ニ鐵道  
停車場或ハ碇泊場ノ近傍ナルカ或ハ其他運搬輸送便ナル地ヲ可トス  
此集積所ハ兵站運搬ノ基地タルモノナルヲ以テ各國其名稱ヲ付スル  
ニ兵站基地ナル語ヲ以テスルモノ多シ

兵站基地ニ  
要スル性能

故ニ兵站基地ハ通常各師管内ニ一個ヲ設クルモノトス  
若シ運輸ニ便ナル地點附近ニ於テ兵站基地トナスヘキ適當ノ場所ナ  
キハ或ハ又軍ノ作戰區域ガ自國內ニアルキハ之レヲ師管区内ニ設置  
スル能ハス此ノ如キ場合ニ在ツテハ兵站基地ハ他管区内ニ設置スル  
モノトス

兵站基地ハ人馬物件ノ着大ニ輻輳スル所ナルガ故ニ此地ニ要スル性  
能左ノ如シ

- 一、 運搬交通ノ便ナルコト
  - 二、 人馬ノ宿營スベキ家屋ニ富ムコト
  - 三、 物品材料ヲ集積スル倉庫ノ設置アルコト
  - 四、 給養衛生等ニ關スル便ヲ備フルコト
- 集積場** 兵站基地及ビ主地ノ間ニ於テ交通便ナル地ニ集積所ヲ設



ケ作戰軍ニ輸送スベキ物品ヲ集合理整シテ野戰軍ニ生スル需要ニ隨ヒ之レヲ兵站主地ニ送達スルモノトス但シ此集積所ハ基地ト主地トノ距離大ナル時其中間ニ於テ業務ノ便ヲ謀ランガ爲メニ設クルモノナレバ基地ト主地トノ距離短少ナルキハ之レヲ設クルノ必要ナシ然レモ基地若クハ主地ニ數多ノ貨物集積シ之レガ收容ニ困難ナル爲メ此等貨物ノ收容場ニ供セント欲スル場合ノ如キハ主地ト基地トノ距離短少ナルモ猶ホ其中間ニ集積所ヲ設クルヲ可トス然ルキハ本來ノ兵站線ノ側方ニテ交通便ナル所ヲ良トス是レ本來ノ兵站線交通ヲ妨クルコトナク且ツ貨物ノ集積ニ便ナラシメン爲メナリ(A圖ニ於ケルbノ如シ)

集積所ハ數多ノ貨物ノ輻輳スル所ナレバ之レヲ收容スベキ數多ノ倉庫ノ設ケナカルベカラス

**兵站主地** ハ各方面ニアル作戰軍ノ所在地ニ通スル鐵道、水路若クハ陸路ノ主點ニシテ兵站基地ヨリ追送シ來リタルモノハ此主地ヨリ各方面ノ野戰軍ニ分配シ又各方面ノ野戰軍ヨリ還送シ來リタルモノハ此主地ニ纏メ更ニ基地ニ還送ス則ハチ各作戰軍ニ通スル兵站線ノ起點ナリ

兵站主地ハ各方面ノ作戰軍トノ連絡便ナル爲メ地形、敵狀ノ許ス限リ作戰軍ニ近キヲ可トス故ニ作戰ノ進歩ニ依リ漸次其位置ヲ變換スルモノトス

兵站主地ニ要スル性能ハ概ネ兵站基地ニ準ス

小ナル市町村ニシテ停車場若クハ碇泊場ノ狹隘ナルトキ又ハ交通便ナラザルトキハ兵站主地ノ業務ヲ數個ノ停車場若クハ碇泊場等ニ分任セシムルコトアリ

兵站地ノ距離

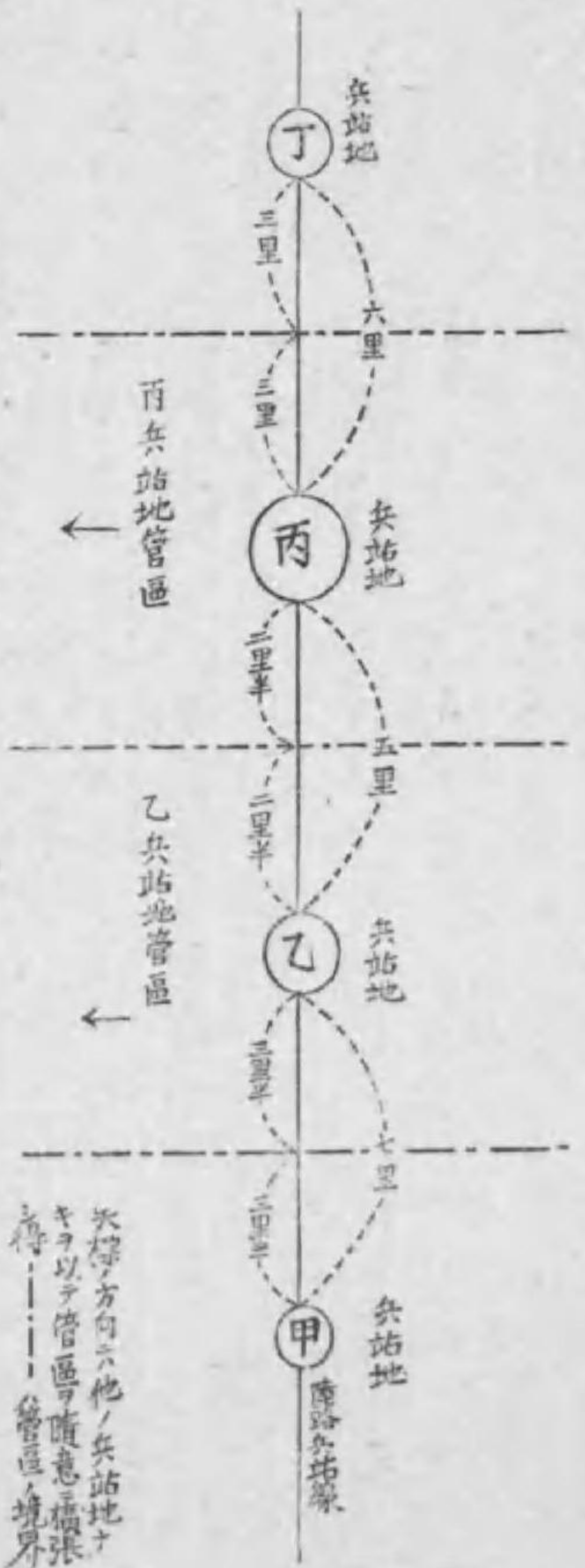
兵站地 ハ恰モ作戰軍所在地ニ至ル道中ノ宿驛ニ等シキモノニシテ兵站路通過ノ人馬ヲ給養シ材料運搬ノ遞送等ヲ司ル地點ナリ故ニ兵站主地ヨリ作戰軍所在地ノ背後適當ノ距離ニ至ル間ノ途中ニ於テ概ネ六里毎ニ(約一日行程ヲ標準トス)此兵站地ヲ設置ス

此各兵站地ノ連絡ハ鐵道水路ノ有無ニ關セス必ラズ一ツノ陸路連絡線ヲ用ユルモノトス蓋シ此間ノ交通ハ瀕繁ニシテ且ツ敵地ニモ比較的近キヲ以テ假令鐵道水路アリト雖是等ハ敵ノ爲メニ破壞妨害セラレベク且ツ一旦故障ヲ生スレバ其間交通ヲ斷絶セシメザル如キ不安心ナカラシム爲メナリ

兵站地ノ目的此クノ如シ故ニ此地ニハ兵站業務ヲ司ルヘキ司令部ヲ設ケ其他萬般ノ設備完全セザルベカラス但シ其設備ノ大小ハ兵站地主要ノ程度ニ從ツテ差異アレモ要スルニ大ナル兵站地ニ在ツテハ宿

舍、倉庫、病院、馬廠、火藥庫、彈藥庫、郵便局、電信局等ヲ有シ小ナル兵站地ニ在ツテハ少クモ通行スル人馬ノ宿泊、給養及ビ療養等ヲ爲シ得ルノ設備ヲ要ス

各兵站地ハ別命ナケレバ甲兵站地アリ乙兵站地ニ至ル距離ヲ折半シ



各兵站地ノ管區

テ各兵站地ノ管區トス又他ノ兵站地ナキ方向ニ對シテハ各司令部適宜ニ擴張シテ之レヲ利用スルモ妨ダナシ蓋シ此管區ノ廣大ナル時ハ其兵站地ニ徵集スベキ物資所在區域大ナルヲ以テ運轉流用ニ至便ナルモノトス

兵站守備兵

兵站地ニハ通常歩騎工兵ノ若干部隊ヲ置キ其地ノ守備ニ充ツ步兵ハ直接警戒監視及ビ近距離ノ搜索ニ任シ騎兵ハ各兵站地ノ連絡傳令并ニ遠距離ノ搜索ニ任シ工兵ハ防禦作業道路ノ修繕改築其他種々ノ工事ニ任ズ

是等ノ守備兵ハ概ネ後備軍ノ任スル所ニシテ其部隊ノ大小ハ危殆ノ度ニ從フ時トシテ所要ナレバ砲兵ヲモ加フ

兵站地ニ要スル性能

兵站地ニ要スル性能モ亦タ兵站基地ニ準スルモノニシテ之レガ爲メニハ陸路兵站線上沿道ノ住民地貧富戶數人口ノ如何物資ノ多寡此物

資ヲ徵集スルノ便并ニ各住民地相互ノ距離ガ概ネ六里ヲ標準トスベキヲ等ヲ顧慮シ兵站地ヲ撰定スベキナリ

兵站未地

ハ陸路兵站線上最終ノ兵站地ニシテ即チ作戰軍ノ占領

セル地區ト兵站部ノ管轄スベキ地區トノ境界ナリ此地ハ後方ヨリ到着スル輸送物ヲ作戰軍ニ分送シ又ハ作戰軍隊アリ後方ニ還送スベキ諸物ヲ集收スル所トス而シテ作戰軍ノ移動ト共ニ移轉スルモノトス

轉遷停車場

ハ平時運行ト戰時運行トノ區別セラルベキ境界ノ

停車場ナリ夫レ戰時ニ於テ鐵道ハ必須ノ要素ニシテ運輸交通ノ敏活ナチン爲メニハ鐵道ヲ軍事上ニ專用スルヲ可トス然レトモ鐵道ナルモノハ一方ニ於テ國家ノ經濟商工業等ニモ亦タ至大ノ關係ヲ有スルモノナレバ軍事上ノ利便ノミヲ以テ國家發達ノ事業ヲ廢スル能ハズ故ニ一方ニ於テハ軍事上ノ目的ヲ達シ一方ニ於テ國家殖産人民ノ利

便ヲ妨ゲザル爲メ或ル一定區域ハ專バラ戰時用トシ地ノ一定區域ハ專ハラ平時用トスル所以ナリ

即ハチ轉遷停車場以內ニ在ル鐵道ニ於テハ戰爭中ト雖モ平時ノ交通ヲ保續シ唯ダ己ムヲ得ス軍事上ノ要求ニ應スル時ヲ除クノ外平時交通ヲ停ム可カラス之ニ反シ轉遷停車場以外ニ於テハ通常平時交通ヲ停メ單ニ軍部ノ計畫ニ基キ鐵道ノ運行ヲ爲スモノトス

兵站基地ト未地トノ間ニハ常ニ確實ナル連絡ヲ取ラザルベカラズ然レトモ此連絡ハ各軍團又ハ各師團ノ爲メニ各別ニ爲ス者ニアラズシテ通常未地ヨリ主地マデハ各別ニ陸路兵站諸線ヲ設ケ主地ト基地トノ間ハ數軍團又ハ數師團ノ爲メ協同ノ連絡線ニ依ラザルベカラズ何トナレバ此間ニ於ケル適當ノ大街道或ハ鐵道ハ多ク存在スルモノニアラズ假令ヒ大街道、鐵道等數多アルキト雖トモ各別ニ連

絡セントスルニハ人員材料ノ數ヲ増加シ多クノ守備隊ヲ要シ且ツ監督上ニ錯雜ヲ生ジテ事務ヲ澁滯ス加之ナラス若シ作戰軍ノ旋回等ヲ爲スニ會セハ其兵站線ニ非常ノ混雜ヲナスベシ然レトモ獨立軍團若クハ師團ニシテ全ク方向ヲ異ニセル方向ニ作戰スル時ハ之レガ爲メ特ニ別個ノ連絡線ヲ設ケザルベカラザルハ自然ノコトナリ

### 其三 連絡線上ニ於ケル諸機關

連絡線各部ノ性質ハ前陳ノ如シ此各部ヲシテ適當ニ活動セシムルハ諸機關ノ備ハル在ツテ初メテ目的ヲ達シ得ベシ此諸機關ノ編成ニ關シテハ各國其好ム所ニ從ツテ種々ナリ要スルニ之レガ統一ヲ謀リ之レガ運轉要務ヲ充タサン爲メニハ次ギニ述ブル機關ヲ備ヘザルベカ

ラス

- 1、司令機關
- 2、給養經理機關
- 3、衛生機關
- 4、兵器材料補充機關
- 5、司法機關
- 6、交通通信機關
- 7、輜重運搬機關

(1) 司令機關 ハ左ノ諸官衙ヨリナル

兵站總監ハ後方勤務ヲ總轄スル長官ニシテ兵站事務殊ニ戰役地ノ兵站萬般ノ事項一ツモ溢滞ナク運用セン爲メニハ參謀本部ト交通シ作戰計畫ト兵站規畫ト相照應セシムルヲ要スルヲ以テ通常大本營内ニ

アルモノトス

兵站總監ハ萬般ノ事務ヲ實施スル爲メ總監ノ下ニ經理機關ノ長(監督長官)衛生機關ノ長(衛生長官)運輸交通機關ノ長(運輸通信長官)等ヲ隸屬ス是等モ亦タ大本營内ニアルヲ通常トス

兵站監ハ軍司令官ガ規定セシ兵站線ニ就テ各兵站地ヲ定メ其部下ニ屬スル數多ノ機關ニ由テ總テ業務ヲ實施溢滞ナカラシムルノ責ニ任ス故ニ一軍ノ連絡線ノ爲メニ一人ヲ要シ通常兵站主地ニアルモノトス而シテ其軍ノ大小ニ從ツテ其部下諸機關ノ組織ニハ大小アルモノトス

兵站監部ハ兵站監ノ現在スル官衙ニシテ諸機關ヲ備ヘ各擔任ノ指令ヲ掌ルナリ(監督部衛生部ノ司令機關モ此内ニアリ)

兵站司令官ハ一兵站地ノ長官ニシテ兵站監ノ命ヲ奉ジ其兵站地管内

兵站司令官ノ任務

一切ノ事務ヲ司ル即ハチ其任務トスル所概ネ左ノ如シ

- 一、軍需品ヲ作戰軍ニ追送スルヲ
  - 二、作戰軍ノ不要トナリタル物品、捕虜、傷者、戦利品等ヲ還送スルヲ
  - 三、兵站線ヲ往復スル總テノ人馬ノ爲メニ宿舎并ニ給養ノ設備ヲナスヲ
  - 四、所轄兵站地區内ニ於ケル道路、水路、橋梁、鐵道、電信郵便線等ヲ保護シ或ハ之レヲ修理シ又ハ新設スルヲ
  - 五、其地方ノ安寧、靜肅ヲ維持スル爲メ保安警察ノ事務ヲ司ル
  - 六、占領セル敵國ニ於テ未ダ行政機關ノ設ケナキ間ハ其地方ノ民政ヲ執行ス
- 兵站司令官ハ兵站司令官ノ現在スル官衙ニシテ兵站地ニ開設ス此司令部ニハ細務ニ從事スベキ副官及ビ所要ノ官吏ヲ置クモノトス

- 留守師團司令部ハ其師管内ニアル兵站基地ニ關スル兵站業務ヲ管轄ス此司令部ヨリ更ニ基地ニ於ケル兵站司令部ヲ設置シ軍需物件ノ追送還送ヲ司ラシム
- (2) 給養經理機關 ハ兵站監部内ニアル兵站監督部ヲ始メトシ左ノ諸機關ヲ要ス
- 軍吏部ハ必要ニ應ジ各部團隊ニ配屬スルモノニシテ此軍吏部ナキ部團隊ニ在ツテハ其部團隊長自ラ給養經理ノ事項ヲ處理スルモノトス食庫ハ給養諸品其他諸物資ヲ貯藏集積スルモノニシテ兵站基地、主地等ハ勿論其他各兵站地ニ設置ス若シ之レヲ節約セントスル時ハ概ネ二日行程毎ニアル兵站地ニ設置スレバ足レリトス
- (3) 衛生關機 ハ兵站監部内ニアル衛生部ヲ始メトシ左ノ諸機關ヲ要ス

兵站病院ハ兵站線ヲ通過シ若クハ兵站管区内ニアル患者ヲ治療シ并ニ又戰地ヨリ後送セル患者ニシテ其輸送ニ堪ヘザル者ヲ收容ス  
 兵站病院ニ要スル衛生員及ビ材料ハ成ルベク特志看護者ヨリ採用スルヲ可トス已ムヲ得ザル時ハ兼テ設ケアル衛生豫備員及ビ豫備廠ノ人員材料ヲ使用ス

戰地、定立病院ハ開設セル野戰病院ヲシテ速ニ戰鬪部隊ニ跟随シテ前進セシムル爲メ之レト交代シテ現在ノ患者ヲ治療シ又ハ收容スルモノニシテ其患者ヲ後送シ終レバ閉鎖スルヲ通常トス而シテ之レニ用ユル衛生員材料ハ兼テ設ケアル衛生豫備員及ビ豫備廠ヨリ取ルモノトス

豫備病院ハ本國ニ設ケ戰地ヨリ後送セル患者ヲ收容ス  
 患者集合所ハ後送セラル、患者ニシテ鐵道ニ上車セシムルカ或ハ船

船ニ乗船セシムル爲メ一時諸方ヨリ來ル患者ヲ集合セシムルニ供ス故ニ停車場若クハ碇泊場附近ニ設クルモノトス  
 患者療養所ハ病院ノ設置ナキ所ニシテ若干時日患者ヲ療養シ若クハ綑帶交換所ハ病院ノ設置ナキ所ニシテ若干時日患者ヲ療養シ若クハ綑帶ヲ交換スルニ供ス故ニ停車場、碇泊場若クハ兵站線上患者ノ通過スル兵站地ニ設クルモノトス  
 患者宿泊所ハ兵站地ヲ通過スル患者ノ宿泊ニ供スルモノニシテ其途中ノ兵站地ニ設クルモノトス  
 患者輸送部ハ患者ノ轉送後送ニ係ル業務指揮ヲ司ルモノニシテ通常兵站病院、患者集合所、患者療養所、綑帶交換所等ノアル地點中便宜ノ點ニ現在スレモ固ヨリ此輸送部ハ移動性ノモノナレバ便宜ニ從ツテ其位置ヲ轉ス  
 衛生豫備員ハ衛生部ノ豫備人員ニシテ必要ニ應ジ衛生部業務ノ補充

ニ使用セラル、モノナリ且ツ移動性ノモノナレバ其現在スベキ地點  
ハ兵站監適宜ニ之レヲ命スルモノナレバ通常ハ兵站監部所在地若ク  
ハ兵站病院所在地ニ位置ス

衛生豫備廠ハ豫備ノ衛生材料ヲ所有スルモノニシテ其任務及ビ性質  
ハ衛生豫備員ニ同ジ

(4) 兵器材料補充機關 ハ作戰軍ニ要スル兵器材料總テノ補充

ヲナス爲メニ設クルモノニシテ左ノ諸機關ヨリ成ル

兵器本廠ハ本國ニ於ケル兵器材料製造元ニシテ補充ノ本源ナリ

兵器支廠ハ要塞所在地若クハ集積所ニ設置シ次等ニ位スル兵器補充  
所ナリ

野戰兵器廠ハ通常兵站主地ニ設置セラル、第三等補充所ナリ若シ此  
廠ト作戰軍トノ距離大ナルキハ中間ニ更ニ中間廠ヲ分遣スト雖、固ヨリ

此廠ハ移動性ノモノナレバ適宜作戰軍ノ前進ト共ニ移轉スルヲ要ス  
馬匹補充所ハ本國ニ於ケル馬匹補充ノ本源ナリ

兵站馬廠ハ戰地ニ要スル補充馬匹ヲ所有スルモノニシテ移動性ヲ有  
シ兵站監ノ指命セル適宜ノ兵站地ニ位置スルモノトス通常ハ兵站監  
部所在地ニアリ

其他電信、鐵道、輕氣球等諸般ノ需用ニ必要ナル材料人員等ヲ必要ニ應  
ジ豫備トシテ設置ス

(5) 司法機關 ハ兵站線上ニ於ケル警察、司法、ニ任スルモノニシテ

兵站監部ニアル兵站法官部、并ニ兵站線上ニ配布セラル、憲兵ノ執行  
ニ係ルモノトス

占領地ニ於テハ人民ニ關スル行政ヲ執行スル爲メ、更ニ行政機關ヲ設  
置スル必要アリ



(6) 交通、通信機關

ハ本國策源地ヨリ戰地ニ至ルマデ貫聯協同一致ヲ要スルモノニシテ諸般ノ命脈悉ク交通、通信ノ完否ニ係ルモノト云フモ不可ナキナリ其諸機關ハ次ノ如シ

運輸、通信部ハ連絡線上ニ於ケル交通通信ノ要點ニ設置シ運輸通信長官ノ命ヲ奉ジ連絡線上ニ於ケル交通運輸通信ニ關スル要務ヲ司ルモノトス

鐵道、線路司令部ハ連絡線ニ使用スベキ鐵道ヲ數區ニ分テ其各區ニ設置セラル、モノニシテ鐵道ニ關スルノ運輸交通ノ計畫、業務ノ統轄ヲ爲スモノトス

停車場司令部ハ必要ナル軍用停車場ニ設置シ上車、下車等凡テ其停車場ニ關スル事務ヲ司ルモノトス

碇泊場司令部ハ水路連絡線上ニ於ケル港灣ニ設置シ船舶ノ乗船、上陸

等凡テ其港灣ニ關スル事務ヲ司ルモノトス

鐵道、隊ハ戰地ニ於テ破壊セラレタル鐵道ヲ修理シ或ハ又臨時ニ建設スルノ任務ヲ有スルモノナリ

兵站、電信隊ハ戰地ニ於テ破壊セラレタル電線ヲ修理シ或ハ又臨時ニ電線ヲ架シテ以テ野戰隊ノ使用セル電信及ビ國用電線ニ接續シ且ツ通信ノ業務ニ任スルモノトス

兵站、郵便部ハ總テ軍事郵便ヲ司リ且ツ國用郵便ニ聯絡ヲ司ルモノトス而シテ其所在地ハ兵站監ノ指定ニヨルト雖通常兵站監部所在地ニアルモノトス

(7) 輜重運搬機關

ハ兵站線上ニ於ケル軍需ノ運搬ニ任スルモノニシテ左ノ諸機關ヲ要ス

彈藥、運搬ニ要スル、縱列(兵站彈藥縱列)ハ野戰兵器廠(中間廠)ノ彈藥ヲ運搬

シ並ニ野戰隊ノ彈藥縱列ヲ補充スル爲メノ運搬用ニ供スル者ナリ是ニ要スル車馬人員ハ普通徵發ニ依ル兵器監視隊ハ必要ニ應シ右項ノ如ク徵發運搬材料ニ由テ編制セラレタル兵器彈藥運搬縱列ノ監視員ニ供スルモノナリ糧食運搬ニ要スル縱列(兵站糧食縱列)ハ野戰隊ノ糧食縱列ヲ補充スル爲メ常ニ糧食ヲ携行セル移動性ノモノニシテ又倉庫間及ビ倉庫ト野戰隊トノ間ニ於ケル運搬ヲ司ルモノトス輻重監視隊ハ右項ノ如ク糧食運搬ニ要スル縱列ニテ尙ホ不足スルニ當リ臨時ニ徵發材料ヲ以テ編制スル糧食縱列ノ監視員トナルベキモノナリ

### 第三章 後方勤務ニ關スル業務並ニ計畫

#### 其一 運輸、交通、通信

運搬、交通、通信ニ於テ船舶、鐵道、電線ノ最緊要ナルコトハ論ヲ俟タス是レガ爲メ平時ヨリ充分ノ計畫準備ヲナスヲ要スルノミナラス開戰後ニ於テハ之レガ使用運轉ニ付キ細密ナル計畫ヲ以テ遠算ナキヲ要ス則チ船舶ノ種類ニ從ツテ其用途ヲ定メ、航路ヲ定メ、人馬物品ヲ搭載スルニ當リテハ船舶ノ噸數ヲ充分ニ利用スル如ク搭載物ノ種類ヲ配合シテ無益ノ空積ヲ余スコナキガ如ク炭水ノ補充ヲシテ欠乏スルコトナカラシムルト同時ニ危險ナキガ如ク列車ノ運行ヲ定メ停車場ハ乘車下車ニ便ナル如ク諸種ノ設備ヲナスベシ停車場司令官ハ直接交通ノ衝ニ當ルモノニシテ其線路ヲ通過スル軍

停車場司令官ノ業務

隊并ニ材料ニ就テ豫カシメ通知ヲ受クベキヲ以テ之レガ爲メニ必要ノ準備ヲ爲シ驛長ヲ指揮シ運行ニ支障ナキヲ勉メサル可カラズ殊ニ軍隊ノ需用品、飲用水ノ如キハ常ニ注意シテ設備スルヲ要ス若シ兵站司令官、停車場司令官ト同所ニ在ルトキハ互ニ協議シテ諸般ノ事務ヲ處理スベシ

碓泊場司令官ニ在ツテハ右ニ準ス

兵站主地ハ運輸交通ノ衝點ニシテ其事務頗ブル繁多ナル一要地ナリ故ニ兵站監、兵站司令官、鐵道線路司令官、患者輸送部等皆此處ニアルヲ可トス

各作戰軍隊ノ需用品ハ尽ク此主地ヨリ分配スルヲ以テ大ナル預備品倉庫、兵器廠、兵站病院、並ニ患者集合場等ノ設置ヲ要ス又タ停車場ハ唯ダニ大ナルノミナラス尙ホ諸方へ通スルノ線路此ニ幅濶シ機關車ノ

兵站主地ニ於ケル業務

用水、人馬ノ飲水ヲ備へ旋車盤ヲ有シ又タ其近傍ニハ軍隊ノ宿舍、馬繫所等ヲ有セサル可カラズ此等ノ要求ヲ悉ク一停在场ニテ充タス能ハザルキハ其最近ノ停車場一若ク數個ヲ併用シテ可ナリ若シ軍隊ノ所在此主地ト遠隔スルキハ兵器廠ノ如キ必要物ハ此地ヨリ尙ホ前方ニ中間廠ヲ派出スルヲ要ス此ノ如キ場合ニ於テハ數多ノ車輛ヲ準備セサル可カラズ

兵站司令官ノ業務

通信業務

兵站司令官ハ其地ニ輓馬車輛ヲ準備シ且ツ之レニ要スル人夫等ヲ貯へ軍ノ不時ノ需用ニ供セザルベカラズ  
通信ニ在ツテハ戰地ニ於ケル各司令部ヨリ兵站線ニ接續スベキ野戰電信及ビ郵便ヲ接續シテ國用電信及ビ郵便ニ連絡セシメ戰地ト本國トノ通信ヲ迅速確實ナラシメザルベカラズ  
之レガ爲メ電信隊ヲシテ電線ノ修理、建設ニ任ゼシムルノ外尙ホ成ル

ベク在來ノ電線ヲ利用スルコトヲ勉メザルベカラズ  
 途中ニ海路アルトキハ國用海底電線ヲ利用スルハ勿論ナリト雖尙ホ  
 迅速力ヲ有スル船舶ヲ以テ通信船ニ充テ連絡ヲ保タザルベカラズ  
 船舶鐵道ノ輸送計畫并ニ電信等ニ關スルハ補遺ノ部ニ於テ更ニ  
 詳論スル所アルヲ以テ爰ニ之レヲ省ク

## 其二 給養

糧ニ敵地ニ由ルハ原則ナリ各師團ニ監督部并ニ糧餉部員ヲ設置スル  
 ハ必竟種々ナル方法ヲ用ヒ此原則ヲ實施センガ爲メナリ  
 敵國ニ在ツテハ其地方ノ貧富、人民ノ意向、國ノ制度等ハ大ニ軍隊ノ給  
 養ニ關係スル者トス故ニ時トシテハ其地方ノ資源ニ依頼スル能ハサ  
 ルヲアリ此クノ如キ場合ニ於テモ軍隊ヲシテ飢渴ノ爲メ其活動ヲ減

殺セシメサランニハ必ラス軍隊ハ自カラ糧食ヲ携行スルノミナラズ  
之レガ補充ヲ適當ニ爲スハ實ニ兵站諸機關ノ責任ナリ

ナポレオン第一世ガ革命ノ結果頗ル饑ヘタルフランス軍ヲ帥ヒテ以  
太利ニ戰爭セシキ其部下軍隊ニ下セル諭示中ニ左ノ件ヲ載セタルヲ  
以テ見ルモ如何ニ給養可否ノ如何ハ軍隊ノ志氣ニ關係スルヤヲ知ル  
ニ足ルベシ

汝等ハ粗食粗衣ノ爲メニ頗ブル疲勞シタリ然レモ彼ノ豐饒ナル以  
太利ハ美味ト良衣トヲ捧ケテ汝等ヲ待チツ、アリ汝等其望ム所ニ  
依ツテ飽食温衣スヘシト

給養ノ必要ナルハ疑ヲ容レザル所ニシテ之レヲシテ豐富ナラシムル  
ハ本國ヨリノ補充追送ヲシテ迅速確實ナラシムルヲ要スルヲ勿論ナ  
リ然レモ兵站ニ於ケル經理機關ハ本國ヨリノ追送ヲ待タズ常ニ軍隊

ノ補充并ニ兵站線通過ノ人馬ヲ給養スルニ足ルベキ物資ヲ其地ニ於テ得ンコトヲ謀ルハ責任ヲ帯ヒテ事ニ任ゼザルベカラス

### 其三 衛生

抑々戦役ニ於テ人馬ノ損耗ハ戦闘ニ於テスル死傷ヨリハ寧ロ病者ニ多キハ實驗ノ證スル所ニシテ之レヲ豫防スルニハ固ヨリ各衛生員ノ注意周到ヲ要スルハ勿論ナレモ經理官ハ宜シク風土天候ニ應ジ被服食料ノ適當ナルモノヲ撰ビ時期ヲ失スルコトナク給與スルコトヲ勉メザルベカラズ

戦地ニ於ケル病傷者ハ作戰ノ尤モ牽累タルモノナリ故ニ衛生事務ヲ管理スル諸官ハ常ニ病傷者ヲ速ニ本國ニ後送シ以テ作戰軍ノ牽累ヲ減スルコトヲ勉メザルベカラス殊ニ患者輸送部ノ如キハ此等ノ後送事

務計畫ニ就テハ敏捷ニ錯置シ患者ノ療養容態ト輸送機關ノ利便トヲ  
顧慮シ或ハ車馬ヲ用ヒ或ハ船舶ヲ用ヒ或ハ鐵道ヲ用ヒ其計畫遠算ナ  
キヲ要ス  
是等運搬ノ爲メ運輸機關ハ病院船又ハ病院列車等ヲ設置準備セザル  
ベカラズ  
戰時ニ於テハ衛生員ヲ要スル多數ナルヲ以テ到底軍部ノ衛生員ノミ  
ヲ以テ業務ニ服セシムル能ハス故ニ兵站病院以下ノ後方勤務ニ於ケ  
ル衛生ハ成ルベク特志者ヨリナル衛生員ニ依頼スルノ手段ヲ取ルヲ  
可トス  
輸送機關ニ任スルモノハ衛生部ヨリノ請求交渉ニ應ジ衛生材料、藥劑  
等ヲ戰地ニ追送スルコトニ就テハ特ニ注意シ機ヲ失セス追送スルヲ要  
ス蓋シ此等材料ノ欠乏ノ爲メ不幸ヲ招クコト少カラザレバナリ

## 其四 軍需調達補充

方今各國共ニ國軍ノ兵數大ナルニ從ヒ軍需品モ亦其多數ヲ要スル  
昔日ノ比ニアラス元來糧ニ其地ニ依ルトハ古來ノ原則ナレモ今日ニ  
於テハ糧食ト雖大軍ニ供給スル丈ケヲ盡ク敵地ニ取ルハ甚ダ困難ナ  
ルノミナラス殊ニ兵器被服ノ如キハ必ラスヤ本國ヨリ追送ヲ要ス之  
レガ爲メ戰地ト資源地トノ運搬ハ瀕繁ナルモノニシテ此補充ヲシテ  
機ニ遅レシメザラン爲メニハ調達ノ方法モ亦大ニ研究スベキモノ  
トス

戰地ニ於テ調達シ得ラザル物件ハ本國ヨリ之レヲ追送スト雖戰地  
ニ於テ得ラルベキ物ハ勉メテ之レヲ戰地ニ求メ本國ヨリノ追送品ヲ  
減スルヲ謀ラザルベカラス之レガ爲メ經理機關ハ諸種ノ手段ヲ盡  
クシ到ル所ニ於テ物資ヲ調達スルヲ要ス殊ニ兵站司令官ハ其管轄兵



補充ノ爲メ  
縦列ノ行動  
方法

站地區内ヨリ物資ヲ徵集シ倉庫ニ貯藏シ必要ニ當ツテハ直チニ前方  
ニ之レヲ補給スルノ準備ヲ怠ルベカラズ  
戰地ニ於テ人民ヲ迎フルニ温厚ノ手段ヲ以テシ人民ノ歡心ヲ得ル  
ハ案外ニ物資調達ノ便ヲ得ルモノトス之レニ反シ人民敵意ヲ挾ム  
ハ嚴罰ヲ以テシ或ハ威嚇手段ヲ爲シ特別ノ非常手段ニ依ルヲ要ス  
ルアルベシ

兵站線路上ヲ補充ノ爲メ往復スル縦列ノ行動區域ニ就テハ種々ノ方  
法アリ

- 一、野戰隊ノ輜重縦列ガ直チニ倉庫若クハ野戰兵器廠ニ至リ補充ヲ  
受クルモノ
- 二、兵站機關ニ屬スル縦列ヲ以テ各兵站地ニ遞送スルモノ
- 三、前記ノ遞送ヲ兵站地ノ中間ニ於テ交換スルモノ

第一ノ場合ハ左圖ノ如ク補給所ト被補給者ガ近距離ニアルモノニシテ尤モ便利ナリ

作戰軍所在地

野戰隊/砲臺/探測/通信機

兵站地ニアル倉庫  
若クハ野戰兵番廠

第二ノ場合ハ左圖ノ如ク丙兵站地ヨリ此兵站地ニアル運搬機關ガ乙兵站地マデ運搬シ乙兵站地ヨリ更ニ此兵站地ニアル運搬機關ガ代ツ

甲兵站地

乙兵站地

丙兵站地



テ甲兵站地ニ轉送シ順次此クノ如ク轉送スルモノニシテ此方法ハ運  
 搬ニ從事スルモノガ其日直チニ所屬兵站地ニ歸還スルコト難ク其夜  
 ハ到着兵站地ニ宿泊セサルベカラズ(各兵站地ノ距離ハ約一日行程ナ  
 ルヲ以テナリ)然ルニ此運搬ニ從事スルモノハ人馬多數ニシテ其到着  
 兵站地ニ於ケル宿泊給養ニ混雜ヲ生ズ而シテ明日ハ空車馬ヲ以テ所  
 屬兵站地ニ歸ルノミニシテ運搬ニ從事スル能ハズ  
 第三ノ場合ハ兩兵站地ノ中間ニ於テ相互ノ運搬機關ガ相會シ此ニ於  
 テ輸送物ヲ受授シテ歸還スルナリ此方法ニ依ル時ハ運搬ニ任ズル機



關ハ終始所屬兵站地ニ宿營シテ他ノ兵站地ニ寄宿スルコトナク又日々運搬ニ從事スルヲ得給養、監視、勞働等ノ總テノ關係好都合ナルモノトス

其五 軍ノ輜重

輜重縦列ノ必要アル所以ヲ述ブ

戰時ニ於テ給養品彈藥ノ補充并ニ通信、交通、衛生等ノ必要ナルヲハ前陳ノ如シ而シテ此等ノ業務ハ兵站事業トシテ各當局機關アリト雖固ヨリ兵站機關ハ常ニ作戰軍ト其處ヲ同フシアルモノニアラズ作戰軍ノ動作區域ト兵站機關ノ活動區域トハ其間ニ若干ノ空隙アリ此空隙ニ在ツテ作戰軍ト兵站機關トノ連繫ヲ取り且ツ又假令ヒ兵站機關ノ存在セザル時ニ於テモ若干時日間作戰軍ヲ生存セシムベキ給養補充通信等ノ機關ナカルベカラズ若シ此機關ナキハ作戰軍ハ兵站機關

附隨スルニ非ラザレバ一日モ行動スル能ハザルニ至ルベシ此ニ於テ  
カ輻重縦列ナルモノ、編成ヲ要スル所以ナリ  
然ラバ輻重縦列ハ幾許ノ供給力ヲ具備セシムベキヤハ第一ノ問題ナ  
リ軍ノ生存上ノ便宜ヨリ云ヘバ成ルベク輻重ノ供給力ハ大ナランコトヲ  
希望ス然レモ供給力大ナルニ從ヒ總テノ編成大トナリ軍ノ牽累トナ  
ルベシ蓋シ輻重ナルモノハ戦闘力アルモノニアラス反ツテ軍ハ常ニ  
之レヲ保護セザルヲ得ズ殊ニ輻重ノ運動ハ緩慢ニシテ軍ハ之レガ附  
隨シアルガ爲メニ作戰運動ヲ制肘セラルレバナリ故ニ作戰運動上ノ  
便宜ヨリ云ヘバ成ルベク此牽累タル輻重ハ小ナランコトヲ希望スルナ  
リ

此ニ於テ輻重ハ前述二種ノ要求ノ中間ヲ取ツテ其供給力ノ程度ヲ定  
メザルベカラズ往昔一般兵役義務ノ實行サレザル時代ニ在ツテハ一

軍ノ兵數ガ今日ノ如ク多カラザリシヲ以テ軍輜重ナルモノヲ編成スルモ尙ホ未ダ甚シク大ナル牽累タラザリシモ今日一般兵役義務ノ實行以來軍ノ兵數非常ニ増加シタルヲ以テ通常戰畧單位(會戰單位)タル師團若クハ軍團毎ニ輜重ヲ付シ尙ホ要スレバ之レヲ若干部ニ分屬シ得ル如ク編成ス而シテ其供給力ハ軍團若クハ師團ガ兵站機關ヨリ分離シテ之レニ依頼スル能ハザルモ尙ホ少クモ一局ノ作戰ヲ終ルマデハ生存シ得ヘキ丈ケノ程度トス

詳言スレバ糧食、彈藥ハ後方ヨリ供給ヲ受ケザルモ、傷者病者ハ後方病院ニ於テ收容セラレザルモ交通通信ハ後方機關ノ力ヲ借ラザルモ作戰軍ガ全ク獨立シテ一場ノ作戰ヲ終リ得ベキ丈ケニ要スル諸縱列材料ヲ輜重トシテ師團若クハ軍團ニ附屬セシムルナリ

### 第三章 連絡線ノ保安警戒並ニ敵ノ連絡線 ニ對スル脅威遮斷

#### 其一 連絡線ノ保安警戒

自國ニ於テ連絡線ノ掩護ハ要塞又ハ特ニ設備スル警戒兵ヲ以テス而シテ其方法ノ如何ヲ論セズ住民ニ對スル顧慮少キヲ以テ大ニ便利ナリト雖モ敵國ニ於テハ然ラズ甚ダ困難ナルモノアリ

敵國ニ於テ連絡線ヲ充分警戒センニハ頗ル多數ノ軍隊ヲ要ス作戰軍ノ前進スルニ從テ此線益延伸スルニ從ヒ其近傍ニ現在スル敵ノ要塞若クハ別働隊、義勇兵、住民等ヨリ絶エス脅威ヲ受ケ間々危険ニ遭遇スルコトアリ此等ノ危害ヲ避ケンニハ左ノ諸種ノ方法ヲ應用スルヲ要ス

一、敵ノ要塞ヲ攻圍シ若シクハ之レヲ監視シ爲シ得レハ天然ノ障

- 二、 四通八達ノ點ニ警戒軍隊ノ大部ヲ配置シ脅威サレタル處ニ速ニ出テ之レヲ擊攘スルノ準備ヲ爲シ置クヲ要ス
- 三、 村民一同ヲ嚴罰ニ處スヘキ旨ヲ以テ脅喝シ又地方ノ名望家ヲ質トシ以テ各地方ノ住民ヲシテ監視掩護ノ責ニ任セシム
- 四、 土民ノ反抗スル地方ニ於テ鐵道線中危始ナル部ヲ運行スルトキハ緊要ナル列車ニハ該地方ノ名望家ヲ質トシ乘載セシム
- 五、 兵站守備兵又ハ特別ノ掩護兵ヲ以テ特ニ緊要點ノ直接守備ニ任シ且ツ常ニ斥候ヲ出タシ絶エス巡視セシム
- 六、 以上ノ方法ヲ以テスルモ尙ホ掩護十分ナラサルトキハ特ニ有力ナル掩護兵ヲ差遣シ以テ反抗スル土民ヲ征服シ若シクハ敵兵ヲ遠ク擊退セシム

兵站軍隊ノ比例

兵站守備軍隊ノ欠乏スルトキハ己ムヲ得ス野戰軍ノ一部ヲ以テ之レニ充テザル可カラズ然レトモ兵站線中ヲ往來スル補充兵又タハ恢復兵ヲ取テ此警戒ニ使用スルコトハ宜シク之レヲ避クルヲ要ス故ニ敵國ニ侵入セント欲スル軍ハ豫カシメ兵站軍隊ヲ充分ニ準備セザル可カラズ

兵站軍隊ノ數ハ實驗ニヨレハ野戰軍ニ比シ左ノ如ナルヲ要スルカ如シ

歩兵 野戰軍ノ四分一

騎兵 野戰軍ノ十分一

砲兵 野戰軍ノ十五分一

以上ハ警戒ノ爲メニ要スル戰列兵ノ比例ニシテ工兵ノ如キハ地形及ビ連絡線ノ景況ニヨリ作業ノ大小差異アルヲ以テ未ダ確定ノ比列ヲ立ツル能ハズ  
歩兵ノ著シク多數ナルハ其教育容易ナルト出師準備ニ要スル



兵站軍隊編成ノ要旨

費用少ナキヲ以テナリ

兵站守備隊ハ通常豫備後備ノモノヲ用ヒ之レガ爲メニ第一出戰軍隊ヲ減セサルヲ要ス此等ノ軍隊ト雖モ敵ノ要塞ヲ圍ミ我海岸ヲ守備スル等其働作殆ンド野戰軍ト異ナルナシ故ニ少クモ其幹部ハ有爲活潑ノ者ヲ附スルヲ要ス兵站守備隊ハ各兵種ヨリ成ルモ重モニ歩兵ヲ使用シ其補充ニ困難ナル騎兵砲兵ハ勉メテ野戰ニ使用スルヲ要ス而シテ如何ニ多クノ兵站守備隊ヲ使用スルモ長遠ナル兵站線ニ沿ヒ至ル所軍隊ヲ配置シテ之ヲ警戒スルヲ能ハス故ニ兵站線中ノ最要點ノミニ配置シ空隙ハ大小ノ斥候臨時ニ派遣スル部隊又ハ別働隊等ニ依リテ警戒ス兵站線上ニ在ル騎兵ノ勤務ハ主ニ報告傳達ニ在リト雖モ斥候遞騎ノ勤務又ハ捕虜運搬ノ爲メ等ニハ必ラズ騎兵ヲ要スルヲ以テ報告傳達ノ爲ニハ他ノ方法ヲ兼用シ勉テ騎兵ノ勞働ヲ減スルヲ要ス

凡ソ兵站守備隊ノ勤務ハ常ニ同一ノ事ノミナルヲ以テ各人其勤務ニ倦怠スルノ弊アリ然レモ兵站地ニ在テハ一兵卒ノ倦怠モ忽チ非常ノ事件ヲ生スルヲ以テ最モ嚴重ニ監視セサル可カラス敵ノ義勇兵若シクハ住民ハ常ニ兵站地ノ間隙ヲ窺ヒ時機アラバ之レニ乘センヲ企望ス兵站軍隊ノ倦怠ヨリ彼等ノ企望ヲ達セシメンヲハ戰史ニ徴シテ其例少ナカラス

一説ニ曰ク兵站守備隊ノ所在地ハ時々之ヲ交換スルヲ可トスト其理由ニ曰ク永ク一地ニ駐在スルトキハ例令敵國ノ住民ト雖モ人情自カラ相親ミ遂ニ軍事上決シテ許ス可カラサル結果ヲ生スルニ至ルナリ之レヲ例セバ千八百七十年普佛ノ戰役中パリ一圍城ニ際シ獨佛ノ各斥候ハ時々途中ニ相逢フヨリ遂ニ友情ヲ結ビ彼我ノ斥候ハ一定ノ會合所ヲ設ケ彼レ煙草ヲ與フレハ我レ之ニ酬ユルニ新聞紙ヲ以テスル等通常友人間ノ交際ニ異ラサルノ結

果チ生セリ夫レ日々戰場ニ敵視シ直接ニ彈丸ヲ交換スル彼我ノ  
戰兵ニ於テ尙ホ然リ況ンヤ兵站地ニ駐在スル軍隊ト其住民トニ  
於テナヤ

著者曰ク一説ノ主張ハ右ノ如シト雖又反對説ニ云ヘル「必竟彼  
我ノ軍隊ニ於テ此クノ如キ異様ノ事實ヲ生スルハ元來ノ國民  
志操及ビ軍隊教育ノ如何ニ由テモ大關係アルモノナリ是レナ  
防グニハ平素ノ教育ト軍紀ノ振肅如何ニアリ戰術上本來ノ性  
質上ヨリ云ヘバ兵站守備軍隊ハ其守備區域内ノ地形ヲ詳知ス  
ルヲ要スルト地方情況ヲ詳知スルトニ由テ適當ノ處置ヲ爲サ  
シムルヲ以テ緊要トスルガ故ニ屢々兵站守備隊ヲ彼此ニ交換  
スルハ不可ナルモノトスト」主説セル論者ニ同意スルヲ可ト思  
考ス

住民ニ對ス  
ル處置

若シ住民ニシテ我レニ損害ヲ加フルモノアルハ最モ嚴重ニ處罰ス  
ヘシ故ニ兵站司令官令ハ兵站線近傍ノ市町村ニ對シ兵站部所轄ノ人

兵站地内部  
ニ關スル

員材料等ニ危害ヲ加フル者アルハ其犯人ノ何人タルヲ問ハス被害  
地近傍ノ市町村其責ニ任スベキコトヲ豫カシメ告知スベシ而シテ若  
シ犯人アルトキハ其處罰ヲ決シテ等閑ニスベカラズ蓋シ假令ヒ住民  
地其者ハ反抗スルノ氣力ナキモ近傍ニ徘徊スル義勇兵或ハ無頼ノ徒  
ヲ召集シ以テ其事ニ當ラシムルヲ以テ責任ハ飽クマデ住民ニ負ハシ  
ムルヲ要スレバナリ

住民間ニハ種々ナル暗號、信號等ヲ設ケ各所ニ相通信シ間ニ乘シテ暴  
舉ヲ爲スベキヲ以テ高塔、鐘樓、喬本、其他一般ニ四方ヲ通視スベキ高所  
ハ常ニ特別ノ注意ヲ以テ調査スルヲ要ス之レガ爲ニハ兵站地ニアル  
野戰憲兵ヲ使用スベシ

兵站地内部ノ設置ヲ整理スルハ亦タ警戒ヲ確實ニスル所以ナリ兵站  
地ノ各入口ニハ夜間ト雖モ識別シ得ベキ標札ヲ建テ之ニ兵站地内主

ナル建築物即チ司令部、倉庫、軍隊宿舍等ノ位置、近傍諸村落ノ名稱、其他特別ニ指示スルヲ要スル事件ヲ記シ又タ内外要點ニ衛兵ヲ配置シ且ツ所要ノ工事ヲ施シ以テ不意ノ事變ニ備フベシ

大ナル兵站地ニシテ兵站軍隊僅少ナルキハ其内一部ノ要點ヲ占位シ茲ニ兵站地所屬ノ物品材料諸建築物等ヲ集メ人爲又ハ天然ノ障礙物ニ依テ他ノ部分ト隔絶シ以テ不意ノ事變ニ備フヲ要ス此ノ如キ場所兵站地ノ中央ニアラズ一方ニ偏在スルキハ極メテ便利ナリ然ルキハ其周圍ニ充分防禦工事ヲ爲シ其内ニ司令部倉庫、消防用水、彈藥等ヲ準備シ又人質アルキハ此内ニ收禁ス尙ホ其外部ニ向テハ絶エス斥候巡察ヲ派遣シ要點ニ哨兵ヲ配置ス此ノ如クスルキハ假令ヒ微弱ノ兵站軍隊ニテモ義勇兵等ニ對シテ充分抵抗スルヲ得ヘシ

孤立シタル哨兵所ニハ衛犬ヲ附スベシ是レ敵ノ近接ヲ報スルコト頗ル

停車場ノ警  
戒

銳敏ニシテ且ツ時トシテ報告傳送ノ助手タルコトアリ此外道路善良ニシテ交通自在ナルキハ自轉車ヲ備ヘテ傳令ノ用ニ供スヘシ

總テ警戒ハ夜間ニ嚴ナルヲ要ス敵ハ常ニ暗夜ヲ利用シ其襲撃ヲシテ守者ノ意表ニ出テンコトヲ企圖スルヲ以テナリ又タ防禦工事ヲ施シタル所ヲ守備スル者ハ敵ノ欺術ニ迷ツテ其位置ヲ離ル、可カラス要スルニ孤立シタル守備兵ハ唯ダ最后ノ時機迄其位置ヲ固守スヘシ敵ト雖トモ多クハ潛行近接シタル者ナルヲ以テ其背後ニ顧慮シ永ク攻撃ヲ續行スル能ハサルベシ

停車場ハ其大小ニ由テ衛兵ノ配置ヲ異ニス即ハチ大ナル停車場ニ在ツテハ衛兵ヲ其内外ニ配置シ爲シ得ル限り防禦工事ヲ施スベシ内部ノ衛兵ハ倉庫、材料廠並ニ其他ノ要點ニ置キ外部衛兵ハ近傍ノ要點並ニ諸出口等ニ置クヲ要ス

兵站線ヲ往來スル小部隊ノ注意

橋梁衛兵ハ橋長キトキハ其兩方ニ短キトキハ其一方ニ置クモノトス殊ニ注意ヲ要スルハ橋礎ナリ是レ敵ハ常ニ此處ヲ破壊セントスルヲ以テ其守備最モ嚴ナルヲ要ス

兵站線ヲ往來スル小部隊ニシテ補充隊、快癒兵等ハ其妨害ヲ加ヘントスル者ニ對シテ自衛シツ、行進セサル可カラス故ニ成ルベク多ク集合シテ一隊ト爲リ總テノ處置ハ其隊長ノ命令ニ由テ爲スヲ要ス然ラスシテ個々分進シ各人随意ノ處置ヲ爲セハ忽チニシテ義勇兵若クハ住民ノ餌タルベシ

其二 連絡線ノ脅威、遮斷

作戰軍ノ命脈ハ全ク後方ノ連絡線ニ在ルヲ以テ敵ノ連絡線ニ逼迫スルハ敵ヲシテ最モ恐怖セシムル者トス然レモ連絡線ハ通常作戰正面

ト直角ヲ爲スヲ以テ敵ノ連絡線ニ迫ルト同時ニ我連絡線ノ幾分ヲ敵ニ露出スルハ勢ヒ免レサル所トス故ニ敵ノ連絡線ニ迫ラントセハ先ヅ我連絡線ヲ變換スルヲ要スト雖モ此ノ變換ハ我連絡線ヲシテ專バラ自國內ニ移シ得ルカ如キ好時機ニアラザレハ容易ニ爲スヘキ者ニアラズ且ツ敵ハ容易ニ其連絡線ヲ變換シ得サルノ場合タラサル可カラズ敵ノ連絡線ニ迫ラントスルニハ此ノ如キ困難アルニモ係ハラズ之レガ爲メニ收メ得ヘキ効果モ亦タ頗フル著大ナルモノトス那破命一世ハ能ク此事ヲ了解シ其變換ヲ最モ巧妙ニ爲セシ人ナリ故ニ後方連絡線ノ大ナル脅威ハ軍ノ作戰方向如何ニ由ツテ成就スルモノトス詳言セバ敵ノ連絡線ニ最モ近接シテ作戰スルノ謂ヒニシテ被脅威軍ノ爲メニハ頗ル不快ノコトタリ然レトモ此ノ如キ働作ヲ爲サンニハ敵ニ比シテ優勢ノ軍ヲ有セサル可カラズ茲ニ所謂優勢トハ

唯ダニ兵員ノ多キヲ云フノミナラズ軍隊ノ性質指揮官ノ技能共ニ卓越シアラザル可カラズ何トナラバ敵ノ連絡線ニ迫ラントセハ己レ先ヅ其連絡線ヲ曝露スルノ危険ヲ犯サ、ル可カラサルヲ以テナリ



此項ハ大企  
圖ノ連絡線  
脅威ハ其効  
大ナレト小  
企圖ノ連絡  
線脅威ハ反  
ツテ不利ヲ  
招クアル

右ノ如キ大企圖ヲ有セサル普通ノ脅威ハ別働隊又タハ騎兵ノ大集團ヲ以テ爲スモノトス此等ノ軍隊ハ其働作輕快ナルヲ以テ敵ノ長キ連絡線中諸所ニ出沒シテ其企望ヲ達スルヲ得ヘシ然レトモ此ノ如キ別働隊ヲ分遣セハ野戰軍ノ兵力ヲ減シ且ツ假令ヒ敵ノ連絡線ヲ遮斷スルモ戰役全體ノ決局ヲ左右スル効力ナキヲ考ヘサル可カラス軍若シ優

ヲ説ク

勢ナレハ假令連絡線ヲ遮斷サル、モ唯ダニ一時ノ不幸タルニ過キス  
シテ急チ之ヲ恢復スルヲ得ヘシト雖モ之レカ爲メニ野戰軍ノ兵力ヲ  
減シタル軍ハ容易ニ之レヲ回復スルヲ得ス故ニ敵ニ不利ヲ與ヘン  
ヲ企圖シテ却テ自ラ不利ヲ招クカ如キ患ナキ能ハス

ナポレオン第一世ガ常ニ敵ノ連絡線ヲ脅威シ其決局ヲ速ニシタル所  
以ノ者ハ實ニ敵ヨリモ優勢ナリシニ因レリ

小企圖ヲ以  
テスル連絡  
線脅威ノ方  
法

連絡線脅威ノ方法ニ於テ一刀兩斷ノ處置ヲ爲スニアラスシテ唯ダ一  
時敵ヲ困却セシムル爲メニ連絡線中ノ諸所ニ向ヒ絶ヘス施行スル小  
戰ハ敵ニ多クノ損害ト疲勞ヲ與フルニ在リ之カ爲メニ制規軍隊ノ一  
部又タハ義勇兵若クハ出帥準備ヲ結了セル國民軍ヲ使用スルモノト  
ス而シテ其目的ヲ達スルニ要スル外勉メテ小部隊ヲ用ヒ其働作ノ輕  
妙、ナ、ラ、ン、ヲ、主、ト、ス、ベ、シ、是、レ、此、等、部、隊、ノ、成、効、ハ、常、ニ、敵、ノ、不、意、ニ、出、ツ、

## 住民戰

ルニ在ルヲ以テナリ、殊ニ現今ノ如ク爆發藥ノ進歩セル時ニ在ツテハ極メテ少ナル部隊ト雖モ亦大ナル損害ヲ與フルナリ。若シ右等小戰ノ一變シテ住民戰ト爲ルハ兵站軍隊ノ受クベキ損害一層大ナルニ至ル住民戰トハ至ル處ノ住民自カラ武器ヲ携ヘテ敵ノ連絡線ニ妨害ヲ加ントスルヨリ起ル者トス。兵站線ノ妨害ニハ停車場、電信局ノ破壊ヲ以テ最モ効力多シト殊ニ電線ヲ途中ニ切斷シ携帯スル受信器ニ依リテ敵ノ通信ヲ奪取スルヲ得バ最モ有利ナリトス。其他敵ノ大小守備兵ヲ襲ヒ倉庫、兵器廠ヲ侵シ給養品、彈藥等ヲ掠奪シ、往來スル敵ノ軍隊ニ對シテハ要所ニ伏兵ヲ置キテ不意ノ襲撃ヲ爲シ且ツ敵ヲシテ數々緊急集合ヲ爲セシムルカ如キ働作ヲ爲シ以テ敵ヲ疲勞セシムベシ又島國ニ在ツテハ邊海ヲ周航スル艦隊ハ其速力ヲ利用シテ各所ニ出沒シ海上ヨリ敵ヲ苦シムルヲ

得ヘシ

千八百七十年戰役間獨ノ第二軍ハ兵站線ノ關係ニ就テ最モ困難ヲ  
 極メタリ殊ニ十月下旬メツツ(Metz)落城後更ニオールレアノ(Orleans)ニ向  
 ヒ前進スルニ當リ佛國無敵ノ義勇兵ハ住民ト共謀シ爲シ得ル限  
 リノ手段ヲ盡シテ妨害ヲ試ミタリ即チ道路鐵道ハ至ル處破壞ス  
 ルカ又ハ堅固ナル垣絶ヲ設ケテ閉塞シ市街ニ入レハ家屋内ヨリ  
 不意ニ射撃シ宿營セントスルトキハ盡ク給養品ヲ陰匿シ家屋ヲ  
 釘着シテ容易ニ入ルヲ得サラシメ又ハ夜中不意ニ火ヲ放テ騷擾  
 セシムル等恰カモ夏期小虫ノ体内那邊タルヲ問ハス不意ニ刺撃  
 シテ絶ヘズ不快ノ感覺ヲ與フルガ如ク之レヲ前面ニ拂ヘバ側面  
 ニ出テ之レヲ側面ニ掃ヘハ忽チ背面ニ現レ殆ンド已ム時ナカリ  
 シ此ノ不快ナル狀況間ニ於テ第二章ハ其主ナル兵站線ヲ設置セ  
 ザルヲ得ス兵站線警戒ノ困難ナリシ知ルヘキナリ

鐵道若クハ電信線ヲ破壞シ其用ヲ全ク廢スルニ至ラシムルハ軍司令



官又ハ獨立師團長ノ權内ニアリテ下級指揮官ガ紊リニ施行スヘキモノニアラス

必要ノ時ニ應シ一時鐵道及電信ノ交通ヲ阻絶スル如キ小破壊ハ下級指揮官自カラ其責ニ任シ之ヲ決行スルヲ得ヘシト雖トモ然ルトキハ其實施ヲ速ニ高等司令官ニ報告スヘキモノトス

破壊作業ノ實施

破壊作業ノ實施ヲ掩護スルニハ敵ノ近接シ得ヘキ諸方向特ニ道路上ニ一小部隊ヲ差遣シ敵兵ノ來襲スルトキハ之ヲ拒止セシムヘシ又此部隊ハ遠ク斥候ヲ派遣シテ搜索セシメ又特ニ遠隔ノ地ニ於テ小破壊ヲナサシメン爲メ遠ク斥候ヲ出タスコトアリ

破壊作業終ハリ退却スルトキハ成ルヘク前路ト異ナル道路ヲ取ルヘシ軍隊ニ於テ鐵道或ハ電信線ヲ裁斷セシトキハ其破壊ノ地點ト方法ヲ速カニ長官ニ報告シ若シ其ノ鐵道及電信線我ニ用ヒタルモノナ

海上ヨリスル妨害

レハ其破壊ノ命令及ヒ施行法ヲ近傍ノ停車場若クハ電信局ニ通報スヘシ

海戦ノ勝者ガ敗者ノ海ヲ制スルハ自然ノ勢ヒナリ而シテ既ニ海ヲ制シタル者ハ其沿海ノ都府、製造所、信號所等ヲ襲ヒ鐵道ヲ破壊シ電信線ヲ切斷シ更ニ進テ孤立シタル海岸小要塞ヲ陥落シ又タハ海岸ニ沿フ所ノ敵ノ連絡線ヲ切斷スル等種々ナル方法ニ依テ妨害ヲ加フルハ被制海者ノ避ク可カラサル運命ナリ

本邦ノ如キ四面環海ノ島國ニ在ツテ國內ニ閉戦スル時ノ如キハ敵ハ優勢ノ艦隊ヲ以テ海岸各所ニ出沒シ鐵道ヲ破壊シ電信ヲ切斷シ道路ヲ毀損シ物品材料ヲ掠奪スル等種々ナル小企圖ニ依テ大ナル損害ヲ與フルノ策ニ出ツヘキヲ以テ海岸ノ守備至ル處ニ必要ナル

ベシ

其三 捕虜ノ護送

捕虜ヲ護送スルニハ苛酷ニ過キス温順ニ流レス適度ノ取扱ヲ爲スヲ要ス但シ補虜ヲ威服セシムルノ手段トシテ護送發途前捕虜ノ面前ニ於テ護衛兵ハ其銃ニ裝填シ且ツ其ノ逃遁ヲ企ツルトキハ直チニ銃殺スヘキコトヲ告知スル等ノ處置ヲナスヘシ

護衛隊ノ區分

護衛隊ハ之レヲ二部ニ區分シ其一部ハ直接捕虜ニ對スル警察勤務ヲ執行シ他ノ一部ハ外部ヨリスル他ノ敵ノ企圖ニ備フルモノトス捕虜百名ニ付キ十名ノ護衛兵ヲ附シ尙ホ之レニ若干名ノ騎兵ヲ増加シ得ハ適當ナリ其護送ノ方法ハ捕虜ヲ中隊又タハ小隊ニ編成シ先頭ニ下士ヲ付シ成ルベク廣正面ニシテ行進セシメ其前後ニ密集ノ護衛兵ヲ置キ其側方ニハ所々ニ小部隊又タハ斥候等ヲ行進セシム敵國ニ在ツテハ勉メテ住民地ヲ避ケ且ツ夜間ノ行進ヲ爲サシメサルヲ要ス常ニ

護衛ノ方法

強行軍ヲ爲シ成ルベク宿泊ノ數ヲ減スベシ休憩ハ必ラス野外ニ於テ  
シ宿泊ハ常ニ兵站地ニテ爲スベキモノトス若シ兵站地ニ達スル能ハ  
サルトキハ小住民地内ノ寺院、牛羊小屋等ノ大家屋ヲ撰ミテ宿泊シ露  
營ヲ爲ストキハ充分ニ監視ヲ爲シ得ルノ場所ヲ撰定スベシ  
捕虜我ニ抵抗スルノ舉動アリ且ツ森林等ノ通過ニ際シ容易ニ逃遁ス  
ヘキ恐アルトキ之ヲシテ急歩スル能ハサラシムルノ處置ヲナスベシ  
敵襲アルニ際シ豫カシメ之レニ備フルノ護衛兵ハ常ニ攻勢的ニ働作  
シテ敵ヲ擊退スルコトヲ勉メ警察勤務ニ従事スルモノハ終始捕虜ノ  
近傍ヲ離レス嚴法ヲ以テ其靜肅ヲ維持スベシ  
捕虜ガ敵ニ加勢セザル爲メ捕虜ヲシテ伏臥セシメ若シ命ニ從ハザレ  
バ直チニ之レヲ銃殺スベキヲ以テ脅嚇シ要スレバ之レヲ實行ス  
鐵道ニ依テ護送シ得バ最モ簡便ノ方法ナリ此際捕虜ノ入ルベキノ室

スル捕虜ノ  
護送  
車輛ニ依テ  
スル捕虜ノ  
護送

ハ護衛者ト別ニスルヲ要ス捕虜ハ運行中往々窓戸ヨリ逃出スルコト  
アルヲ以テ之レガ豫防ニ注意スルコトヲ忘ル可カラズ  
馬車ノ如キ車輛ニ由テ捕虜ヲ輸送スルキハ車輛數五十乃至一百ヲ以  
テ一ノ車輛隊ニ集合スルヲ最大限トス何ントナラバ各車ノ長サハ車  
間ノ距離ト共ニ十五乃至二十米ヲ有スルヲ以テ一百輛ヲ集合シタル  
モノハ其長徑既ニ千五百乃至二千米ニ達ス此ノ如ク延長スルトキハ  
監視自ラ嚴密ナル能ハス殊ニ馬匹ニ欠乏スルトキニハ地方住民ヲ使  
役シテ車輛ヲ牽引セシムルヲ以テ間ニ乘シテ忽チ逃走シ甚シキニ至  
テハ車輛ト共ニ逃亡スル者アリ護衛兵ハ十輛ニ付キ一名ヲ附シ更ニ  
外部ニ對スル護衛隊ヲ出ス戰時此等護衛兵ニハ常ニ不足ヲ生シ從ツ  
テ其警戒不充分ナルノ弊ヲ免レスト雖モ是レ決シテ等閑ニスヘキ者  
ニアラズ

行進、休止、宿泊ニ關スル注意ハ總テ陸路捕虜ノ護衛ニ於ケルト異ル  
ナシ宿營中若シ敵襲ニ逢フキハ外部ニ對スヘキ護衛隊ハ攻勢的ニ働  
作シ車輛ノ護衛ニ任スル者ハ終始車輛ノ傍ヲ離レス馬ハ厩ニ止メ車  
輛ハ成ルベク後方ニ集合シテ監視スヘシ若シ露營スルヲ要スルキハ  
車ノ軸ト軸ト相接シテ車陣ヲ作り其内部ニ在テ露營セシムルモノトス

其四 輜重ノ護衛

輜重ノ輸送ハ或ハ道路ヨリシ或ハ船舶ヲ用ヒ或ハ鐵道ヲ以テス然リ  
而シテ車輛若クハ駄馬ヲ以テ陸路ヲ輸送スル輜重ノ護衛ハ甚タ困難  
ナル一任務ナリ是レ其護衛ニ任スル兵員ハ通常寡少ナルニモ係ハラ  
ス諸方ニ分配セサルヘカラス且ツ此種ノ輜重ハ風紀ノ維持ニ難ク加  
之運動自在ナラサレハナリ

護衛隊ニ用  
ユル兵種

兵站地ヲ通過スル運送物品ニ護衛隊ヲ附セサルキハ兵站官衙ハ兵站  
 守備隊ノ幾分ヲ以テ之レガ護衛ト爲スヘシ然ルキハ兵站守備隊ノ一  
 部ハ常ニ行進ノ途上ニアルモノトス又々其一部ハ軍需品ノ徵發暴民ノ  
 懲戒ノ爲メニ各處ニ出張セサル可カラス自國ニ於テ作戰スルキハ兵  
 站軍隊ノ勤務大ニ減スヘシト雖モ現今ノ如ク騎兵ノ大集團ヲ遠ク獨立  
 ニ使用スル時ニ在テハ之レカ爲メ兵站線ノ脅威ヲ受クルノ場合多シ  
 護衛隊ノ任務ハ輻重ヲ安全ニ某地點ニ到達セシムルニアリテ戰鬥ハ  
 萬止ムヲ得サルトキノミニ於テナスモノナリ  
 護衛隊ニ任スベキ兵種ハ歩兵或ハ騎兵又ハ此二兵種ヲ併用ス砲兵ヲ  
 附スルハ特別ノ場合例ヘバ敵前ニ於テ一地ヲ占領シテ輻重ノ通過ヲ  
 一定時間掩護スル時等ノ如シ  
 護衛ノ方法ハ情況ニ從ヒ千種萬別決シテ一様ナラス今其一般普通ノ

輻重護衛ノ  
方法

場合ヲ摘記スレハ概ネ左ノ如シ

- 一、 風紀手段トシテハ輻重ヲ數部ニ分チ各部ノ監視ハ下士又ハ上等兵一名兵卒數名ニ任シ各車(馬)ヲシテ密接繼續シ決シテ一定ノ列序ヲ紛亂セシムルコトナカラシムヘシ
- 二、 所謂戰術手段トシテハ護衛兵ヲ二部ニ分チ其一部ハ直接ニ輻重ノ前後ニ配置シ一部ハ敵襲ノ恐アル方向ニ對シ前衛後衛若クハ側衛ノ要領ニ從フテ掩護ニ任シ成ルヘク遠ク騎兵ヲ出シテ搜索セシムルヲ要ス
- 三、 鐵道ニ由テ輸送スル輻重ニアリテハ最前最後ノ車輛ニ護衛兵ヲ乘ラシム
- 四、 水路ニ據ル輻重ニアリテハ警戒部隊ハ輸送船ノ前後左右ニアリテ或ハ陸行シ或ハ水行ス護送兵ハ別レテ輸送船ニ乘リ其主

防禦ノ手段

力ハ別船ニ乗ルカ或ハ陸行ス其陸行ニアリテハ空船數艘ヲ準備シ以テ機ニ應シ其兵ヲ一岸ヨリ他岸ニ移轉スルノ用ニ供スルコトアリ

敵襲ニ際シ防禦ノ手段トシテ採ルヘキ方法ハ概ネ左ノ如シ

- 一、道路ニ據ル輻重敵襲ニ當テハ援護隊ガ掩護ニ任シアル間速カニ危殆ノ地ヲ脱出スルコトヲ務ムヘシ
- 二、輻重若シ諸方向ヨリ敵襲ヲ受ケ遂ニ逃レ難キヲ察知シ而シテ其輻重車輛ヨリ成ルトキハ最後ノ防禦手段トシテ車陣ヲ作ル則ハチ其車輛ハ之レヲ密接シテ轅木ヲ内方ニ轉向シ駕馬ハ之レヲ解脱シテ馭者之レヲ車陣内ニ保持スヘシ凡ソ此陣ヲ作ルニハ多時ヲ要スレトモ騎兵ノ襲撃ニ對シテハ概ネ此法ニ依ラサルヲ得ス輻重若シ駄馬ヨリ成ル時ハ適當ノ地形ヲ求メ之レ

輻重襲撃ノ時機

ヲ遮蔽スルノ一法アルノミ

- 三、鐵道ニ據ル輻重敵ニ襲ハルトキハ護衛兵ノ一部ハ列車中ヨリ敵ヲ狙撃シ其他ノ兵ハ下車シ列車ノ近傍ニ於テ陣地ヲ占ムヘシ
- 四、水路ニ據ル輻重ハ之ヲ防禦スルニ各船中ニ在ル所ノ護衛兵ハ其陸上ノ兵ト協力シ若シ其絶エテ輻重ヲ救フノ道ナキトキハ船舶ハ之レヲ沈没シ護衛兵ハ小艇ニ乗シテ逃走スヘシ

其五 輻重ノ襲撃

凡ソ輻重ヲ襲フノ時機ハ時ノ情況ニ依リ種々ナレトモ今普通ノ大畧ハ概ネ左ノ如シ

- 一、輻重道路ノ粗惡ナル爲メ行進ヲ止メ若クハ遲緩スルトキ

輜重ノ掠奪  
及ビ攻撃手  
段

- 二、橋梁或ハ森林内ヲ通過スルトキ
  - 三、險峻ナル斜面ヲ登ルトキ
  - 四、大休止ヲナシ其馬匹ノ一部ヲ飲馬場ニ送リタルトキ
  - 五、炎熱或ハ濃霧ノトキ
- 輜重ノ掠奪及攻撃手段ハ概ネ左ノ如シ
- 一、輜重ノ進路ヲ探知シ伏兵ヲ設クルコト
  - 二、敵ノ意表ニ出テ諸方向ヨリ奇襲スルコト
  - 三、護衛兵優勢ニシテ襲撃ノ目的ヲ達シ難キトキハ單ニ敵ヲ驚擾セシムル目的ヲ以テ遠距離ヨリ其輓馬若クハ駄馬ヲ狙撃シ之ヲ脅威ス
  - 四、鐵道ニ據ル輜重ヲ襲ハンニハ砲撃ヲ以テスルカ或ハ其列車ヲシテ軌鐵ヲ脱セシムルノ處置ヲナス

- 五、水路ニ據ル輜重ヲ襲ハンニハ水路ヲ瞰制スヘキ陣地ヲ占領シ或ハ河川ノ彎曲部ニヨリ或ハ河流ヲ壅塞ス

### 基本戰術摘要解義第四卷終



明治三十三年八月七日印刷  
同 年八月十一日發行

基本職術摘要解義附

(正價壹冊金五拾錢)

著 者 雲 外 居 士

東京市京橋區五郎兵衛町二十一番地

兼 發 行 者 小 林 又 七

同 陸軍省御構内

印 刷 所 小 林 又 七 出 張 所

同 麴町區軍町二十一番地

發 賣 所 小 林 又 七 支 店

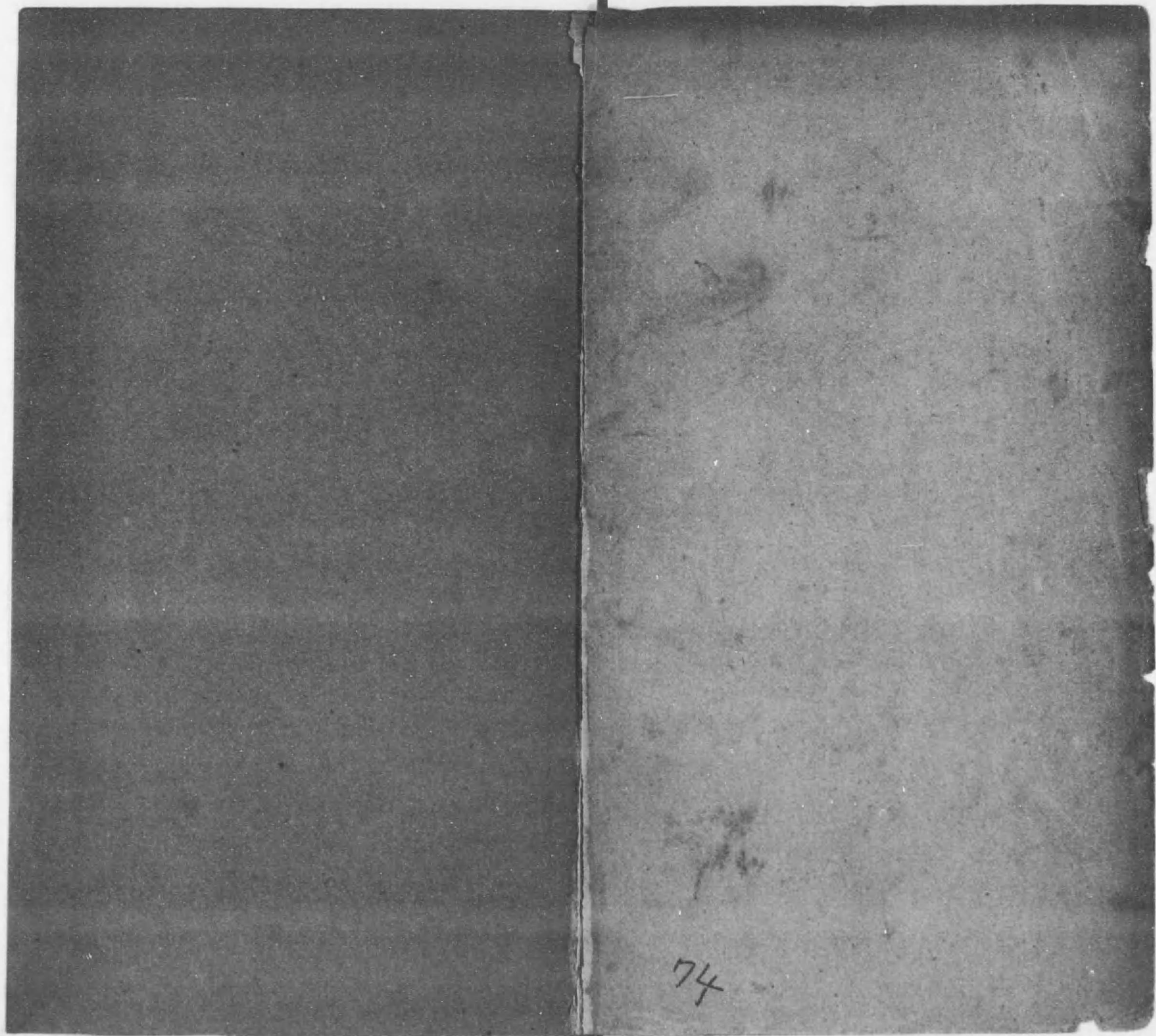
(電話番町一九二)

仙臺市南光院町四番地

同 小 林 又 七 出 張 店



85
55



74

